

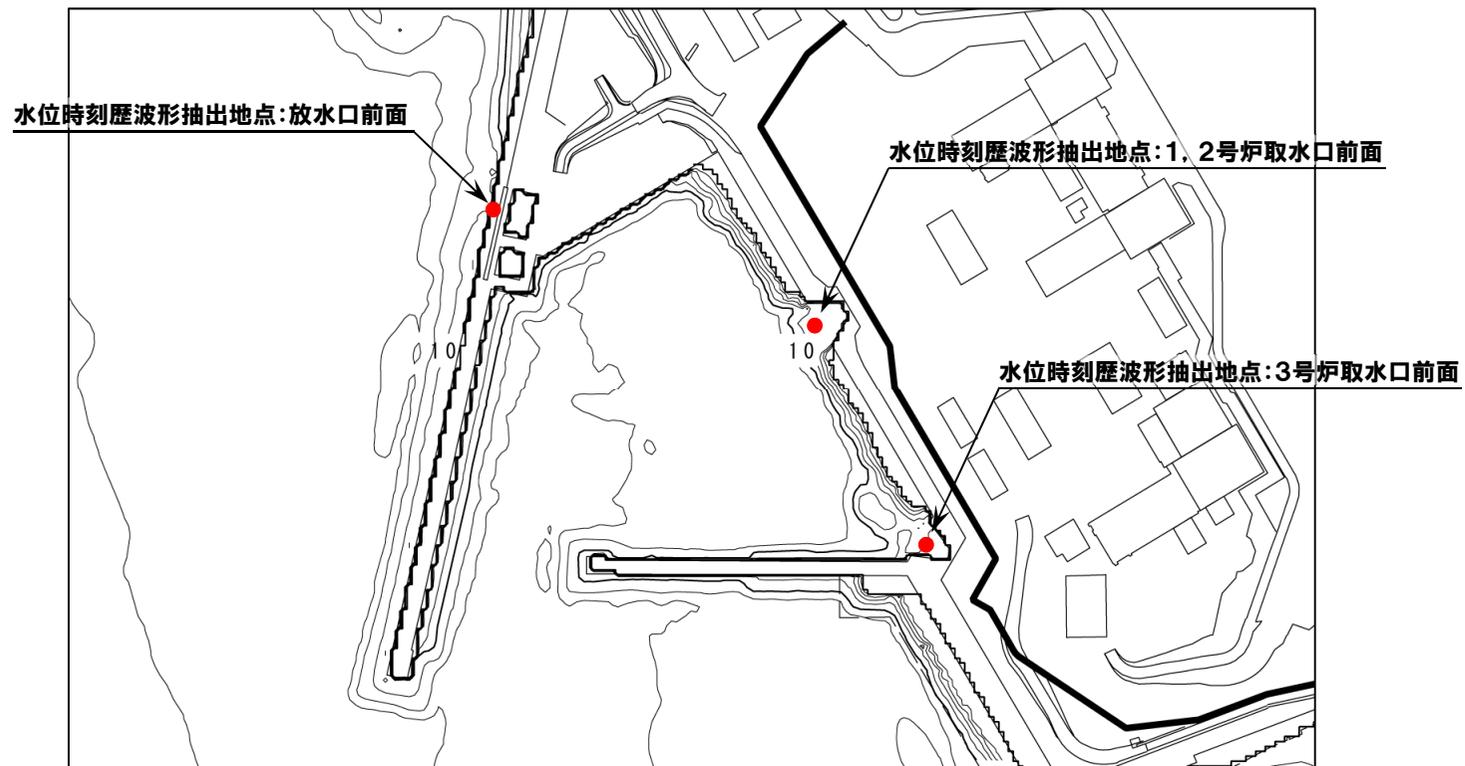
余白

2.4.4 敷地北側防潮堤の損傷による影響確認

敷地北側防潮堤の損傷を考慮したことによる水位時刻歴波形の比較(1/49) 水位時刻歴波形の抽出地点

再掲(R3/9/3審査会合)

- 敷地北側防潮堤の損傷による影響確認として実施する水位時刻歴波形の比較では、水位変動量が最大となる地点の水位時刻歴波形を用いた場合、異なる地点の比較となり、敷地北側防潮堤の損傷以外の影響が含まれる可能性があることから、同一地点で比較するため、代表点での水位時刻歴波形を抽出する。
- 代表点を以下に示す。



2.4.4 敷地北側防潮堤の損傷による影響確認

敷地北側防潮堤の損傷を考慮したことによる水位時刻歴波形の比較(2/49) 損傷の組合せ地形①

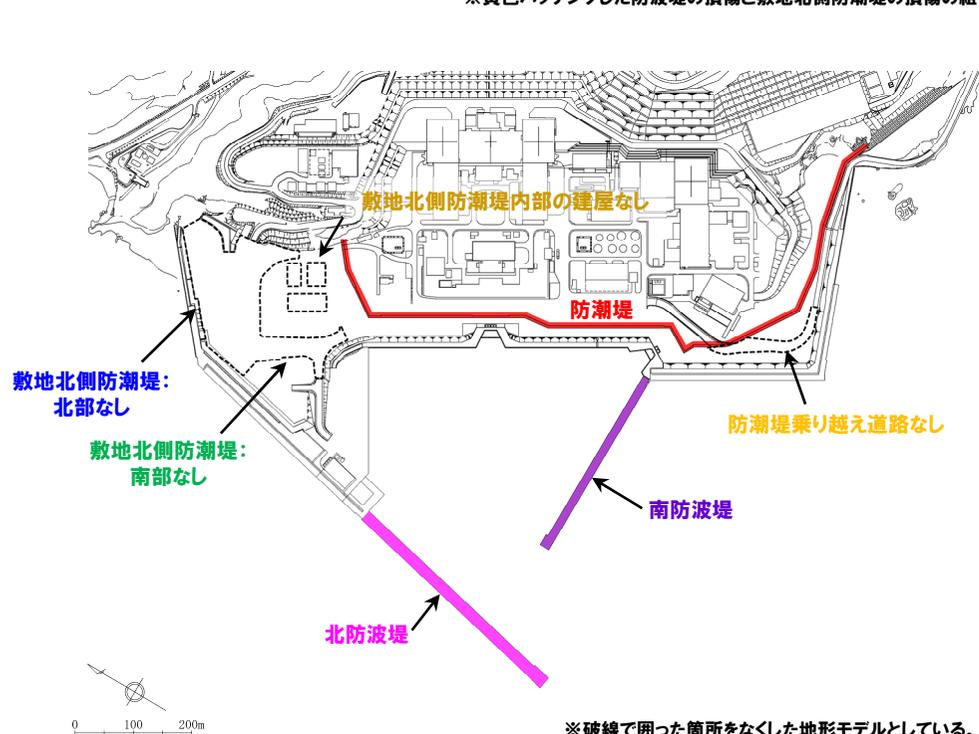
再掲(R3/9/3審査会合)

○損傷の組合せ地形①(黄色ハッチングした防波堤の損傷と敷地北側防潮堤の損傷の組合せ地形)を用いて敷地北側防潮堤の損傷による影響確認を実施した。

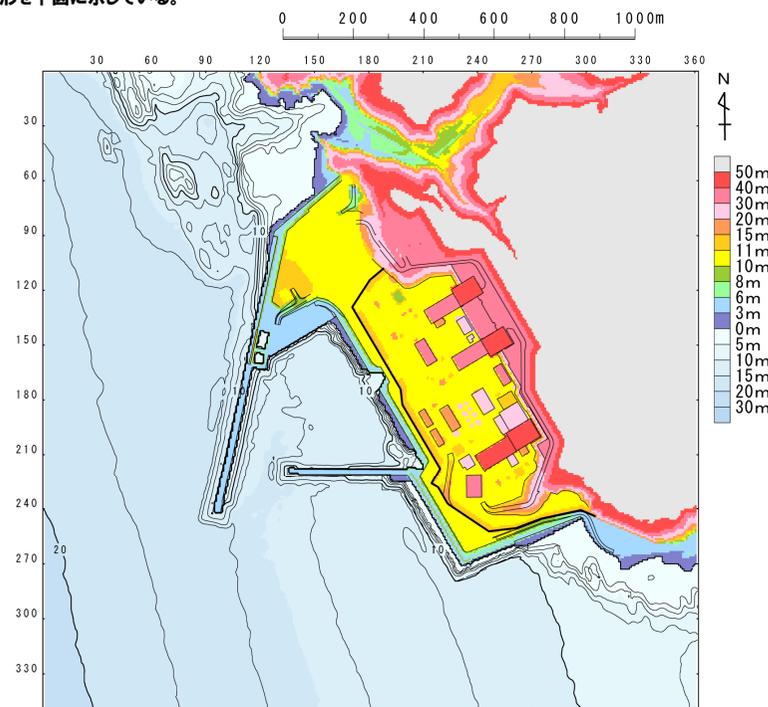
【検討に用いる地形モデル】

地形モデル(防波堤の損傷状態)	敷地北側防潮堤の損傷状態
健全地形モデル(北防波堤あり-南防波堤あり)	健全(北部あり-南部あり)
防波堤の損傷を考慮した地形モデル①(北防波堤なし-南防波堤なし)	敷地北側防潮堤の損傷状態①(北部なし-南部なし)
防波堤の損傷を考慮した地形モデル②(北防波堤あり-南防波堤なし)	敷地北側防潮堤の損傷状態②(北部なし-南部あり)
防波堤の損傷を考慮した地形モデル③(北防波堤なし-南防波堤あり)	敷地北側防潮堤の損傷状態③(北部あり-南部なし)

※黄色ハッチングした防波堤の損傷と敷地北側防潮堤の損傷の組合せ地形を下図に示している。



※破線で囲った箇所をなくした地形モデルとしている。



2.4.4 敷地北側防潮堤の損傷による影響確認

敷地北側防潮堤の損傷を考慮したことによる水位時刻歴波形の比較 (3/49) 損傷の組合せ地形①

再掲 (R3/9/3審査会合)

○敷地北側防潮堤の損傷状態① (敷地北側防潮堤なし) の3号炉取水口, 1, 2号炉取水口, 放水口の水位時刻歴波形は下表のとおりである。
 ○敷地北側防潮堤の損傷状態による水位時刻歴波形に有意な差はないことを確認した。

対象ケース	水位時刻歴波形		
	3号炉取水口	1, 2号炉取水口	放水口
<p>STEP4 防潮堤前面 (上昇側) 最大ケース</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アスペリティ位置: de南へ20km ・断層パターン: 6 ・波源位置: くの字モデル (東へ移動) ・断層面上縁深さ: 5km 	<p>—— 敷地北側防潮堤の損傷状態: 健全 —— 敷地北側防潮堤の損傷状態① (敷地北側防潮堤なし)</p>	<p>—— 敷地北側防潮堤の損傷状態: 健全 —— 敷地北側防潮堤の損傷状態① (敷地北側防潮堤なし)</p>	<p>—— 敷地北側防潮堤の損傷状態: 健全 —— 敷地北側防潮堤の損傷状態① (敷地北側防潮堤なし)</p>
<p>STEP4 敷地北側A (上昇側) 最大ケース</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アスペリティ位置: de南へ20km ・断層パターン: 6 ・波源位置: くの字モデル (東へ移動) ・断層面上縁深さ: 4km 	<p>—— 敷地北側防潮堤の損傷状態: 健全 —— 敷地北側防潮堤の損傷状態① (敷地北側防潮堤なし)</p>	<p>—— 敷地北側防潮堤の損傷状態: 健全 —— 敷地北側防潮堤の損傷状態① (敷地北側防潮堤なし)</p>	<p>—— 敷地北側防潮堤の損傷状態: 健全 —— 敷地北側防潮堤の損傷状態① (敷地北側防潮堤なし)</p>
<p>STEP4 敷地北側B (上昇側) 最大ケース</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アスペリティ位置: de南へ20km ・断層パターン: 6 ・波源位置: くの字モデル (東へ移動) ・断層面上縁深さ: 4km 	<p>STEP4 敷地北側A (上昇側) 最大ケースと同じ</p>		

※赤ハッチングは断層パターン6, 青ハッチングは断層パターン7の波源モデルである。

2.4.4 敷地北側防潮堤の損傷による影響確認

敷地北側防潮堤の損傷を考慮したことによる水位時刻歴波形の比較(4/49) 損傷の組合せ地形①

再掲 (R3/9/3審査会合)

- 敷地北側防潮堤の損傷状態①(敷地北側防潮堤なし)の3号炉取水口, 1, 2号炉取水口, 放水口の水位時刻歴波形は下表のとおりである。
- 敷地北側防潮堤の損傷状態による水位時刻歴波形に有意な差はないことを確認した。

対象ケース	水位時刻歴波形		
	3号炉取水口	1, 2号炉取水口	放水口
<p>STEP4 3号炉取水口(上昇側) 最大ケース</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アスペリティ位置: de南へ20km ・断層パターン: 6 ・波源位置: くの字モデル(東へ移動) ・断層面上縁深さ: 5km 	STEP4 防潮堤前面(上昇側) 最大ケースと同じ		
<p>STEP4 1, 2号炉取水口(上昇側) 最大ケース</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アスペリティ位置: de南へ20km ・断層パターン: 6 ・波源位置: くの字モデル(東へ移動) ・断層面上縁深さ: 5km 	STEP4 防潮堤前面(上昇側) 最大ケースと同じ		
<p>STEP4 放水口(上昇側) 最大ケース</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アスペリティ位置: de北へ10km ・断層パターン: 6 ・波源位置: くの字モデル(東へ移動) ・断層面上縁深さ: 0km 	<p>3号炉取水口前面</p>	<p>1,2号炉取水口前面</p>	<p>放水口前面</p>

※赤ハッチングは断層パターン6, 青ハッチングは断層パターン7の波源モデルである。

2.4.4 敷地北側防潮堤の損傷による影響確認

敷地北側防潮堤の損傷を考慮したことによる水位時刻歴波形の比較 (5/49) 損傷の組合せ地形①

再掲 (R3/9/3審査会合)

- 敷地北側防潮堤の損傷状態① (敷地北側防潮堤なし) の3号炉取水口, 1, 2号炉取水口, 放水口の水位時刻歴波形は下表のとおりである。
- 敷地北側防潮堤の損傷状態による水位時刻歴波形に有意な差はないことを確認した。

対象ケース	水位時刻歴波形		
	3号炉取水口	1, 2号炉取水口	放水口
<p>STEP4 3号炉取水口 (下降側) 最大ケース</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アスペリティ位置: de ・断層パターン: 7 ・波源位置: 矩形モデル (東へ移動) ・断層面上縁深さ: 5km 	<p>——敷地北側防潮堤の損傷状態:健全 ——敷地北側防潮堤の損傷状態① (敷地北側防潮堤なし)</p>	<p>——敷地北側防潮堤の損傷状態:健全 ——敷地北側防潮堤の損傷状態① (敷地北側防潮堤なし)</p>	<p>——敷地北側防潮堤の損傷状態:健全 ——敷地北側防潮堤の損傷状態① (敷地北側防潮堤なし)</p>
<p>STEP4 1, 2号炉取水口 (下降側) 最大ケース</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アスペリティ位置: de ・断層パターン: 7 ・波源位置: 矩形モデル (東へ移動) ・断層面上縁深さ: 5km 	<p>STEP4 3号炉取水口 (下降側) 最大ケースと同じ</p>		

※赤ハッチングは断層パターン6, 青ハッチングは断層パターン7の波源モデルである。

2.4.4 敷地北側防潮堤の損傷による影響確認

敷地北側防潮堤の損傷を考慮したことによる水位時刻歴波形の比較(6/49) 損傷の組合せ地形②

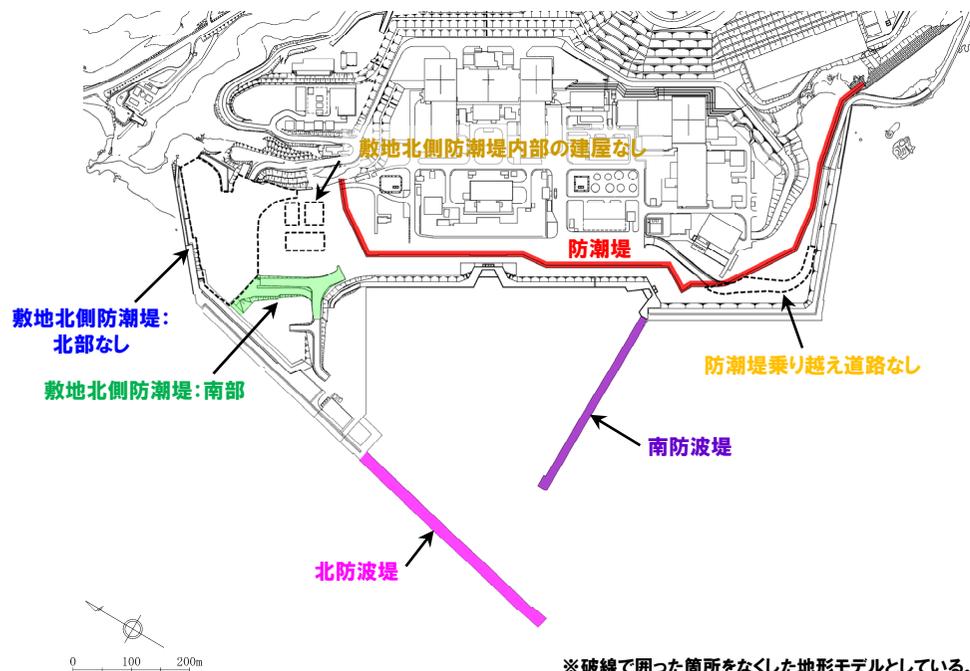
再掲(R3/9/3審査会合)

○損傷の組合せ地形②(黄色ハッチングした防波堤の損傷と敷地北側防潮堤の損傷の組合せ地形)を用いて敷地北側防潮堤の損傷による影響確認を実施した。

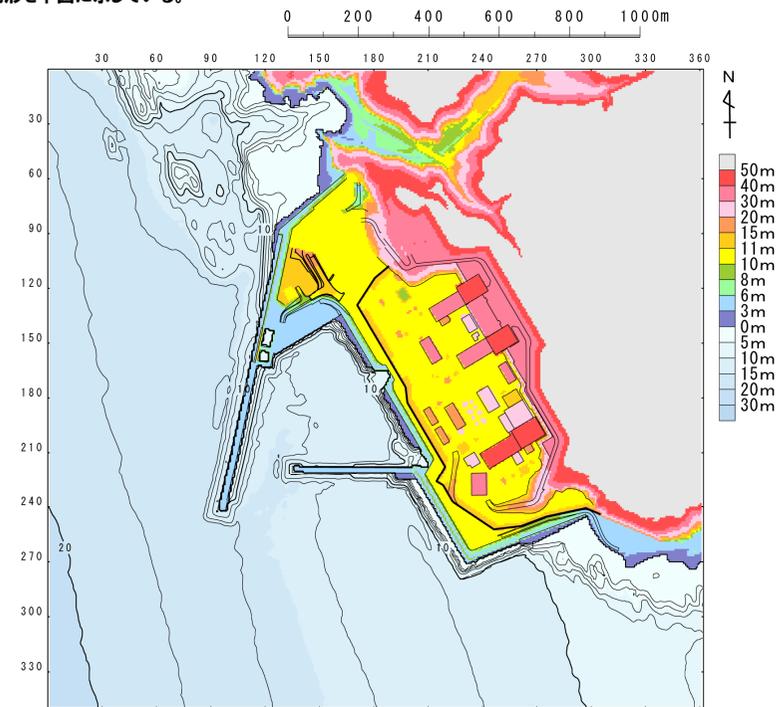
【検討に用いる地形モデル】

地形モデル(防波堤の損傷状態)	敷地北側防潮堤の損傷状態
健全地形モデル(北防波堤あり-南防波堤あり)	健全(北部あり-南部あり)
防波堤の損傷を考慮した地形モデル①(北防波堤なし-南防波堤なし)	敷地北側防潮堤の損傷状態①(北部なし-南部なし)
防波堤の損傷を考慮した地形モデル②(北防波堤あり-南防波堤なし)	敷地北側防潮堤の損傷状態②(北部なし-南部あり)
防波堤の損傷を考慮した地形モデル③(北防波堤なし-南防波堤あり)	敷地北側防潮堤の損傷状態③(北部あり-南部なし)

※黄色ハッチングした防波堤の損傷と敷地北側防潮堤の損傷の組合せ地形を下図に示している。



※破線で囲った箇所をなくした地形モデルとしている。



2.4.4 敷地北側防潮堤の損傷による影響確認

敷地北側防潮堤の損傷を考慮したことによる水位時刻歴波形の比較 (7/49) 損傷の組合せ地形②

再掲 (R3/9/3審査会合)

- 敷地北側防潮堤の損傷状態② (北部なし) の3号炉取水口, 1, 2号炉取水口, 放水口の水位時刻歴波形は下表のとおりである。
- 敷地北側防潮堤の損傷状態による水位時刻歴波形に有意な差はないことを確認した。

対象ケース	水位時刻歴波形		
	3号炉取水口	1, 2号炉取水口	放水口
<p>STEP4 防潮堤前面 (上昇側) 最大ケース</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アスペリティ位置: de南へ20km ・断層パターン: 6 ・波源位置: くの字モデル (東へ移動) ・断層面上縁深さ: 5km 	<p>—— 敷地北側防潮堤の損傷状態: 健全 —— 敷地北側防潮堤の損傷状態② (北部なし)</p>	<p>—— 敷地北側防潮堤の損傷状態: 健全 —— 敷地北側防潮堤の損傷状態② (北部なし)</p>	<p>—— 敷地北側防潮堤の損傷状態: 健全 —— 敷地北側防潮堤の損傷状態② (北部なし)</p>
<p>STEP4 敷地北側A (上昇側) 最大ケース</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アスペリティ位置: de南へ20km ・断層パターン: 6 ・波源位置: くの字モデル (東へ移動) ・断層面上縁深さ: 4km 	<p>—— 敷地北側防潮堤の損傷状態: 健全 —— 敷地北側防潮堤の損傷状態② (北部なし)</p>	<p>—— 敷地北側防潮堤の損傷状態: 健全 —— 敷地北側防潮堤の損傷状態② (北部なし)</p>	<p>—— 敷地北側防潮堤の損傷状態: 健全 —— 敷地北側防潮堤の損傷状態② (北部なし)</p>
<p>STEP4 敷地北側B (上昇側) 最大ケース</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アスペリティ位置: de南へ20km ・断層パターン: 6 ・波源位置: くの字モデル (東へ移動) ・断層面上縁深さ: 4km 	<p>STEP4 敷地北側A (上昇側) 最大ケースと同じ</p>		

※赤ハッチングは断層パターン6, 青ハッチングは断層パターン7の波源モデルである。

2.4.4 敷地北側防潮堤の損傷による影響確認

敷地北側防潮堤の損傷を考慮したことによる水位時刻歴波形の比較(8/49) 損傷の組合せ地形②

再掲(R3/9/3審査会合)

- 敷地北側防潮堤の損傷状態②(北部なし)の3号炉取水口, 1, 2号炉取水口, 放水口の水位時刻歴波形は下表のとおりである。
- 敷地北側防潮堤の損傷状態による水位時刻歴波形に有意な差はないことを確認した。

対象ケース	水位時刻歴波形		
	3号炉取水口	1, 2号炉取水口	放水口
<p>STEP4 3号炉取水口(上昇側) 最大ケース</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アスペリティ位置: de南へ20km ・断層パターン: 6 ・波源位置: くの字モデル(東へ移動) ・断層面上縁深さ: 5km 	STEP4 防潮堤前面(上昇側)最大ケースと同じ		
<p>STEP4 1, 2号炉取水口(上昇側) 最大ケース</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アスペリティ位置: de南へ20km ・断層パターン: 6 ・波源位置: くの字モデル(東へ移動) ・断層面上縁深さ: 5km 	STEP4 防潮堤前面(上昇側)最大ケースと同じ		
<p>STEP4 放水口(上昇側) 最大ケース</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アスペリティ位置: de北へ10km ・断層パターン: 6 ・波源位置: くの字モデル(東へ移動) ・断層面上縁深さ: 0km 	<p>3号炉取水口前面</p>	<p>1, 2号炉取水口前面</p>	<p>放水口前面</p>

※赤ハッチングは断層パターン6, 青ハッチングは断層パターン7の波源モデルである。

2.4.4 敷地北側防潮堤の損傷による影響確認

敷地北側防潮堤の損傷を考慮したことによる水位時刻歴波形の比較 (9/49) 損傷の組合せ地形②

再掲 (R3/9/3審査会合)

- 敷地北側防潮堤の損傷状態② (北部なし) の3号炉取水口, 1, 2号炉取水口, 放水口の水位時刻歴波形は下表のとおりである。
- 敷地北側防潮堤の損傷状態による水位時刻歴波形に有意な差はないことを確認した。

対象ケース	水位時刻歴波形		
	3号炉取水口	1, 2号炉取水口	放水口
<p>STEP4 3号炉取水口 (下降側) 最大ケース</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アスペリティ位置: de ・断層パターン: 7 ・波源位置: 矩形モデル (東へ移動) ・断層面上縁深さ: 5km 	<p>—— 敷地北側防潮堤の損傷状態: 健全 —— 敷地北側防潮堤の損傷状態② (北部なし)</p>	<p>—— 敷地北側防潮堤の損傷状態: 健全 —— 敷地北側防潮堤の損傷状態② (北部なし)</p>	<p>—— 敷地北側防潮堤の損傷状態: 健全 —— 敷地北側防潮堤の損傷状態② (北部なし)</p>
<p>STEP4 1, 2号炉取水口 (下降側) 最大ケース</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アスペリティ位置: de ・断層パターン: 7 ・波源位置: 矩形モデル (東へ移動) ・断層面上縁深さ: 5km 	<p>STEP4 3号炉取水口 (下降側) 最大ケースと同じ</p>		

※赤ハッチングは断層パターン6, 青ハッチングは断層パターン7の波源モデルである。

2.4.4 敷地北側防潮堤の損傷による影響確認

敷地北側防潮堤の損傷を考慮したことによる水位時刻歴波形の比較 (10/49) 損傷の組合せ地形③

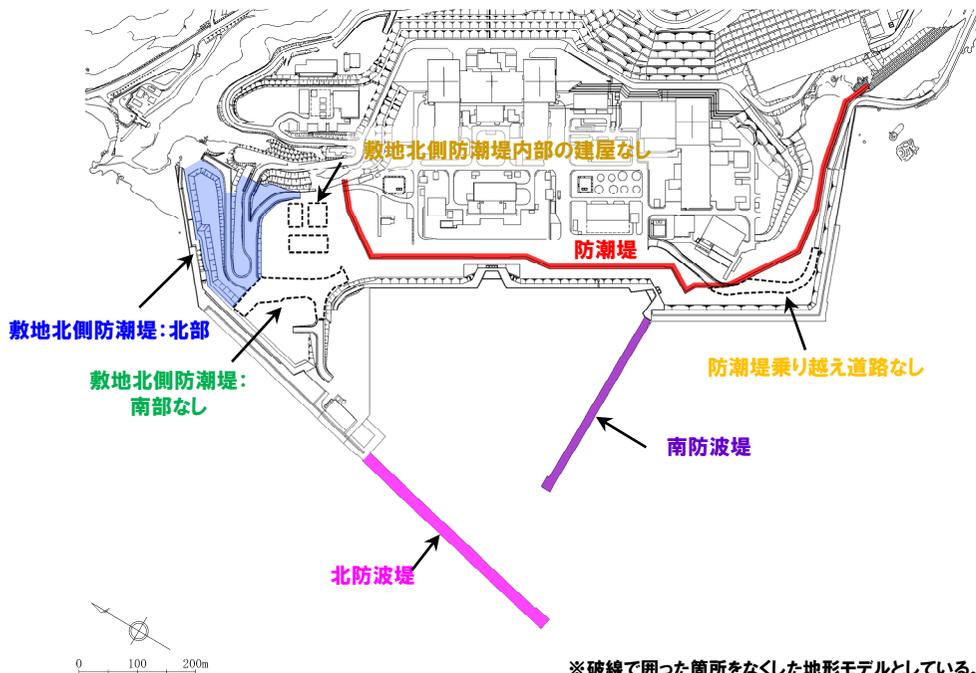
再掲 (R3/9/3審査会合)

○損傷の組合せ地形③ (黄色ハッチングした防波堤の損傷と敷地北側防潮堤の損傷の組合せ地形) を用いて敷地北側防潮堤の損傷による影響確認を実施した。

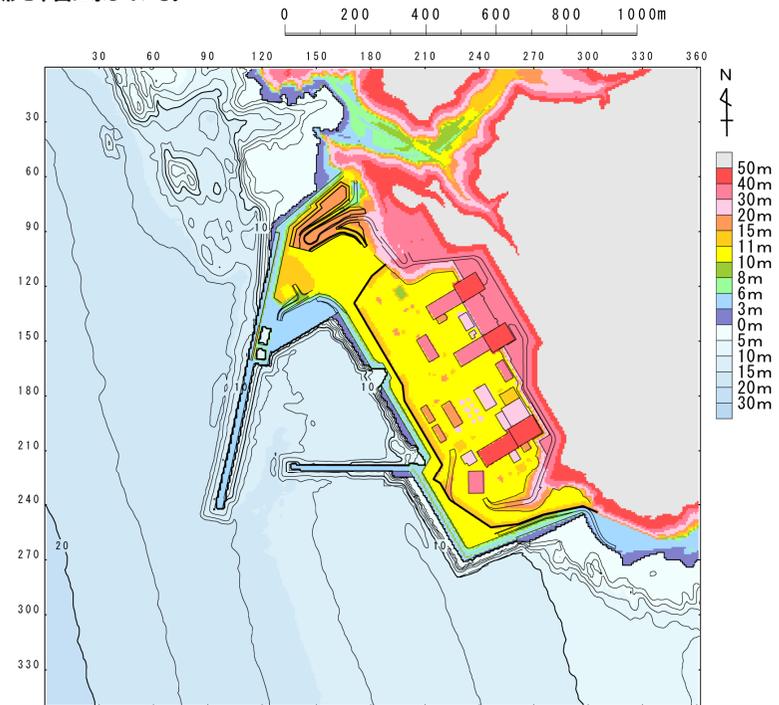
【検討に用いる地形モデル】

地形モデル (防波堤の損傷状態)	敷地北側防潮堤の損傷状態
健全地形モデル (北防波堤あり-南防波堤あり)	健全 (北部あり-南部あり)
防波堤の損傷を考慮した地形モデル① (北防波堤なし-南防波堤なし)	敷地北側防潮堤の損傷状態① (北部なし-南部なし)
防波堤の損傷を考慮した地形モデル② (北防波堤あり-南防波堤なし)	敷地北側防潮堤の損傷状態② (北部なし-南部あり)
防波堤の損傷を考慮した地形モデル③ (北防波堤なし-南防波堤あり)	敷地北側防潮堤の損傷状態③ (北部あり-南部なし)

※黄色ハッチングした防波堤の損傷と敷地北側防潮堤の損傷の組合せ地形を下図に示している。



※破線で囲った箇所をなくした地形モデルとしている。



2.4.4 敷地北側防潮堤の損傷による影響確認

敷地北側防潮堤の損傷を考慮したことによる水位時刻歴波形の比較 (11/49) 損傷の組合せ地形③

再掲 (R3/9/3審査会合)

- 敷地北側防潮堤の損傷状態③ (南部なし) の3号炉取水口, 1, 2号炉取水口, 放水口の水位時刻歴波形は下表のとおりである。
- 敷地北側防潮堤の損傷状態による水位時刻歴波形に有意な差はないことを確認した。

対象ケース	水位時刻歴波形		
	3号炉取水口	1, 2号炉取水口	放水口
<p>STEP4 防潮堤前面 (上昇側) 最大ケース</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アスペリティ位置: de南へ20km ・断層パターン: 6 ・波源位置: くの字モデル (東へ移動) ・断層面上縁深さ: 5km 	<p>—— 敷地北側防潮堤の損傷状態: 健全 —— 敷地北側防潮堤の損傷状態③ (南部なし)</p>	<p>—— 敷地北側防潮堤の損傷状態: 健全 —— 敷地北側防潮堤の損傷状態③ (南部なし)</p>	<p>—— 敷地北側防潮堤の損傷状態: 健全 —— 敷地北側防潮堤の損傷状態③ (南部なし)</p>
<p>STEP4 敷地北側A (上昇側) 最大ケース</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アスペリティ位置: de南へ20km ・断層パターン: 6 ・波源位置: くの字モデル (東へ移動) ・断層面上縁深さ: 4km 	<p>—— 敷地北側防潮堤の損傷状態: 健全 —— 敷地北側防潮堤の損傷状態③ (南部なし)</p>	<p>—— 敷地北側防潮堤の損傷状態: 健全 —— 敷地北側防潮堤の損傷状態③ (南部なし)</p>	<p>—— 敷地北側防潮堤の損傷状態: 健全 —— 敷地北側防潮堤の損傷状態③ (南部なし)</p>
<p>STEP4 敷地北側B (上昇側) 最大ケース</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アスペリティ位置: de南へ20km ・断層パターン: 6 ・波源位置: くの字モデル (東へ移動) ・断層面上縁深さ: 4km 	<p>STEP4 敷地北側A (上昇側) 最大ケースと同じ</p>		

※赤ハッチングは断層パターン6, 青ハッチングは断層パターン7の波源モデルである。

2.4.4 敷地北側防潮堤の損傷による影響確認

敷地北側防潮堤の損傷を考慮したことによる水位時刻歴波形の比較 (12/49) 損傷の組合せ地形③

再掲 (R3/9/3審査会合)

- 敷地北側防潮堤の損傷状態③ (南部なし) の3号炉取水口, 1, 2号炉取水口, 放水口の水位時刻歴波形は下表のとおりである。
- 敷地北側防潮堤の損傷状態による水位時刻歴波形に有意な差はないことを確認した。

対象ケース	水位時刻歴波形		
	3号炉取水口	1, 2号炉取水口	放水口
<p>STEP4 3号炉取水口 (上昇側) 最大ケース</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アスペリティ位置: de南へ20km ・断層パターン: 6 ・波源位置: くの字モデル (東へ移動) ・断層面上縁深さ: 5km 	STEP4 防潮堤前面 (上昇側) 最大ケースと同じ		
<p>STEP4 1, 2号炉取水口 (上昇側) 最大ケース</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アスペリティ位置: de南へ20km ・断層パターン: 6 ・波源位置: くの字モデル (東へ移動) ・断層面上縁深さ: 5km 	STEP4 防潮堤前面 (上昇側) 最大ケースと同じ		
<p>STEP4 放水口 (上昇側) 最大ケース</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アスペリティ位置: de北へ10km ・断層パターン: 6 ・波源位置: くの字モデル (東へ移動) ・断層面上縁深さ: 0km 	<p>3号炉取水口前面</p>	<p>1・2号炉取水口前面</p>	<p>放水口前面</p>

※赤ハッチングは断層パターン6, 青ハッチングは断層パターン7の波源モデルである。

2.4.4 敷地北側防潮堤の損傷による影響確認

敷地北側防潮堤の損傷を考慮したことによる水位時刻歴波形の比較 (13/49) 損傷の組合せ地形③

再掲 (R3/9/3審査会合)

- 敷地北側防潮堤の損傷状態③ (南部なし) の3号炉取水口, 1, 2号炉取水口, 放水口の水位時刻歴波形は下表のとおりである。
- 敷地北側防潮堤の損傷状態による水位時刻歴波形に有意な差はないことを確認した。

対象ケース	水位時刻歴波形		
	3号炉取水口	1, 2号炉取水口	放水口
<p>STEP4 3号炉取水口 (下降側) 最大ケース</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アスペリティ位置: de ・断層パターン: 7 ・波源位置: 矩形モデル (東へ移動) ・断層面上縁深さ: 5km 	<p>—— 敷地北側防潮堤の損傷状態: 健全 —— 敷地北側防潮堤の損傷状態③ (南部なし)</p>	<p>—— 敷地北側防潮堤の損傷状態: 健全 —— 敷地北側防潮堤の損傷状態③ (南部なし)</p>	<p>—— 敷地北側防潮堤の損傷状態: 健全 —— 敷地北側防潮堤の損傷状態③ (南部なし)</p>
<p>STEP4 1, 2号炉取水口 (下降側) 最大ケース</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アスペリティ位置: de ・断層パターン: 7 ・波源位置: 矩形モデル (東へ移動) ・断層面上縁深さ: 5km 	STEP4 3号炉取水口 (下降側) 最大ケースと同じ		

※赤ハッチングは断層パターン6, 青ハッチングは断層パターン7の波源モデルである。

2.4.4 敷地北側防潮堤の損傷による影響確認

敷地北側防潮堤の損傷を考慮したことによる水位時刻歴波形の比較 (14/49) 損傷の組合せ地形④

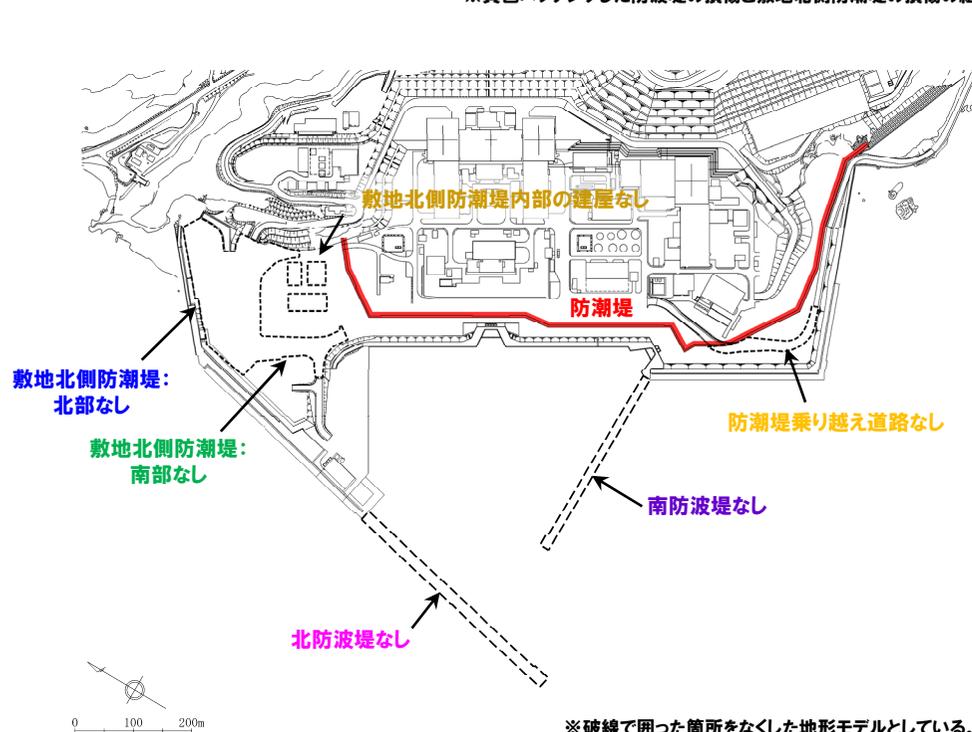
再掲 (R3/9/3審査会合)

○損傷の組合せ地形④ (黄色ハッチングした防波堤の損傷と敷地北側防潮堤の損傷の組合せ地形) を用いて敷地北側防潮堤の損傷による影響確認を実施した。

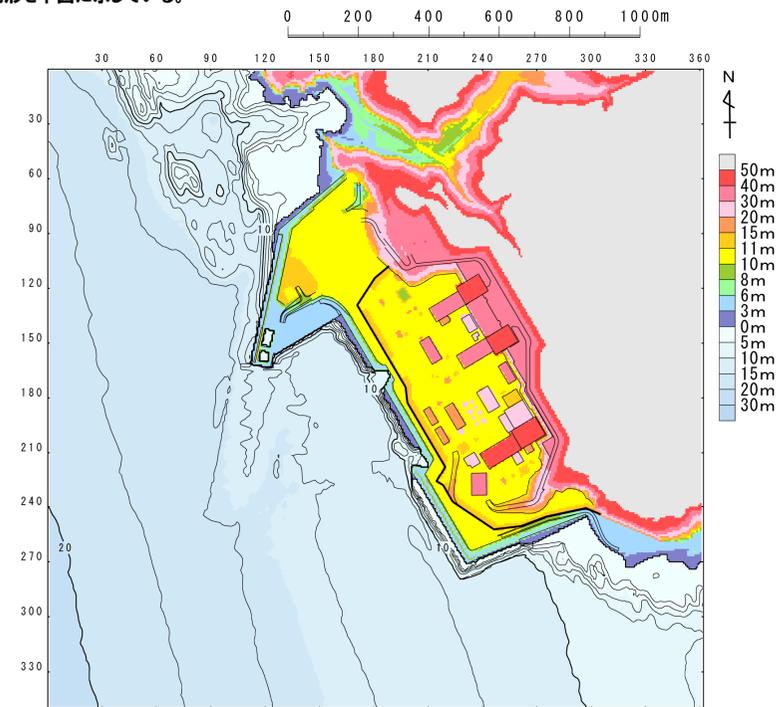
【検討に用いる地形モデル】

地形モデル (防波堤の損傷状態)	敷地北側防潮堤の損傷状態
健全地形モデル (北防波堤あり-南防波堤あり)	健全 (北部あり-南部あり)
防波堤の損傷を考慮した地形モデル① (北防波堤なし-南防波堤なし)	敷地北側防潮堤の損傷状態① (北部なし-南部なし)
防波堤の損傷を考慮した地形モデル② (北防波堤あり-南防波堤なし)	敷地北側防潮堤の損傷状態② (北部なし-南部あり)
防波堤の損傷を考慮した地形モデル③ (北防波堤なし-南防波堤あり)	敷地北側防潮堤の損傷状態③ (北部あり-南部なし)

※黄色ハッチングした防波堤の損傷と敷地北側防潮堤の損傷の組合せ地形を下図に示している。



※破線で囲った箇所をなくした地形モデルとしている。



2.4.4 敷地北側防潮堤の損傷による影響確認

敷地北側防潮堤の損傷を考慮したことによる水位時刻歴波形の比較 (15/49) 損傷の組合せ地形④

再掲 (R3/9/3審査会合)

- 敷地北側防潮堤の損傷状態① (敷地北側防潮堤なし) の3号炉取水口, 1, 2号炉取水口, 放水口の水位時刻歴波形は下表のとおりである。
- 敷地北側防潮堤の損傷状態による水位時刻歴波形に有意な差はないことを確認した。

対象ケース	水位時刻歴波形		
	3号炉取水口	1, 2号炉取水口	放水口
<p>STEP4 防潮堤前面 (上昇側) 最大ケース</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アスペリティ位置: de南へ20km ・断層パターン: 6 ・波源位置: くの字モデル (東へ移動) ・断層面上縁深さ: 5km 	<p>—— 敷地北側防潮堤の損傷状態: 健全 —— 敷地北側防潮堤の損傷状態① (敷地北側防潮堤なし)</p>	<p>—— 敷地北側防潮堤の損傷状態: 健全 —— 敷地北側防潮堤の損傷状態① (敷地北側防潮堤なし)</p>	<p>—— 敷地北側防潮堤の損傷状態: 健全 —— 敷地北側防潮堤の損傷状態① (敷地北側防潮堤なし)</p>
<p>STEP4 敷地北側A (上昇側) 最大ケース</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アスペリティ位置: de南へ20km ・断層パターン: 6 ・波源位置: くの字モデル (東へ移動) ・断層面上縁深さ: 5km 	<p>STEP4 防潮堤前面 (上昇側) 最大ケースと同じ</p>		
<p>STEP4 敷地北側B (上昇側) 最大ケース</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アスペリティ位置: de南へ20km ・断層パターン: 6 ・波源位置: くの字モデル (東へ移動) ・断層面上縁深さ: 3km 	<p>—— 敷地北側防潮堤の損傷状態: 健全 —— 敷地北側防潮堤の損傷状態① (敷地北側防潮堤なし)</p>	<p>—— 敷地北側防潮堤の損傷状態: 健全 —— 敷地北側防潮堤の損傷状態① (敷地北側防潮堤なし)</p>	<p>—— 敷地北側防潮堤の損傷状態: 健全 —— 敷地北側防潮堤の損傷状態① (敷地北側防潮堤なし)</p>

※赤ハッチングは断層パターン6, 青ハッチングは断層パターン7の波源モデルである。

2.4.4 敷地北側防潮堤の損傷による影響確認

敷地北側防潮堤の損傷を考慮したことによる水位時刻歴波形の比較 (16/49) 損傷の組合せ地形④

再掲 (R3/9/3審査会合)

- 敷地北側防潮堤の損傷状態① (敷地北側防潮堤なし) の3号炉取水口, 1, 2号炉取水口, 放水口の水位時刻歴波形は下表のとおりである。
- 敷地北側防潮堤の損傷状態による水位時刻歴波形に有意な差はないことを確認した。

対象ケース	水位時刻歴波形		
	3号炉取水口	1, 2号炉取水口	放水口
<p>STEP4 3号炉取水口 (上昇側) 最大ケース</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アスペリティ位置: de南へ20km ・断層パターン: 6 ・波源位置: くの字モデル (東へ移動) ・断層面上縁深さ: 4km 	<p>—— 敷地北側防潮堤の損傷状態: 健全 —— 敷地北側防潮堤の損傷状態① (敷地北側防潮堤なし)</p>	<p>—— 敷地北側防潮堤の損傷状態: 健全 —— 敷地北側防潮堤の損傷状態① (敷地北側防潮堤なし)</p>	<p>—— 敷地北側防潮堤の損傷状態: 健全 —— 敷地北側防潮堤の損傷状態① (敷地北側防潮堤なし)</p>
<p>STEP4 1, 2号炉取水口 (上昇側) 最大ケース</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アスペリティ位置: de南へ20km ・断層パターン: 6 ・波源位置: くの字モデル (東へ移動) ・断層面上縁深さ: 5km 	<p>STEP4 防潮堤前面 (上昇側) 最大ケースと同じ</p>		
<p>STEP4 放水口 (上昇側) 最大ケース</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アスペリティ位置: de北へ10km ・断層パターン: 6 ・波源位置: くの字モデル (東へ移動) ・断層面上縁深さ: 0km 	<p>—— 敷地北側防潮堤の損傷状態: 健全 —— 敷地北側防潮堤の損傷状態① (敷地北側防潮堤なし)</p>	<p>—— 敷地北側防潮堤の損傷状態: 健全 —— 敷地北側防潮堤の損傷状態① (敷地北側防潮堤なし)</p>	<p>—— 敷地北側防潮堤の損傷状態: 健全 —— 敷地北側防潮堤の損傷状態① (敷地北側防潮堤なし)</p>

※赤ハッチングは断層パターン6, 青ハッチングは断層パターン7の波源モデルである。

2.4.4 敷地北側防潮堤の損傷による影響確認

敷地北側防潮堤の損傷を考慮したことによる水位時刻歴波形の比較 (17/49) 損傷の組合せ地形④

再掲 (R3/9/3審査会合)

- 敷地北側防潮堤の損傷状態① (敷地北側防潮堤なし) の3号炉取水口, 1, 2号炉取水口, 放水口の水位時刻歴波形は下表のとおりである。
- 敷地北側防潮堤の損傷状態による水位時刻歴波形に有意な差はないことを確認した。

対象ケース	水位時刻歴波形		
	3号炉取水口	1, 2号炉取水口	放水口
<p>STEP4 3号炉取水口 (下降側) 最大ケース</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アスペリティ位置: de ・断層パターン: 7 ・波源位置: 矩形モデル (東へ移動) ・断層面上縁深さ: 5km 	<p>—— 敷地北側防潮堤の損傷状態: 健全 —— 敷地北側防潮堤の損傷状態① (敷地北側防潮堤なし)</p>	<p>—— 敷地北側防潮堤の損傷状態: 健全 —— 敷地北側防潮堤の損傷状態① (敷地北側防潮堤なし)</p>	<p>—— 敷地北側防潮堤の損傷状態: 健全 —— 敷地北側防潮堤の損傷状態① (敷地北側防潮堤なし)</p>
<p>STEP4 1, 2号炉取水口 (下降側) 最大ケース</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アスペリティ位置: de ・断層パターン: 7 ・波源位置: 矩形モデル (東へ移動) ・断層面上縁深さ: 5km 	<p>STEP4 3号炉取水口 (下降側) 最大ケースと同じ</p>		

※赤ハッチングは断層パターン6, 青ハッチングは断層パターン7の波源モデルである。

2.4.4 敷地北側防潮堤の損傷による影響確認

敷地北側防潮堤の損傷を考慮したことによる水位時刻歴波形の比較 (18/49) 損傷の組合せ地形⑤

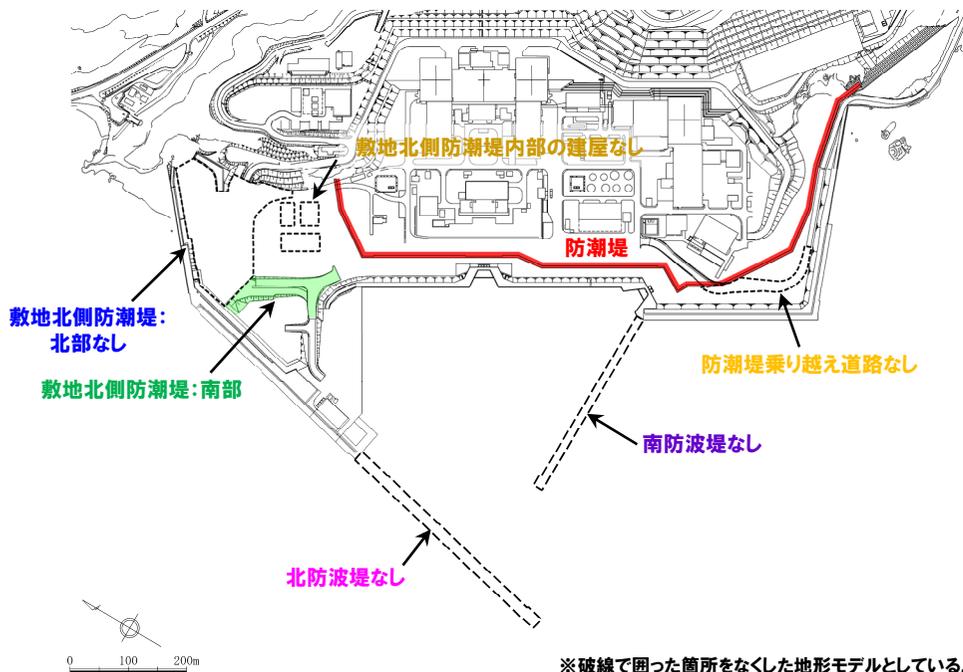
再掲 (R3/9/3審査会合)

○損傷の組合せ地形⑤ (黄色ハッチングした防波堤の損傷と敷地北側防潮堤の損傷の組合せ地形) を用いて敷地北側防潮堤の損傷による影響確認を実施した。

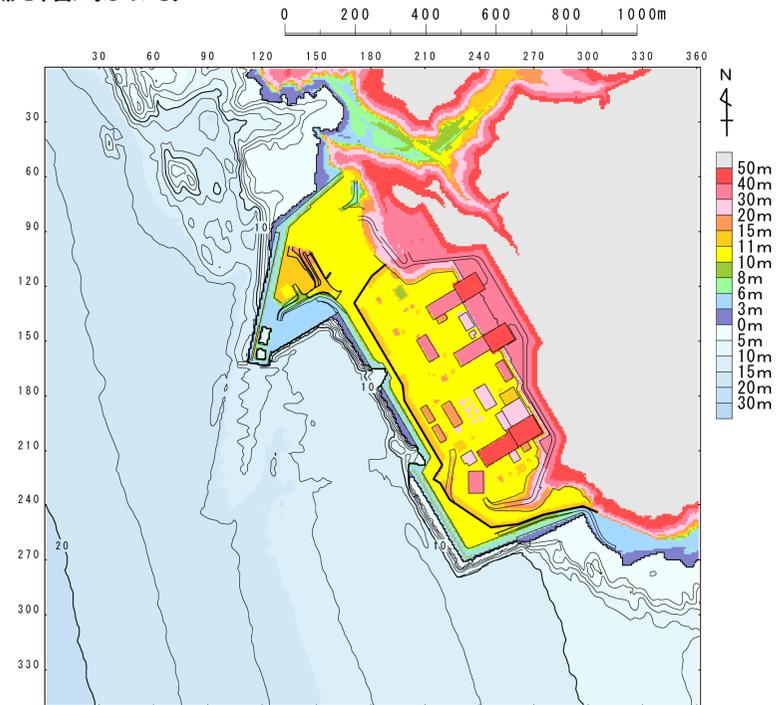
【検討に用いる地形モデル】

地形モデル (防波堤の損傷状態)	敷地北側防潮堤の損傷状態
健全地形モデル (北防波堤あり-南防波堤あり)	健全 (北部あり-南部あり)
防波堤の損傷を考慮した地形モデル① (北防波堤なし-南防波堤なし)	敷地北側防潮堤の損傷状態① (北部なし-南部なし)
防波堤の損傷を考慮した地形モデル② (北防波堤あり-南防波堤なし)	敷地北側防潮堤の損傷状態② (北部なし-南部あり)
防波堤の損傷を考慮した地形モデル③ (北防波堤なし-南防波堤あり)	敷地北側防潮堤の損傷状態③ (北部あり-南部なし)

※黄色ハッチングした防波堤の損傷と敷地北側防潮堤の損傷の組合せ地形を下図に示している。



※破線で囲った箇所をなくした地形モデルとしている。



2.4.4 敷地北側防潮堤の損傷による影響確認

敷地北側防潮堤の損傷を考慮したことによる水位時刻歴波形の比較 (19/49) 損傷の組合せ地形⑤

再掲 (R3/9/3審査会合)

- 敷地北側防潮堤の損傷状態② (北部なし) の3号炉取水口, 1, 2号炉取水口, 放水口の水位時刻歴波形は下表のとおりである。
- 敷地北側防潮堤の損傷状態による水位時刻歴波形に有意な差はないことを確認した。

対象ケース	水位時刻歴波形		
	3号炉取水口	1, 2号炉取水口	放水口
<p>STEP4 防潮堤前面 (上昇側) 最大ケース</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アスペリティ位置: de南へ20km ・断層パターン: 6 ・波源位置: くの字モデル (東へ移動) ・断層面上縁深さ: 5km 	<p>—— 敷地北側防潮堤の損傷状態: 健全 —— 敷地北側防潮堤の損傷状態② (北部なし)</p>	<p>—— 敷地北側防潮堤の損傷状態: 健全 —— 敷地北側防潮堤の損傷状態② (北部なし)</p>	<p>—— 敷地北側防潮堤の損傷状態: 健全 —— 敷地北側防潮堤の損傷状態② (北部なし)</p>
<p>STEP4 敷地北側A (上昇側) 最大ケース</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アスペリティ位置: de南へ20km ・断層パターン: 6 ・波源位置: くの字モデル (東へ移動) ・断層面上縁深さ: 5km 	<p>STEP4 防潮堤前面 (上昇側) 最大ケースと同じ</p>		
<p>STEP4 敷地北側B (上昇側) 最大ケース</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アスペリティ位置: de南へ20km ・断層パターン: 6 ・波源位置: くの字モデル (東へ移動) ・断層面上縁深さ: 3km 	<p>—— 敷地北側防潮堤の損傷状態: 健全 —— 敷地北側防潮堤の損傷状態② (北部なし)</p>	<p>—— 敷地北側防潮堤の損傷状態: 健全 —— 敷地北側防潮堤の損傷状態② (北部なし)</p>	<p>—— 敷地北側防潮堤の損傷状態: 健全 —— 敷地北側防潮堤の損傷状態② (北部なし)</p>

※赤ハッチングは断層パターン6, 青ハッチングは断層パターン7の波源モデルである。

2.4.4 敷地北側防潮堤の損傷による影響確認

敷地北側防潮堤の損傷を考慮したことによる水位時刻歴波形の比較 (20/49) 損傷の組合せ地形⑤

再掲 (R3/9/3審査会合)

- 敷地北側防潮堤の損傷状態② (北部なし) の3号炉取水口, 1, 2号炉取水口, 放水口の水位時刻歴波形は下表のとおりである。
- 敷地北側防潮堤の損傷状態による水位時刻歴波形に有意な差はないことを確認した。

対象ケース	水位時刻歴波形		
	3号炉取水口	1, 2号炉取水口	放水口
<p>STEP4 3号炉取水口 (上昇側) 最大ケース</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アスペリティ位置: de南へ20km ・断層パターン: 6 ・波源位置: くの字モデル (東へ移動) ・断層面上縁深さ: 4km 	<p>—— 敷地北側防潮堤の損傷状態: 健全 —— 敷地北側防潮堤の損傷状態② (北部なし)</p>	<p>—— 敷地北側防潮堤の損傷状態: 健全 —— 敷地北側防潮堤の損傷状態② (北部なし)</p>	<p>—— 敷地北側防潮堤の損傷状態: 健全 —— 敷地北側防潮堤の損傷状態② (北部なし)</p>
<p>STEP4 1, 2号炉取水口 (上昇側) 最大ケース</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アスペリティ位置: de南へ20km ・断層パターン: 6 ・波源位置: くの字モデル (東へ移動) ・断層面上縁深さ: 5km 	<p>STEP4 防潮堤前面 (上昇側) 最大ケースと同じ</p>		
<p>STEP4 放水口 (上昇側) 最大ケース</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アスペリティ位置: de北へ10km ・断層パターン: 6 ・波源位置: くの字モデル (東へ移動) ・断層面上縁深さ: 0km 	<p>—— 敷地北側防潮堤の損傷状態: 健全 —— 敷地北側防潮堤の損傷状態② (北部なし)</p>	<p>—— 敷地北側防潮堤の損傷状態: 健全 —— 敷地北側防潮堤の損傷状態② (北部なし)</p>	<p>—— 敷地北側防潮堤の損傷状態: 健全 —— 敷地北側防潮堤の損傷状態② (北部なし)</p>

※赤ハッチングは断層パターン6, 青ハッチングは断層パターン7の波源モデルである。

2.4.4 敷地北側防潮堤の損傷による影響確認

敷地北側防潮堤の損傷を考慮したことによる水位時刻歴波形の比較 (21/49) 損傷の組合せ地形⑤

再掲 (R3/9/3審査会合)

- 敷地北側防潮堤の損傷状態② (北部なし) の3号炉取水口, 1, 2号炉取水口, 放水口の水位時刻歴波形は下表のとおりである。
- 敷地北側防潮堤の損傷状態による水位時刻歴波形に有意な差はないことを確認した。

対象ケース	水位時刻歴波形		
	3号炉取水口	1, 2号炉取水口	放水口
<p>STEP4 3号炉取水口 (下降側) 最大ケース</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アスペリティ位置: de ・断層パターン: 7 ・波源位置: 矩形モデル (東へ移動) ・断層面上縁深さ: 5km 	<p>—— 敷地北側防潮堤の損傷状態: 健全 —— 敷地北側防潮堤の損傷状態② (北部なし)</p>	<p>—— 敷地北側防潮堤の損傷状態: 健全 —— 敷地北側防潮堤の損傷状態② (北部なし)</p>	<p>—— 敷地北側防潮堤の損傷状態: 健全 —— 敷地北側防潮堤の損傷状態② (北部なし)</p>
<p>STEP4 1, 2号炉取水口 (下降側) 最大ケース</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アスペリティ位置: de ・断層パターン: 7 ・波源位置: 矩形モデル (東へ移動) ・断層面上縁深さ: 5km 	STEP4 3号炉取水口 (下降側) 最大ケースと同じ		

※赤ハッチングは断層パターン6, 青ハッチングは断層パターン7の波源モデルである。

2.4.4 敷地北側防潮堤の損傷による影響確認

敷地北側防潮堤の損傷を考慮したことによる水位時刻歴波形の比較 (22/49) 損傷の組合せ地形⑥

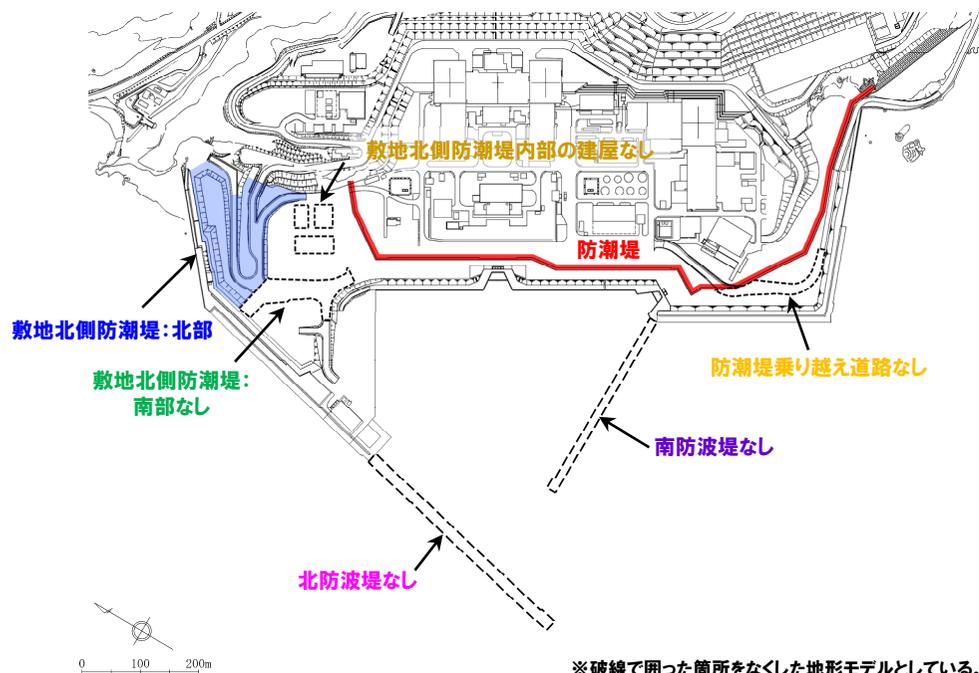
再掲 (R3/9/3審査会合)

○損傷の組合せ地形⑥ (黄色ハッチングした防波堤の損傷と敷地北側防潮堤の損傷の組合せ地形) を用いて敷地北側防潮堤の損傷による影響確認を実施した。

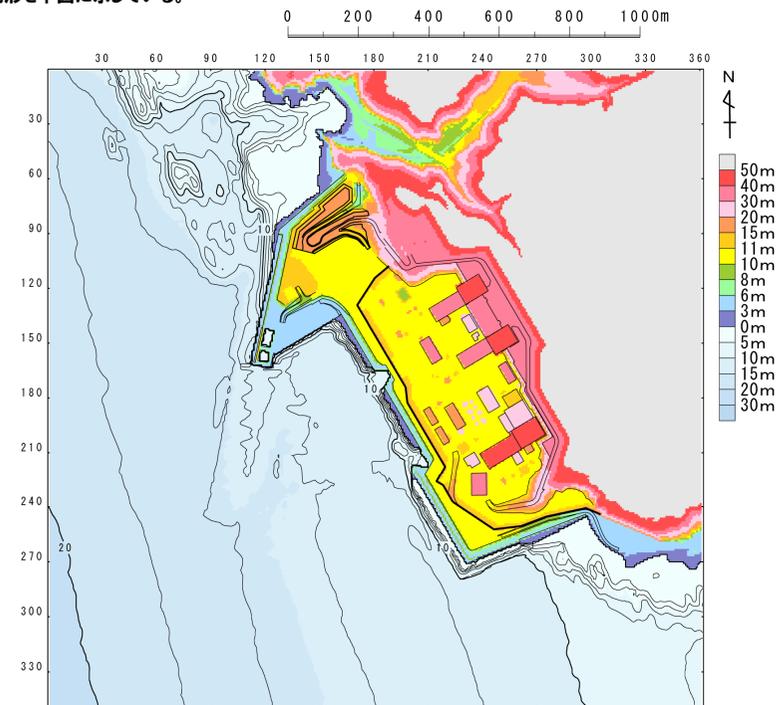
【検討に用いる地形モデル】

地形モデル (防波堤の損傷状態)	敷地北側防潮堤の損傷状態
健全地形モデル (北防波堤あり-南防波堤あり)	健全 (北部あり-南部あり)
防波堤の損傷を考慮した地形モデル① (北防波堤なし-南防波堤なし)	敷地北側防潮堤の損傷状態① (北部なし-南部なし)
防波堤の損傷を考慮した地形モデル② (北防波堤あり-南防波堤なし)	敷地北側防潮堤の損傷状態② (北部なし-南部あり)
防波堤の損傷を考慮した地形モデル③ (北防波堤なし-南防波堤あり)	敷地北側防潮堤の損傷状態③ (北部あり-南部なし)

※黄色ハッチングした防波堤の損傷と敷地北側防潮堤の損傷の組合せ地形を下図に示している。



※破線で囲った箇所をなくした地形モデルとしている。



2.4.4 敷地北側防潮堤の損傷による影響確認

敷地北側防潮堤の損傷を考慮したことによる水位時刻歴波形の比較 (23/49) 損傷の組合せ地形⑥

再掲 (R3/9/3審査会合)

- 敷地北側防潮堤の損傷状態③ (南部なし) の3号炉取水口, 1, 2号炉取水口, 放水口の水位時刻歴波形は下表のとおりである。
- 敷地北側防潮堤の損傷状態による水位時刻歴波形に有意な差はないことを確認した。

対象ケース	水位時刻歴波形		
	3号炉取水口	1, 2号炉取水口	放水口
<p>STEP4 防潮堤前面 (上昇側) 最大ケース</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アスペリティ位置: de南へ20km ・断層パターン: 6 ・波源位置: くの字モデル (東へ移動) ・断層面上縁深さ: 5km 	<p>—— 敷地北側防潮堤の損傷状態: 健全 —— 敷地北側防潮堤の損傷状態③ (南部なし)</p>	<p>—— 敷地北側防潮堤の損傷状態: 健全 —— 敷地北側防潮堤の損傷状態③ (南部なし)</p>	<p>—— 敷地北側防潮堤の損傷状態: 健全 —— 敷地北側防潮堤の損傷状態③ (南部なし)</p>
<p>STEP4 敷地北側A (上昇側) 最大ケース</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アスペリティ位置: de南へ20km ・断層パターン: 6 ・波源位置: くの字モデル (東へ移動) ・断層面上縁深さ: 5km 	<p>STEP4 防潮堤前面 (上昇側) 最大ケースと同じ</p>		
<p>STEP4 敷地北側B (上昇側) 最大ケース</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アスペリティ位置: de南へ20km ・断層パターン: 6 ・波源位置: くの字モデル (東へ移動) ・断層面上縁深さ: 3km 	<p>—— 敷地北側防潮堤の損傷状態: 健全 —— 敷地北側防潮堤の損傷状態③ (南部なし)</p>	<p>—— 敷地北側防潮堤の損傷状態: 健全 —— 敷地北側防潮堤の損傷状態③ (南部なし)</p>	<p>—— 敷地北側防潮堤の損傷状態: 健全 —— 敷地北側防潮堤の損傷状態③ (南部なし)</p>

※赤ハッチングは断層パターン6, 青ハッチングは断層パターン7の波源モデルである。

2.4.4 敷地北側防潮堤の損傷による影響確認

敷地北側防潮堤の損傷を考慮したことによる水位時刻歴波形の比較 (24/49) 損傷の組合せ地形⑥

再掲 (R3/9/3審査会合)

- 敷地北側防潮堤の損傷状態③ (南部なし) の3号炉取水口, 1, 2号炉取水口, 放水口の水位時刻歴波形は下表のとおりである。
- 敷地北側防潮堤の損傷状態による水位時刻歴波形に有意な差はないことを確認した。

対象ケース	水位時刻歴波形		
	3号炉取水口	1, 2号炉取水口	放水口
<p>STEP4 3号炉取水口 (上昇側) 最大ケース</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アスペリティ位置: de南へ20km ・断層パターン: 6 ・波源位置: くの字モデル (東へ移動) ・断層面上縁深さ: 4km 	<p>—— 敷地北側防潮堤の損傷状態: 健全 —— 敷地北側防潮堤の損傷状態③ (南部なし)</p>	<p>—— 敷地北側防潮堤の損傷状態: 健全 —— 敷地北側防潮堤の損傷状態③ (南部なし)</p>	<p>—— 敷地北側防潮堤の損傷状態: 健全 —— 敷地北側防潮堤の損傷状態③ (南部なし)</p>
<p>STEP4 1, 2号炉取水口 (上昇側) 最大ケース</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アスペリティ位置: de南へ20km ・断層パターン: 6 ・波源位置: くの字モデル (東へ移動) ・断層面上縁深さ: 5km 	<p>STEP4 防潮堤前面 (上昇側) 最大ケースと同じ</p>		
<p>STEP4 放水口 (上昇側) 最大ケース</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アスペリティ位置: de北へ10km ・断層パターン: 6 ・波源位置: くの字モデル (東へ移動) ・断層面上縁深さ: 0km 	<p>—— 敷地北側防潮堤の損傷状態: 健全 —— 敷地北側防潮堤の損傷状態③ (南部なし)</p>	<p>—— 敷地北側防潮堤の損傷状態: 健全 —— 敷地北側防潮堤の損傷状態③ (南部なし)</p>	<p>—— 敷地北側防潮堤の損傷状態: 健全 —— 敷地北側防潮堤の損傷状態③ (南部なし)</p>

※赤ハッチングは断層パターン6, 青ハッチングは断層パターン7の波源モデルである。

2.4.4 敷地北側防潮堤の損傷による影響確認

敷地北側防潮堤の損傷を考慮したことによる水位時刻歴波形の比較 (25/49) 損傷の組合せ地形⑥

再掲 (R3/9/3審査会合)

- 敷地北側防潮堤の損傷状態③ (南部なし) の3号炉取水口, 1, 2号炉取水口, 放水口の水位時刻歴波形は下表のとおりである。
- 敷地北側防潮堤の損傷状態による水位時刻歴波形に有意な差はないことを確認した。

対象ケース	水位時刻歴波形		
	3号炉取水口	1, 2号炉取水口	放水口
<p>STEP4 3号炉取水口 (下降側) 最大ケース</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アスペリティ位置: de ・断層パターン: 7 ・波源位置: 矩形モデル (東へ移動) ・断層面上縁深さ: 5km 	<p>—— 敷地北側防潮堤の損傷状態: 健全 —— 敷地北側防潮堤の損傷状態③ (南部なし)</p>	<p>—— 敷地北側防潮堤の損傷状態: 健全 —— 敷地北側防潮堤の損傷状態③ (南部なし)</p>	<p>—— 敷地北側防潮堤の損傷状態: 健全 —— 敷地北側防潮堤の損傷状態③ (南部なし)</p>
<p>STEP4 1, 2号炉取水口 (下降側) 最大ケース</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アスペリティ位置: de ・断層パターン: 7 ・波源位置: 矩形モデル (東へ移動) ・断層面上縁深さ: 5km 	STEP4 3号炉取水口 (下降側) 最大ケースと同じ		

※赤ハッチングは断層パターン6, 青ハッチングは断層パターン7の波源モデルである。

2.4.4 敷地北側防潮堤の損傷による影響確認

敷地北側防潮堤の損傷を考慮したことによる水位時刻歴波形の比較 (26/49) 損傷の組合せ地形⑦

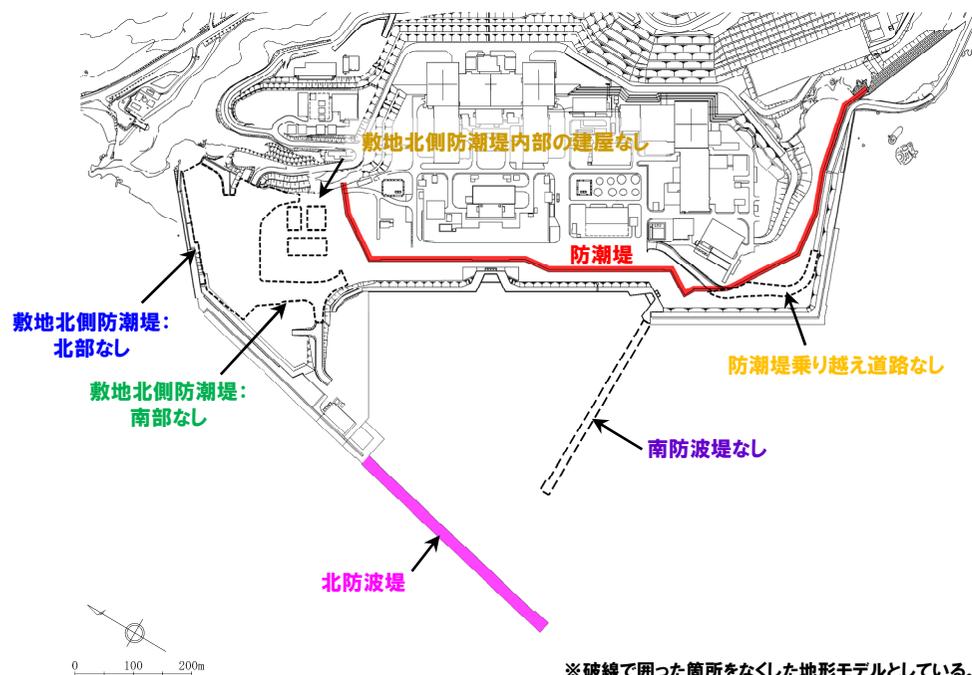
再掲 (R3/9/3審査会合)

○損傷の組合せ地形⑦ (黄色ハッチングした防波堤の損傷と敷地北側防潮堤の損傷の組合せ地形) を用いて敷地北側防潮堤の損傷による影響確認を実施した。

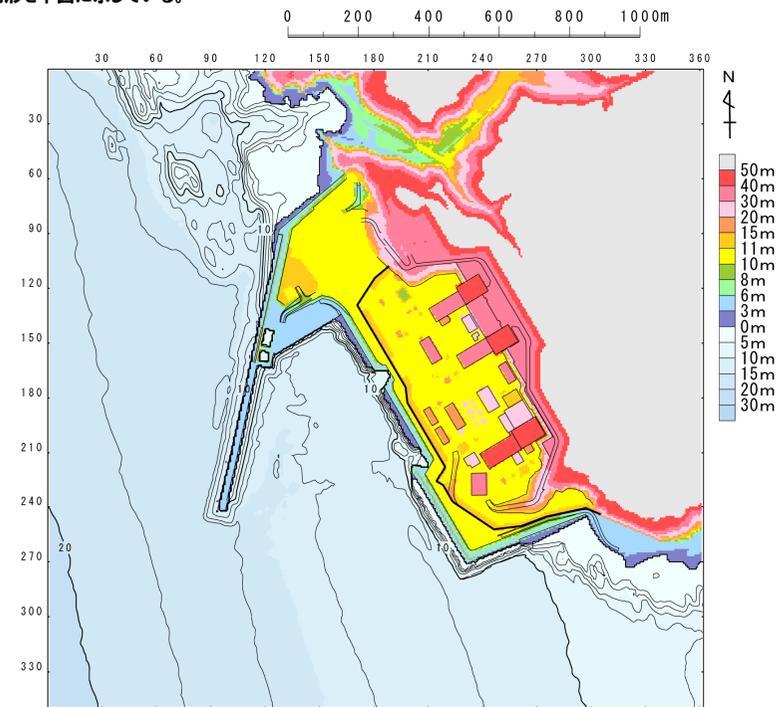
【検討に用いる地形モデル】

地形モデル (防波堤の損傷状態)	敷地北側防潮堤の損傷状態
健全地形モデル (北防波堤あり-南防波堤あり)	健全 (北部あり-南部あり)
防波堤の損傷を考慮した地形モデル① (北防波堤なし-南防波堤なし)	敷地北側防潮堤の損傷状態① (北部なし-南部なし)
防波堤の損傷を考慮した地形モデル② (北防波堤あり-南防波堤なし)	敷地北側防潮堤の損傷状態② (北部なし-南部あり)
防波堤の損傷を考慮した地形モデル③ (北防波堤なし-南防波堤あり)	敷地北側防潮堤の損傷状態③ (北部あり-南部なし)

※黄色ハッチングした防波堤の損傷と敷地北側防潮堤の損傷の組合せ地形を下図に示している。



※破線で囲った箇所をなくした地形モデルとしている。



2.4.4 敷地北側防潮堤の損傷による影響確認

敷地北側防潮堤の損傷を考慮したことによる水位時刻歴波形の比較 (27/49) 損傷の組合せ地形⑦

再掲 (R3/9/3審査会合)

- 敷地北側防潮堤の損傷状態① (敷地北側防潮堤なし) の3号炉取水口, 1, 2号炉取水口, 放水口の水位時刻歴波形は下表のとおりである。
- 敷地北側防潮堤の損傷状態による水位時刻歴波形に有意な差はないことを確認した。

対象ケース	水位時刻歴波形		
	3号炉取水口	1, 2号炉取水口	放水口
<p>STEP4 防潮堤前面 (上昇側) 最大ケース</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アスペリティ位置: de南へ20km ・断層パターン: 6 ・波源位置: くの字モデル (東へ移動) ・断層面上縁深さ: 5km 	<p>—— 敷地北側防潮堤の損傷状態: 健全 —— 敷地北側防潮堤の損傷状態① (敷地北側防潮堤なし)</p>	<p>—— 敷地北側防潮堤の損傷状態: 健全 —— 敷地北側防潮堤の損傷状態① (敷地北側防潮堤なし)</p>	<p>—— 敷地北側防潮堤の損傷状態: 健全 —— 敷地北側防潮堤の損傷状態① (敷地北側防潮堤なし)</p>
<p>STEP4 敷地北側A (上昇側) 最大ケース</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アスペリティ位置: de南へ20km ・断層パターン: 6 ・波源位置: くの字モデル (東へ移動) ・断層面上縁深さ: 5km 	<p>STEP4 防潮堤前面 (上昇側) 最大ケースと同じ</p>		
<p>STEP4 敷地北側B (上昇側) 最大ケース</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アスペリティ位置: de南へ20km ・断層パターン: 6 ・波源位置: くの字モデル (東へ移動) ・断層面上縁深さ: 4km 	<p>—— 敷地北側防潮堤の損傷状態: 健全 —— 敷地北側防潮堤の損傷状態① (敷地北側防潮堤なし)</p>	<p>—— 敷地北側防潮堤の損傷状態: 健全 —— 敷地北側防潮堤の損傷状態① (敷地北側防潮堤なし)</p>	<p>—— 敷地北側防潮堤の損傷状態: 健全 —— 敷地北側防潮堤の損傷状態① (敷地北側防潮堤なし)</p>

※赤ハッチングは断層パターン6, 青ハッチングは断層パターン7の波源モデルである。

2.4.4 敷地北側防潮堤の損傷による影響確認

敷地北側防潮堤の損傷を考慮したことによる水位時刻歴波形の比較 (28/49) 損傷の組合せ地形⑦

再掲 (R3/9/3審査会合)

- 敷地北側防潮堤の損傷状態① (敷地北側防潮堤なし) の3号炉取水口, 1, 2号炉取水口, 放水口の水位時刻歴波形は下表のとおりである。
- 敷地北側防潮堤の損傷状態による水位時刻歴波形に有意な差はないことを確認した。

対象ケース	水位時刻歴波形		
	3号炉取水口	1, 2号炉取水口	放水口
<p>STEP4 3号炉取水口 (上昇側) 最大ケース</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アスペリティ位置: de南へ20km ・断層パターン: 6 ・波源位置: くの字モデル (東へ移動) ・断層面上縁深さ: 5km 	STEP4 防潮堤前面 (上昇側) 最大ケースと同じ		
<p>STEP4 1, 2号炉取水口 (上昇側) 最大ケース</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アスペリティ位置: de南へ20km ・断層パターン: 6 ・波源位置: くの字モデル (東へ移動) ・断層面上縁深さ: 5km 	STEP4 防潮堤前面 (上昇側) 最大ケースと同じ		
<p>STEP4 放水口 (上昇側) 最大ケース</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アスペリティ位置: de北へ10km ・断層パターン: 6 ・波源位置: くの字モデル (東へ移動) ・断層面上縁深さ: 0km 	<p>3号炉取水口前面</p>	<p>1・2号炉取水口前面</p>	<p>放水口前面</p>

※赤ハッチングは断層パターン6, 青ハッチングは断層パターン7の波源モデルである。

2.4.4 敷地北側防潮堤の損傷による影響確認

敷地北側防潮堤の損傷を考慮したことによる水位時刻歴波形の比較 (29/49) 損傷の組合せ地形⑦

再掲 (R3/9/3審査会合)

- 敷地北側防潮堤の損傷状態① (敷地北側防潮堤なし) の3号炉取水口, 1, 2号炉取水口, 放水口の水位時刻歴波形は下表のとおりである。
- 敷地北側防潮堤の損傷状態による水位時刻歴波形に有意な差はないことを確認した。

対象ケース	水位時刻歴波形		
	3号炉取水口	1, 2号炉取水口	放水口
<p>STEP4 3号炉取水口 (下降側) 最大ケース</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アスペリティ位置: de ・断層パターン: 7 ・波源位置: 矩形モデル (東へ移動) ・断層面上縁深さ: 5km 	<p>—— 敷地北側防潮堤の損傷状態: 健全 —— 敷地北側防潮堤の損傷状態① (敷地北側防潮堤なし)</p>	<p>—— 敷地北側防潮堤の損傷状態: 健全 —— 敷地北側防潮堤の損傷状態① (敷地北側防潮堤なし)</p>	<p>—— 敷地北側防潮堤の損傷状態: 健全 —— 敷地北側防潮堤の損傷状態① (敷地北側防潮堤なし)</p>
<p>STEP4 1, 2号炉取水口 (下降側) 最大ケース</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アスペリティ位置: de ・断層パターン: 7 ・波源位置: 矩形モデル (東へ移動) ・断層面上縁深さ: 5km 	STEP4 3号炉取水口 (下降側) 最大ケースと同じ		

※赤ハッチングは断層パターン6, 青ハッチングは断層パターン7の波源モデルである。

2.4.4 敷地北側防潮堤の損傷による影響確認

敷地北側防潮堤の損傷を考慮したことによる水位時刻歴波形の比較 (30/49) 損傷の組合せ地形⑧

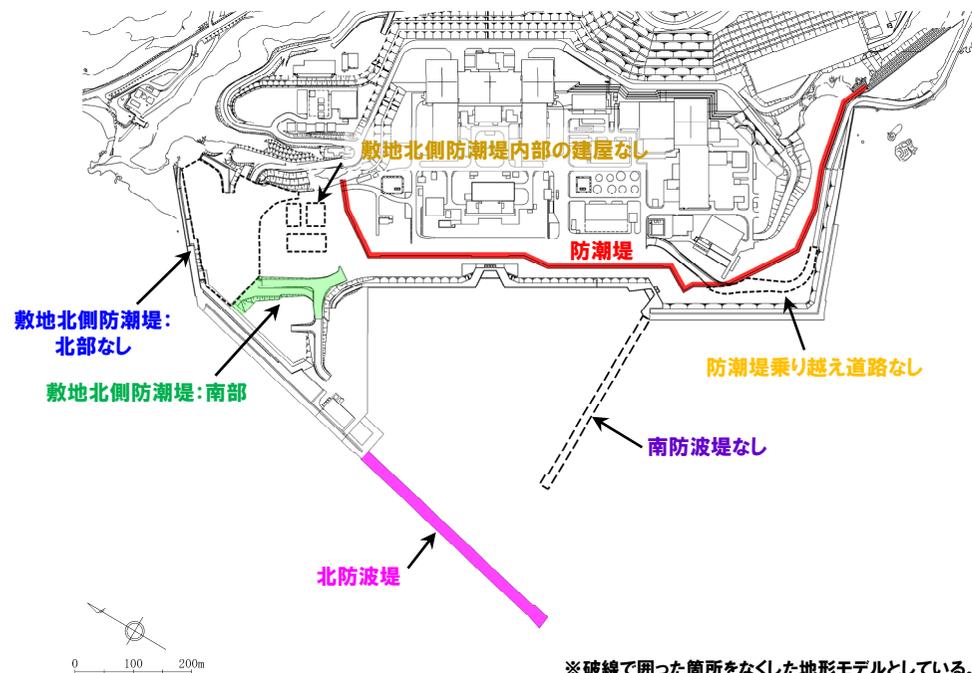
再掲 (R3/9/3審査会合)

○損傷の組合せ地形⑧ (黄色ハッチングした防波堤の損傷と敷地北側防潮堤の損傷の組合せ地形) を用いて敷地北側防潮堤の損傷による影響確認を実施した。

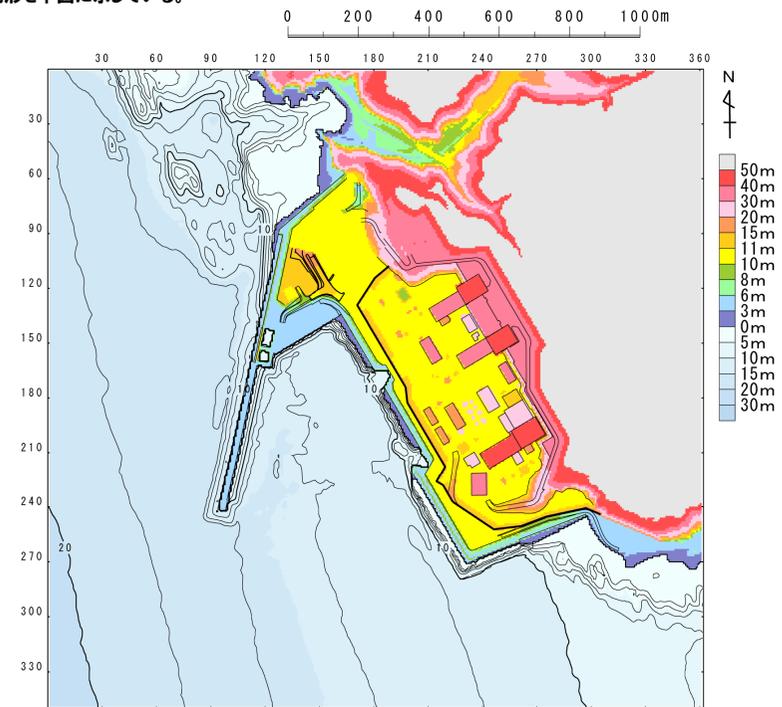
【検討に用いる地形モデル】

地形モデル (防波堤の損傷状態)	敷地北側防潮堤の損傷状態
健全地形モデル (北防波堤あり-南防波堤あり)	健全 (北部あり-南部あり)
防波堤の損傷を考慮した地形モデル① (北防波堤なし-南防波堤なし)	敷地北側防潮堤の損傷状態① (北部なし-南部なし)
防波堤の損傷を考慮した地形モデル② (北防波堤あり-南防波堤なし)	敷地北側防潮堤の損傷状態② (北部なし-南部あり)
防波堤の損傷を考慮した地形モデル③ (北防波堤なし-南防波堤あり)	敷地北側防潮堤の損傷状態③ (北部あり-南部なし)

※黄色ハッチングした防波堤の損傷と敷地北側防潮堤の損傷の組合せ地形を下図に示している。



※破線で囲った箇所をなくした地形モデルとしている。



2.4.4 敷地北側防潮堤の損傷による影響確認

敷地北側防潮堤の損傷を考慮したことによる水位時刻歴波形の比較 (31/49) 損傷の組合せ地形⑧

再掲 (R3/9/3審査会合)

- 敷地北側防潮堤の損傷状態② (北部なし) の3号炉取水口, 1, 2号炉取水口, 放水口の水位時刻歴波形は下表のとおりである。
- 敷地北側防潮堤の損傷状態による水位時刻歴波形に有意な差はないことを確認した。

対象ケース	水位時刻歴波形		
	3号炉取水口	1, 2号炉取水口	放水口
<p>STEP4 防潮堤前面 (上昇側) 最大ケース</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アスペリティ位置: de南へ20km ・断層パターン: 6 ・波源位置: くの字モデル (東へ移動) ・断層面上縁深さ: 5km 	<p>—— 敷地北側防潮堤の損傷状態: 健全 —— 敷地北側防潮堤の損傷状態② (北部なし)</p>	<p>—— 敷地北側防潮堤の損傷状態: 健全 —— 敷地北側防潮堤の損傷状態② (北部なし)</p>	<p>—— 敷地北側防潮堤の損傷状態: 健全 —— 敷地北側防潮堤の損傷状態② (北部なし)</p>
<p>STEP4 敷地北側A (上昇側) 最大ケース</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アスペリティ位置: de南へ20km ・断層パターン: 6 ・波源位置: くの字モデル (東へ移動) ・断層面上縁深さ: 5km 	STEP4 防潮堤前面 (上昇側) 最大ケースと同じ		
<p>STEP4 敷地北側B (上昇側) 最大ケース</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アスペリティ位置: de南へ20km ・断層パターン: 6 ・波源位置: くの字モデル (東へ移動) ・断層面上縁深さ: 4km 	<p>—— 敷地北側防潮堤の損傷状態: 健全 —— 敷地北側防潮堤の損傷状態② (北部なし)</p>	<p>—— 敷地北側防潮堤の損傷状態: 健全 —— 敷地北側防潮堤の損傷状態② (北部なし)</p>	<p>—— 敷地北側防潮堤の損傷状態: 健全 —— 敷地北側防潮堤の損傷状態② (北部なし)</p>

※赤ハッチングは断層パターン6, 青ハッチングは断層パターン7の波源モデルである。

2.4.4 敷地北側防潮堤の損傷による影響確認

敷地北側防潮堤の損傷を考慮したことによる水位時刻歴波形の比較 (32/49) 損傷の組合せ地形⑧

再掲 (R3/9/3審査会合)

- 敷地北側防潮堤の損傷状態② (北部なし) の3号炉取水口, 1, 2号炉取水口, 放水口の水位時刻歴波形は下表のとおりである。
- 敷地北側防潮堤の損傷状態による水位時刻歴波形に有意な差はないことを確認した。

対象ケース	水位時刻歴波形		
	3号炉取水口	1, 2号炉取水口	放水口
<p>STEP4 3号炉取水口 (上昇側) 最大ケース</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アスペリティ位置: de南へ20km ・断層パターン: 6 ・波源位置: くの字モデル (東へ移動) ・断層面上縁深さ: 5km 	STEP4 防潮堤前面 (上昇側) 最大ケースと同じ		
<p>STEP4 1, 2号炉取水口 (上昇側) 最大ケース</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アスペリティ位置: de南へ20km ・断層パターン: 6 ・波源位置: くの字モデル (東へ移動) ・断層面上縁深さ: 5km 	STEP4 防潮堤前面 (上昇側) 最大ケースと同じ		
<p>STEP4 放水口 (上昇側) 最大ケース</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アスペリティ位置: de北へ10km ・断層パターン: 6 ・波源位置: くの字モデル (東へ移動) ・断層面上縁深さ: 0km 	<p>3号炉取水口前面</p>	<p>1・2号炉取水口前面</p>	<p>放水口前面</p>

※赤ハッチングは断層パターン6, 青ハッチングは断層パターン7の波源モデルである。

2.4.4 敷地北側防潮堤の損傷による影響確認

敷地北側防潮堤の損傷を考慮したことによる水位時刻歴波形の比較 (33/49) 損傷の組合せ地形⑧

再掲 (R3/9/3審査会合)

- 敷地北側防潮堤の損傷状態② (北部なし) の3号炉取水口, 1, 2号炉取水口, 放水口の水位時刻歴波形は下表のとおりである。
- 敷地北側防潮堤の損傷状態による水位時刻歴波形に有意な差はないことを確認した。

対象ケース	水位時刻歴波形		
	3号炉取水口	1, 2号炉取水口	放水口
<p>STEP4 3号炉取水口 (下降側) 最大ケース</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アスペリティ位置: de ・断層パターン: 7 ・波源位置: 矩形モデル (東へ移動) ・断層面上縁深さ: 5km 	<p>—— 敷地北側防潮堤の損傷状態: 健全 —— 敷地北側防潮堤の損傷状態② (北部なし)</p>	<p>—— 敷地北側防潮堤の損傷状態: 健全 —— 敷地北側防潮堤の損傷状態② (北部なし)</p>	<p>—— 敷地北側防潮堤の損傷状態: 健全 —— 敷地北側防潮堤の損傷状態② (北部なし)</p>
<p>STEP4 1, 2号炉取水口 (下降側) 最大ケース</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アスペリティ位置: de ・断層パターン: 7 ・波源位置: 矩形モデル (東へ移動) ・断層面上縁深さ: 5km 	STEP4 3号炉取水口 (下降側) 最大ケースと同じ		

※赤ハッチングは断層パターン6, 青ハッチングは断層パターン7の波源モデルである。

2.4.4 敷地北側防潮堤の損傷による影響確認

敷地北側防潮堤の損傷を考慮したことによる水位時刻歴波形の比較 (34/49) 損傷の組合せ地形⑨

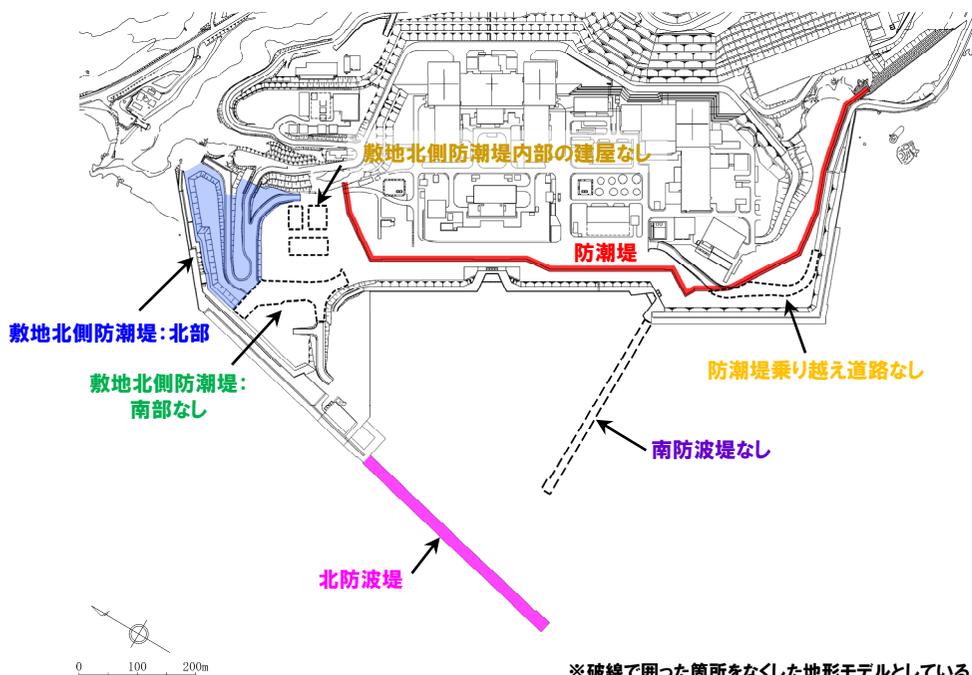
再掲 (R3/9/3審査会合)

○損傷の組合せ地形⑨ (黄色ハッチングした防波堤の損傷と敷地北側防潮堤の損傷の組合せ地形) を用いて敷地北側防潮堤の損傷による影響確認を実施した。

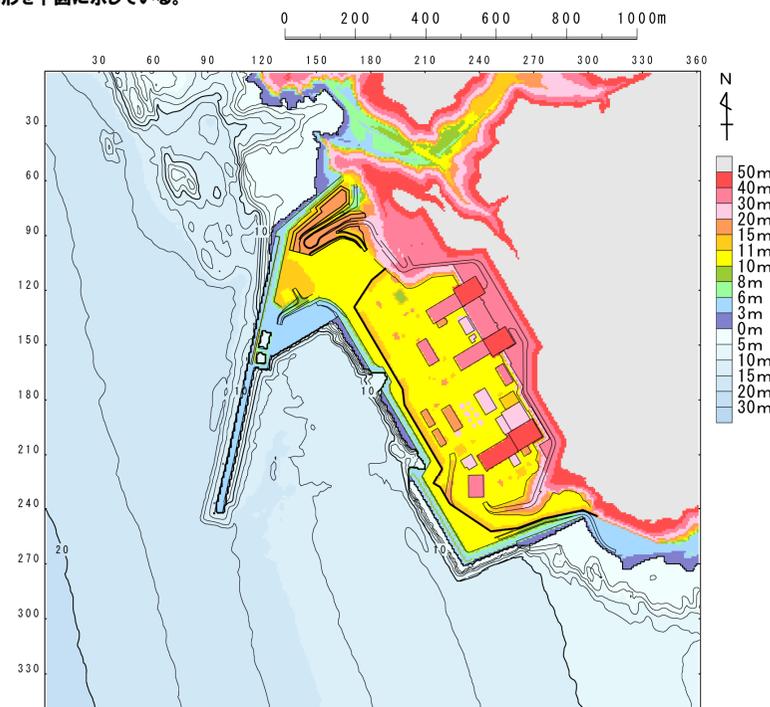
【検討に用いる地形モデル】

地形モデル (防波堤の損傷状態)	敷地北側防潮堤の損傷状態
健全地形モデル (北防波堤あり-南防波堤あり)	健全 (北部あり-南部あり)
防波堤の損傷を考慮した地形モデル① (北防波堤なし-南防波堤なし)	敷地北側防潮堤の損傷状態① (北部なし-南部なし)
防波堤の損傷を考慮した地形モデル② (北防波堤あり-南防波堤なし)	敷地北側防潮堤の損傷状態② (北部なし-南部あり)
防波堤の損傷を考慮した地形モデル③ (北防波堤なし-南防波堤あり)	敷地北側防潮堤の損傷状態③ (北部あり-南部なし)

※黄色ハッチングした防波堤の損傷と敷地北側防潮堤の損傷の組合せ地形を下図に示している。



※破線で囲った箇所をなくした地形モデルとしている。



2.4.4 敷地北側防潮堤の損傷による影響確認

敷地北側防潮堤の損傷を考慮したことによる水位時刻歴波形の比較 (35/49) 損傷の組合せ地形⑨

再掲 (R3/9/3審査会合)

- 敷地北側防潮堤の損傷状態③ (南部なし) の3号炉取水口, 1, 2号炉取水口, 放水口の水位時刻歴波形は下表のとおりである。
- 敷地北側防潮堤の損傷状態による水位時刻歴波形に有意な差はないことを確認した。

対象ケース	水位時刻歴波形		
	3号炉取水口	1, 2号炉取水口	放水口
<p>STEP4 防潮堤前面 (上昇側) 最大ケース</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アスペリティ位置: de南へ20km ・断層パターン: 6 ・波源位置: くの字モデル (東へ移動) ・断層面上縁深さ: 5km 	<p>—— 敷地北側防潮堤の損傷状態: 健全 —— 敷地北側防潮堤の損傷状態③ (南部なし)</p>	<p>—— 敷地北側防潮堤の損傷状態: 健全 —— 敷地北側防潮堤の損傷状態③ (南部なし)</p>	<p>—— 敷地北側防潮堤の損傷状態: 健全 —— 敷地北側防潮堤の損傷状態③ (南部なし)</p>
<p>STEP4 敷地北側A (上昇側) 最大ケース</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アスペリティ位置: de南へ20km ・断層パターン: 6 ・波源位置: くの字モデル (東へ移動) ・断層面上縁深さ: 5km 	STEP4 防潮堤前面 (上昇側) 最大ケースと同じ		
<p>STEP4 敷地北側B (上昇側) 最大ケース</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アスペリティ位置: de南へ20km ・断層パターン: 6 ・波源位置: くの字モデル (東へ移動) ・断層面上縁深さ: 4km 	<p>—— 敷地北側防潮堤の損傷状態: 健全 —— 敷地北側防潮堤の損傷状態③ (南部なし)</p>	<p>—— 敷地北側防潮堤の損傷状態: 健全 —— 敷地北側防潮堤の損傷状態③ (南部なし)</p>	<p>—— 敷地北側防潮堤の損傷状態: 健全 —— 敷地北側防潮堤の損傷状態③ (南部なし)</p>

※赤ハッチングは断層パターン6, 青ハッチングは断層パターン7の波源モデルである。

2.4.4 敷地北側防潮堤の損傷による影響確認

敷地北側防潮堤の損傷を考慮したことによる水位時刻歴波形の比較 (36/49) 損傷の組合せ地形⑨

再掲 (R3/9/3審査会合)

- 敷地北側防潮堤の損傷状態③ (南部なし) の3号炉取水口, 1, 2号炉取水口, 放水口の水位時刻歴波形は下表のとおりである。
- 敷地北側防潮堤の損傷状態による水位時刻歴波形に有意な差はないことを確認した。

対象ケース	水位時刻歴波形		
	3号炉取水口	1, 2号炉取水口	放水口
<p>STEP4 3号炉取水口 (上昇側) 最大ケース</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アスペリティ位置: de南へ20km ・断層パターン: 6 ・波源位置: くの字モデル (東へ移動) ・断層面上縁深さ: 5km 	STEP4 防潮堤前面 (上昇側) 最大ケースと同じ		
<p>STEP4 1, 2号炉取水口 (上昇側) 最大ケース</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アスペリティ位置: de南へ20km ・断層パターン: 6 ・波源位置: くの字モデル (東へ移動) ・断層面上縁深さ: 5km 	STEP4 防潮堤前面 (上昇側) 最大ケースと同じ		
<p>STEP4 放水口 (上昇側) 最大ケース</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アスペリティ位置: de北へ10km ・断層パターン: 6 ・波源位置: くの字モデル (東へ移動) ・断層面上縁深さ: 0km 	<p>3号炉取水口前面</p>	<p>1・2号炉取水口前面</p>	<p>放水口前面</p>

※赤ハッチングは断層パターン6, 青ハッチングは断層パターン7の波源モデルである。

2.4.4 敷地北側防潮堤の損傷による影響確認

敷地北側防潮堤の損傷を考慮したことによる水位時刻歴波形の比較 (37/49) 損傷の組合せ地形⑨

再掲 (R3/9/3審査会合)

- 敷地北側防潮堤の損傷状態③ (南部なし) の3号炉取水口, 1, 2号炉取水口, 放水口の水位時刻歴波形は下表のとおりである。
- 敷地北側防潮堤の損傷状態による水位時刻歴波形に有意な差はないことを確認した。

対象ケース	水位時刻歴波形		
	3号炉取水口	1, 2号炉取水口	放水口
<p>STEP4 3号炉取水口 (下降側) 最大ケース</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アスペリティ位置: de ・断層パターン: 7 ・波源位置: 矩形モデル (東へ移動) ・断層面上縁深さ: 5km 	<p>—— 敷地北側防潮堤の損傷状態: 健全 —— 敷地北側防潮堤の損傷状態③ (南部なし)</p>	<p>—— 敷地北側防潮堤の損傷状態: 健全 —— 敷地北側防潮堤の損傷状態③ (南部なし)</p>	<p>—— 敷地北側防潮堤の損傷状態: 健全 —— 敷地北側防潮堤の損傷状態③ (南部なし)</p>
<p>STEP4 1, 2号炉取水口 (下降側) 最大ケース</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アスペリティ位置: de ・断層パターン: 7 ・波源位置: 矩形モデル (東へ移動) ・断層面上縁深さ: 5km 	STEP4 3号炉取水口 (下降側) 最大ケースと同じ		

※赤ハッチングは断層パターン6, 青ハッチングは断層パターン7の波源モデルである。

2.4.4 敷地北側防潮堤の損傷による影響確認

敷地北側防潮堤の損傷を考慮したことによる水位時刻歴波形の比較 (38/49) 損傷の組合せ地形⑩

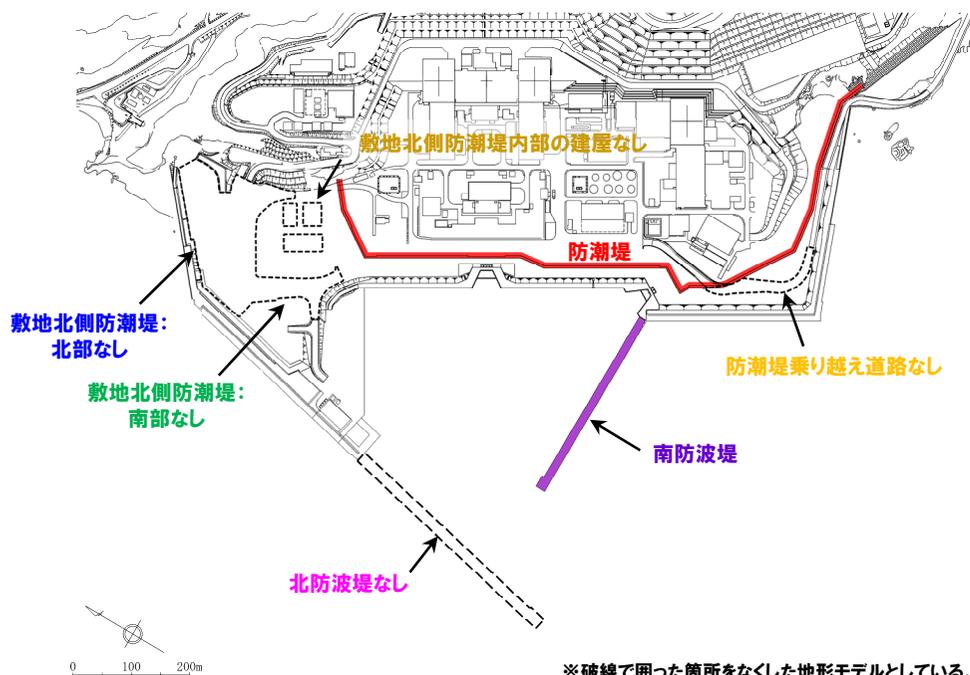
再掲 (R3/9/3審査会合)

○損傷の組合せ地形⑩ (黄色ハッチングした防波堤の損傷と敷地北側防潮堤の損傷の組合せ地形) を用いて敷地北側防潮堤の損傷による影響確認を実施した。

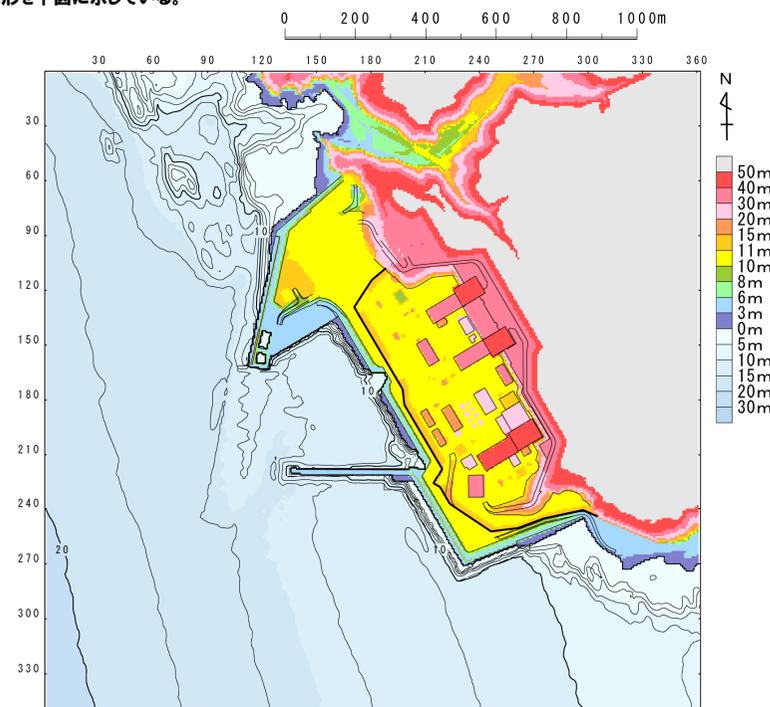
【検討に用いる地形モデル】

地形モデル (防波堤の損傷状態)	敷地北側防潮堤の損傷状態
健全地形モデル (北防波堤あり-南防波堤あり)	健全 (北部あり-南部あり)
防波堤の損傷を考慮した地形モデル① (北防波堤なし-南防波堤なし)	敷地北側防潮堤の損傷状態① (北部なし-南部なし)
防波堤の損傷を考慮した地形モデル② (北防波堤あり-南防波堤なし)	敷地北側防潮堤の損傷状態② (北部なし-南部あり)
防波堤の損傷を考慮した地形モデル③ (北防波堤なし-南防波堤あり)	敷地北側防潮堤の損傷状態③ (北部あり-南部なし)

※黄色ハッチングした防波堤の損傷と敷地北側防潮堤の損傷の組合せ地形を下図に示している。



※破線で囲った箇所をなくした地形モデルとしている。



2.4.4 敷地北側防潮堤の損傷による影響確認

敷地北側防潮堤の損傷を考慮したことによる水位時刻歴波形の比較 (39/49) 損傷の組合せ地形⑩

再掲 (R3/9/3審査会合)

- 敷地北側防潮堤の損傷状態① (敷地北側防潮堤なし) の3号炉取水口, 1, 2号炉取水口, 放水口の水位時刻歴波形は下表のとおりである。
- 敷地北側防潮堤の損傷状態による水位時刻歴波形に有意な差はないことを確認した。

対象ケース	水位時刻歴波形		
	3号炉取水口	1, 2号炉取水口	放水口
<p>STEP4 防潮堤前面 (上昇側) 最大ケース</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アスペリティ位置: de南へ20km ・断層パターン: 6 ・波源位置: 矩形モデル (東へ移動) ・断層面上縁深さ: 1km 	<p>—— 敷地北側防潮堤の損傷状態: 健全 —— 敷地北側防潮堤の損傷状態① (敷地北側防潮堤なし)</p>	<p>—— 敷地北側防潮堤の損傷状態: 健全 —— 敷地北側防潮堤の損傷状態① (敷地北側防潮堤なし)</p>	<p>—— 敷地北側防潮堤の損傷状態: 健全 —— 敷地北側防潮堤の損傷状態① (敷地北側防潮堤なし)</p>
<p>STEP4 敷地北側A (上昇側) 最大ケース</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アスペリティ位置: de南へ20km ・断層パターン: 6 ・波源位置: 矩形モデル (東へ移動) ・断層面上縁深さ: 0km 	<p>—— 敷地北側防潮堤の損傷状態: 健全 —— 敷地北側防潮堤の損傷状態① (敷地北側防潮堤なし)</p>	<p>—— 敷地北側防潮堤の損傷状態: 健全 —— 敷地北側防潮堤の損傷状態① (敷地北側防潮堤なし)</p>	<p>—— 敷地北側防潮堤の損傷状態: 健全 —— 敷地北側防潮堤の損傷状態① (敷地北側防潮堤なし)</p>
<p>STEP4 敷地北側B (上昇側) 最大ケース</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アスペリティ位置: de南へ20km ・断層パターン: 6 ・波源位置: くの字モデル (東へ移動) ・断層面上縁深さ: 3km 	<p>—— 敷地北側防潮堤の損傷状態: 健全 —— 敷地北側防潮堤の損傷状態① (敷地北側防潮堤なし)</p>	<p>—— 敷地北側防潮堤の損傷状態: 健全 —— 敷地北側防潮堤の損傷状態① (敷地北側防潮堤なし)</p>	<p>—— 敷地北側防潮堤の損傷状態: 健全 —— 敷地北側防潮堤の損傷状態① (敷地北側防潮堤なし)</p>

※赤ハッチングは断層パターン6, 青ハッチングは断層パターン7の波源モデルである。

2.4.4 敷地北側防潮堤の損傷による影響確認

敷地北側防潮堤の損傷を考慮したことによる水位時刻歴波形の比較 (40/49) 損傷の組合せ地形⑩

再掲 (R3/9/3審査会合)

○敷地北側防潮堤の損傷状態① (敷地北側防潮堤なし) の3号炉取水口, 1, 2号炉取水口, 放水口の水位時刻歴波形は下表のとおりである。
 ○敷地北側防潮堤の損傷状態による水位時刻歴波形に有意な差はないことを確認した。

対象ケース	水位時刻歴波形		
	3号炉取水口	1, 2号炉取水口	放水口
<p>STEP4 3号炉取水口 (上昇側) 最大ケース</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アスペリティ位置: de南へ20km ・断層パターン: 6 ・波源位置: くの字モデル (東へ移動) ・断層面上縁深さ: 4km 	<p>——敷地北側防潮堤の損傷状態:健全 ——敷地北側防潮堤の損傷状態① (敷地北側防潮堤なし)</p>	<p>——敷地北側防潮堤の損傷状態:健全 ——敷地北側防潮堤の損傷状態① (敷地北側防潮堤なし)</p>	<p>——敷地北側防潮堤の損傷状態:健全 ——敷地北側防潮堤の損傷状態① (敷地北側防潮堤なし)</p>
<p>STEP4 1, 2号炉取水口 (上昇側) 最大ケース</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アスペリティ位置: de南へ20km ・断層パターン: 6 ・波源位置: くの字モデル (東へ移動) ・断層面上縁深さ: 0km 	<p>——敷地北側防潮堤の損傷状態:健全 ——敷地北側防潮堤の損傷状態① (敷地北側防潮堤なし)</p>	<p>——敷地北側防潮堤の損傷状態:健全 ——敷地北側防潮堤の損傷状態① (敷地北側防潮堤なし)</p>	<p>——敷地北側防潮堤の損傷状態:健全 ——敷地北側防潮堤の損傷状態① (敷地北側防潮堤なし)</p>
<p>STEP4 放水口 (上昇側) 最大ケース</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アスペリティ位置: de北へ10km ・断層パターン: 6 ・波源位置: くの字モデル (東へ移動) ・断層面上縁深さ: 0km 	<p>——敷地北側防潮堤の損傷状態:健全 ——敷地北側防潮堤の損傷状態① (敷地北側防潮堤なし)</p>	<p>——敷地北側防潮堤の損傷状態:健全 ——敷地北側防潮堤の損傷状態① (敷地北側防潮堤なし)</p>	<p>——敷地北側防潮堤の損傷状態:健全 ——敷地北側防潮堤の損傷状態① (敷地北側防潮堤なし)</p>

※赤ハッチングは断層パターン6, 青ハッチングは断層パターン7の波源モデルである。

2.4.4 敷地北側防潮堤の損傷による影響確認

敷地北側防潮堤の損傷を考慮したことによる水位時刻歴波形の比較 (41/49) 損傷の組合せ地形⑩

再掲 (R3/9/3審査会合)

- 敷地北側防潮堤の損傷状態① (敷地北側防潮堤なし) の3号炉取水口, 1, 2号炉取水口, 放水口の水位時刻歴波形は下表のとおりである。
- 敷地北側防潮堤の損傷状態による水位時刻歴波形に有意な差はないことを確認した。

対象ケース	水位時刻歴波形		
	3号炉取水口	1, 2号炉取水口	放水口
<p>STEP4 3号炉取水口 (下降側) 最大ケース</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アスペリティ位置: de ・断層パターン: 7 ・波源位置: 矩形モデル (東へ移動) ・断層面上縁深さ: 3km 	<p>—— 敷地北側防潮堤の損傷状態: 健全 —— 敷地北側防潮堤の損傷状態① (敷地北側防潮堤なし)</p>	<p>—— 敷地北側防潮堤の損傷状態: 健全 —— 敷地北側防潮堤の損傷状態① (敷地北側防潮堤なし)</p>	<p>—— 敷地北側防潮堤の損傷状態: 健全 —— 敷地北側防潮堤の損傷状態① (敷地北側防潮堤なし)</p>
<p>STEP4 1, 2号炉取水口 (下降側) 最大ケース</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アスペリティ位置: de ・断層パターン: 7 ・波源位置: 矩形モデル (東へ移動) ・断層面上縁深さ: 4km 	<p>—— 敷地北側防潮堤の損傷状態: 健全 —— 敷地北側防潮堤の損傷状態① (敷地北側防潮堤なし)</p>	<p>—— 敷地北側防潮堤の損傷状態: 健全 —— 敷地北側防潮堤の損傷状態① (敷地北側防潮堤なし)</p>	<p>—— 敷地北側防潮堤の損傷状態: 健全 —— 敷地北側防潮堤の損傷状態① (敷地北側防潮堤なし)</p>

※赤ハッチングは断層パターン6, 青ハッチングは断層パターン7の波源モデルである。

2.4.4 敷地北側防潮堤の損傷による影響確認

敷地北側防潮堤の損傷を考慮したことによる水位時刻歴波形の比較(42/49) 損傷の組合せ地形①

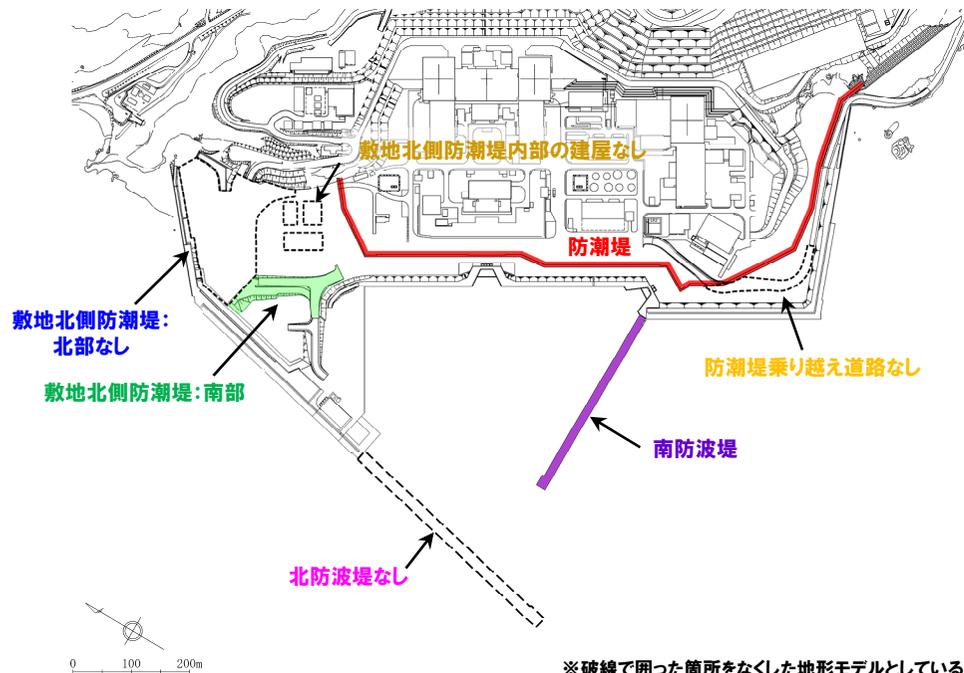
再掲(R3/9/3審査会合)

○損傷の組合せ地形①(黄色ハッチングした防波堤の損傷と敷地北側防潮堤の損傷の組合せ地形)を用いて敷地北側防潮堤の損傷による影響確認を実施した。

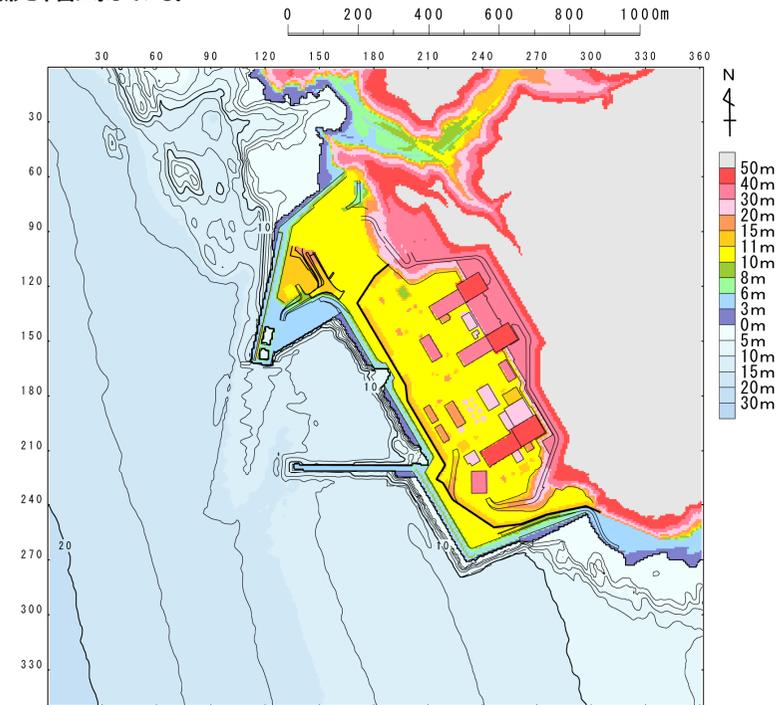
【検討に用いる地形モデル】

地形モデル(防波堤の損傷状態)	敷地北側防潮堤の損傷状態
健全地形モデル(北防波堤あり-南防波堤あり)	健全(北部あり-南部あり)
防波堤の損傷を考慮した地形モデル①(北防波堤なし-南防波堤なし)	敷地北側防潮堤の損傷状態①(北部なし-南部なし)
防波堤の損傷を考慮した地形モデル②(北防波堤あり-南防波堤なし)	敷地北側防潮堤の損傷状態②(北部なし-南部あり)
防波堤の損傷を考慮した地形モデル③(北防波堤なし-南防波堤あり)	敷地北側防潮堤の損傷状態③(北部あり-南部なし)

※黄色ハッチングした防波堤の損傷と敷地北側防潮堤の損傷の組合せ地形を下図に示している。



※破線で囲った箇所をなくした地形モデルとしている。



2.4.4 敷地北側防潮堤の損傷による影響確認

敷地北側防潮堤の損傷を考慮したことによる水位時刻歴波形の比較 (43/49) 損傷の組合せ地形①

再掲 (R3/9/3審査会合)

- 敷地北側防潮堤の損傷状態② (北部なし) の3号炉取水口, 1, 2号炉取水口, 放水口の水位時刻歴波形は下表のとおりである。
- 敷地北側防潮堤の損傷状態による水位時刻歴波形に有意な差はないことを確認した。

対象ケース	水位時刻歴波形		
	3号炉取水口	1, 2号炉取水口	放水口
<p>STEP4 防潮堤前面 (上昇側) 最大ケース</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アスペリティ位置: de南へ20km ・断層パターン: 6 ・波源位置: 矩形モデル (東へ移動) ・断層面上縁深さ: 1km 	<p>—— 敷地北側防潮堤の損傷状態: 健全 —— 敷地北側防潮堤の損傷状態② (北部なし)</p>	<p>—— 敷地北側防潮堤の損傷状態: 健全 —— 敷地北側防潮堤の損傷状態② (北部なし)</p>	<p>—— 敷地北側防潮堤の損傷状態: 健全 —— 敷地北側防潮堤の損傷状態② (北部なし)</p>
<p>STEP4 敷地北側A (上昇側) 最大ケース</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アスペリティ位置: de南へ20km ・断層パターン: 6 ・波源位置: 矩形モデル (東へ移動) ・断層面上縁深さ: 0km 	<p>—— 敷地北側防潮堤の損傷状態: 健全 —— 敷地北側防潮堤の損傷状態② (北部なし)</p>	<p>—— 敷地北側防潮堤の損傷状態: 健全 —— 敷地北側防潮堤の損傷状態② (北部なし)</p>	<p>—— 敷地北側防潮堤の損傷状態: 健全 —— 敷地北側防潮堤の損傷状態② (北部なし)</p>
<p>STEP4 敷地北側B (上昇側) 最大ケース</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アスペリティ位置: de南へ20km ・断層パターン: 6 ・波源位置: くの字モデル (東へ移動) ・断層面上縁深さ: 3km 	<p>—— 敷地北側防潮堤の損傷状態: 健全 —— 敷地北側防潮堤の損傷状態② (北部なし)</p>	<p>—— 敷地北側防潮堤の損傷状態: 健全 —— 敷地北側防潮堤の損傷状態② (北部なし)</p>	<p>—— 敷地北側防潮堤の損傷状態: 健全 —— 敷地北側防潮堤の損傷状態② (北部なし)</p>

※赤ハッチングは断層パターン6, 青ハッチングは断層パターン7の波源モデルである。

2.4.4 敷地北側防潮堤の損傷による影響確認

敷地北側防潮堤の損傷を考慮したことによる水位時刻歴波形の比較 (44/49) 損傷の組合せ地形①

再掲 (R3/9/3審査会合)

- 敷地北側防潮堤の損傷状態② (北部なし) の3号炉取水口, 1, 2号炉取水口, 放水口の水位時刻歴波形は下表のとおりである。
- 敷地北側防潮堤の損傷状態による水位時刻歴波形に有意な差はないことを確認した。

対象ケース	水位時刻歴波形		
	3号炉取水口	1, 2号炉取水口	放水口
<p>STEP4 3号炉取水口 (上昇側) 最大ケース</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アスペリティ位置: de南へ20km ・断層パターン: 6 ・波源位置: くの字モデル (東へ移動) ・断層面上縁深さ: 4km 	<p>——敷地北側防潮堤の損傷状態:健全 ——敷地北側防潮堤の損傷状態② (北部なし)</p>	<p>——敷地北側防潮堤の損傷状態:健全 ——敷地北側防潮堤の損傷状態② (北部なし)</p>	<p>——敷地北側防潮堤の損傷状態:健全 ——敷地北側防潮堤の損傷状態② (北部なし)</p>
<p>STEP4 1, 2号炉取水口 (上昇側) 最大ケース</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アスペリティ位置: de南へ20km ・断層パターン: 6 ・波源位置: くの字モデル (東へ移動) ・断層面上縁深さ: 0km 	<p>——敷地北側防潮堤の損傷状態:健全 ——敷地北側防潮堤の損傷状態② (北部なし)</p>	<p>——敷地北側防潮堤の損傷状態:健全 ——敷地北側防潮堤の損傷状態② (北部なし)</p>	<p>——敷地北側防潮堤の損傷状態:健全 ——敷地北側防潮堤の損傷状態② (北部なし)</p>
<p>STEP4 放水口 (上昇側) 最大ケース</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アスペリティ位置: de北へ10km ・断層パターン: 6 ・波源位置: くの字モデル (東へ移動) ・断層面上縁深さ: 0km 	<p>——敷地北側防潮堤の損傷状態:健全 ——敷地北側防潮堤の損傷状態② (北部なし)</p>	<p>——敷地北側防潮堤の損傷状態:健全 ——敷地北側防潮堤の損傷状態② (北部なし)</p>	<p>——敷地北側防潮堤の損傷状態:健全 ——敷地北側防潮堤の損傷状態② (北部なし)</p>

※赤ハッチングは断層パターン6, 青ハッチングは断層パターン7の波源モデルである。

2.4.4 敷地北側防潮堤の損傷による影響確認

敷地北側防潮堤の損傷を考慮したことによる水位時刻歴波形の比較 (45/49) 損傷の組合せ地形①

再掲 (R3/9/3審査会合)

- 敷地北側防潮堤の損傷状態② (北部なし) の3号炉取水口, 1, 2号炉取水口, 放水口の水位時刻歴波形は下表のとおりである。
- 敷地北側防潮堤の損傷状態による水位時刻歴波形に有意な差はないことを確認した。

対象ケース	水位時刻歴波形		
	3号炉取水口	1, 2号炉取水口	放水口
<p>STEP4 3号炉取水口 (下降側) 最大ケース</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アスペリティ位置: de ・断層パターン: 7 ・波源位置: 矩形モデル (東へ移動) ・断層面上縁深さ: 3km 	<p>—— 敷地北側防潮堤の損傷状態: 健全 —— 敷地北側防潮堤の損傷状態② (北部なし)</p>	<p>—— 敷地北側防潮堤の損傷状態: 健全 —— 敷地北側防潮堤の損傷状態② (北部なし)</p>	<p>—— 敷地北側防潮堤の損傷状態: 健全 —— 敷地北側防潮堤の損傷状態② (北部なし)</p>
<p>STEP4 1, 2号炉取水口 (下降側) 最大ケース</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アスペリティ位置: de ・断層パターン: 7 ・波源位置: 矩形モデル (東へ移動) ・断層面上縁深さ: 4km 	<p>—— 敷地北側防潮堤の損傷状態: 健全 —— 敷地北側防潮堤の損傷状態② (北部なし)</p>	<p>—— 敷地北側防潮堤の損傷状態: 健全 —— 敷地北側防潮堤の損傷状態② (北部なし)</p>	<p>—— 敷地北側防潮堤の損傷状態: 健全 —— 敷地北側防潮堤の損傷状態② (北部なし)</p>

※赤ハッチングは断層パターン6, 青ハッチングは断層パターン7の波源モデルである。

2.4.4 敷地北側防潮堤の損傷による影響確認

敷地北側防潮堤の損傷を考慮したことによる水位時刻歴波形の比較 (46/49) 損傷の組合せ地形⑫

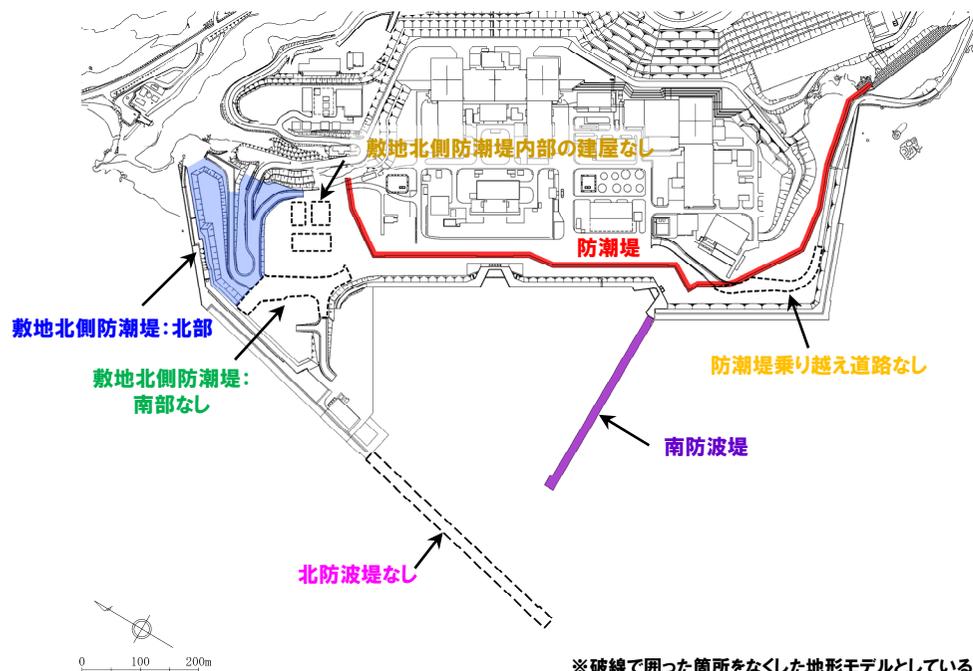
再掲 (R3/9/3審査会合)

○損傷の組合せ地形⑫ (黄色ハッチングした防波堤の損傷と敷地北側防潮堤の損傷の組合せ地形) を用いて敷地北側防潮堤の損傷による影響確認を実施した。

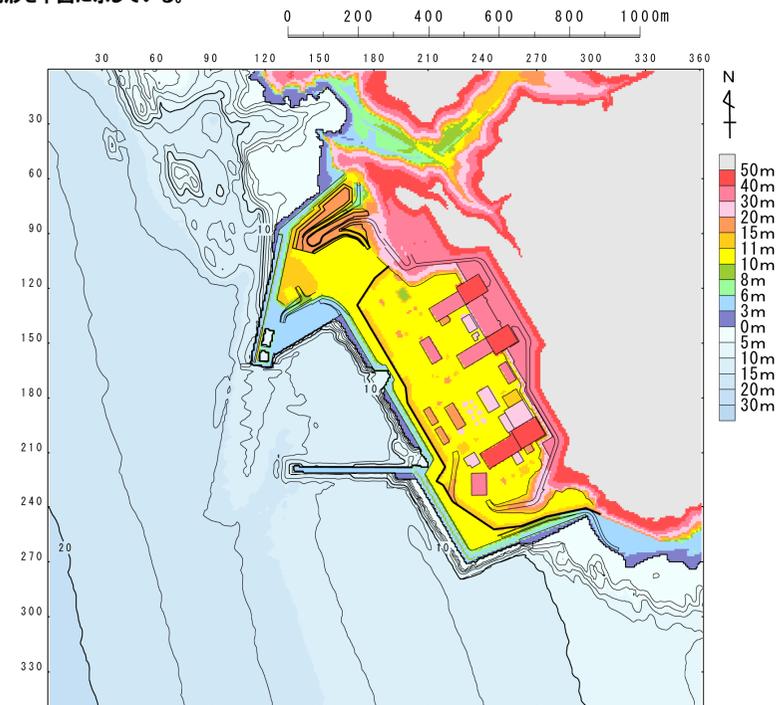
【検討に用いる地形モデル】

地形モデル (防波堤の損傷状態)	敷地北側防潮堤の損傷状態
健全地形モデル (北防波堤あり-南防波堤あり)	健全 (北部あり-南部あり)
防波堤の損傷を考慮した地形モデル① (北防波堤なし-南防波堤なし)	敷地北側防潮堤の損傷状態① (北部なし-南部なし)
防波堤の損傷を考慮した地形モデル② (北防波堤あり-南防波堤なし)	敷地北側防潮堤の損傷状態② (北部なし-南部あり)
防波堤の損傷を考慮した地形モデル③ (北防波堤なし-南防波堤あり)	敷地北側防潮堤の損傷状態③ (北部あり-南部なし)

※黄色ハッチングした防波堤の損傷と敷地北側防潮堤の損傷の組合せ地形を下図に示している。



※破線で囲った箇所をなくした地形モデルとしている。



2.4.4 敷地北側防潮堤の損傷による影響確認

敷地北側防潮堤の損傷を考慮したことによる水位時刻歴波形の比較 (47/49) 損傷の組合せ地形⑫

再掲 (R3/9/3審査会合)

- 敷地北側防潮堤の損傷状態③ (南部なし) の3号炉取水口, 1, 2号炉取水口, 放水口の水位時刻歴波形は下表のとおりである。
- 敷地北側防潮堤の損傷状態による水位時刻歴波形に有意な差はないことを確認した。

対象ケース	水位時刻歴波形		
	3号炉取水口	1, 2号炉取水口	放水口
<p>STEP4 防潮堤前面 (上昇側) 最大ケース</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アスペリティ位置: de南へ20km ・断層パターン: 6 ・波源位置: 矩形モデル (東へ移動) ・断層面上縁深さ: 1km 	<p>—— 敷地北側防潮堤の損傷状態: 健全 —— 敷地北側防潮堤の損傷状態③ (南部なし)</p>	<p>—— 敷地北側防潮堤の損傷状態: 健全 —— 敷地北側防潮堤の損傷状態③ (南部なし)</p>	<p>—— 敷地北側防潮堤の損傷状態: 健全 —— 敷地北側防潮堤の損傷状態③ (南部なし)</p>
<p>STEP4 敷地北側A (上昇側) 最大ケース</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アスペリティ位置: de南へ20km ・断層パターン: 6 ・波源位置: 矩形モデル (東へ移動) ・断層面上縁深さ: 0km 	<p>—— 敷地北側防潮堤の損傷状態: 健全 —— 敷地北側防潮堤の損傷状態③ (南部なし)</p>	<p>—— 敷地北側防潮堤の損傷状態: 健全 —— 敷地北側防潮堤の損傷状態③ (南部なし)</p>	<p>—— 敷地北側防潮堤の損傷状態: 健全 —— 敷地北側防潮堤の損傷状態③ (南部なし)</p>
<p>STEP4 敷地北側B (上昇側) 最大ケース</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アスペリティ位置: de南へ20km ・断層パターン: 6 ・波源位置: くの字モデル (東へ移動) ・断層面上縁深さ: 3km 	<p>—— 敷地北側防潮堤の損傷状態: 健全 —— 敷地北側防潮堤の損傷状態③ (南部なし)</p>	<p>—— 敷地北側防潮堤の損傷状態: 健全 —— 敷地北側防潮堤の損傷状態③ (南部なし)</p>	<p>—— 敷地北側防潮堤の損傷状態: 健全 —— 敷地北側防潮堤の損傷状態③ (南部なし)</p>

※赤ハッチングは断層パターン6, 青ハッチングは断層パターン7の波源モデルである。

2.4.4 敷地北側防潮堤の損傷による影響確認

敷地北側防潮堤の損傷を考慮したことによる水位時刻歴波形の比較 (48/49) 損傷の組合せ地形⑫

再掲 (R3/9/3審査会合)

- 敷地北側防潮堤の損傷状態③ (南部なし) の3号炉取水口, 1, 2号炉取水口, 放水口の水位時刻歴波形は下表のとおりである。
- 敷地北側防潮堤の損傷状態による水位時刻歴波形に有意な差はないことを確認した。

対象ケース	水位時刻歴波形		
	3号炉取水口	1, 2号炉取水口	放水口
<p>STEP4 3号炉取水口 (上昇側) 最大ケース</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アスペリティ位置: de南へ20km ・断層パターン: 6 ・波源位置: くの字モデル (東へ移動) ・断層面上縁深さ: 4km 	<p>—— 敷地北側防潮堤の損傷状態: 健全 —— 敷地北側防潮堤の損傷状態③ (南部なし)</p>	<p>—— 敷地北側防潮堤の損傷状態: 健全 —— 敷地北側防潮堤の損傷状態③ (南部なし)</p>	<p>—— 敷地北側防潮堤の損傷状態: 健全 —— 敷地北側防潮堤の損傷状態③ (南部なし)</p>
<p>STEP4 1, 2号炉取水口 (上昇側) 最大ケース</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アスペリティ位置: de南へ20km ・断層パターン: 6 ・波源位置: くの字モデル (東へ移動) ・断層面上縁深さ: 0km 	<p>—— 敷地北側防潮堤の損傷状態: 健全 —— 敷地北側防潮堤の損傷状態③ (南部なし)</p>	<p>—— 敷地北側防潮堤の損傷状態: 健全 —— 敷地北側防潮堤の損傷状態③ (南部なし)</p>	<p>—— 敷地北側防潮堤の損傷状態: 健全 —— 敷地北側防潮堤の損傷状態③ (南部なし)</p>
<p>STEP4 放水口 (上昇側) 最大ケース</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アスペリティ位置: de北へ10km ・断層パターン: 6 ・波源位置: くの字モデル (東へ移動) ・断層面上縁深さ: 0km 	<p>—— 敷地北側防潮堤の損傷状態: 健全 —— 敷地北側防潮堤の損傷状態③ (南部なし)</p>	<p>—— 敷地北側防潮堤の損傷状態: 健全 —— 敷地北側防潮堤の損傷状態③ (南部なし)</p>	<p>—— 敷地北側防潮堤の損傷状態: 健全 —— 敷地北側防潮堤の損傷状態③ (南部なし)</p>

※赤ハッチングは断層パターン6, 青ハッチングは断層パターン7の波源モデルである。

2.4.4 敷地北側防潮堤の損傷による影響確認

敷地北側防潮堤の損傷を考慮したことによる水位時刻歴波形の比較 (49/49) 損傷の組合せ地形⑫

再掲 (R3/9/3審査会合)

- 敷地北側防潮堤の損傷状態③ (南部なし) の3号炉取水口, 1, 2号炉取水口, 放水口の水位時刻歴波形は下表のとおりである。
- 敷地北側防潮堤の損傷状態による水位時刻歴波形に有意な差はないことを確認した。

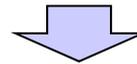
対象ケース	水位時刻歴波形		
	3号炉取水口	1, 2号炉取水口	放水口
<p>STEP4 3号炉取水口 (下降側) 最大ケース</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アスペリティ位置: de ・断層パターン: 7 ・波源位置: 矩形モデル (東へ移動) ・断層面上縁深さ: 3km 	<p>—— 敷地北側防潮堤の損傷状態: 健全 —— 敷地北側防潮堤の損傷状態③ (南部なし)</p>	<p>—— 敷地北側防潮堤の損傷状態: 健全 —— 敷地北側防潮堤の損傷状態③ (南部なし)</p>	<p>—— 敷地北側防潮堤の損傷状態: 健全 —— 敷地北側防潮堤の損傷状態③ (南部なし)</p>
<p>STEP4 1, 2号炉取水口 (下降側) 最大ケース</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アスペリティ位置: de ・断層パターン: 7 ・波源位置: 矩形モデル (東へ移動) ・断層面上縁深さ: 4km 	<p>—— 敷地北側防潮堤の損傷状態: 健全 —— 敷地北側防潮堤の損傷状態③ (南部なし)</p>	<p>—— 敷地北側防潮堤の損傷状態: 健全 —— 敷地北側防潮堤の損傷状態③ (南部なし)</p>	<p>—— 敷地北側防潮堤の損傷状態: 健全 —— 敷地北側防潮堤の損傷状態③ (南部なし)</p>

※赤ハッチングは断層パターン6, 青ハッチングは断層パターン7の波源モデルである。

まとめ

一部修正 (R3/9/3審査会合)

- 敷地北側防潮堤，遡上範囲に設置されている建屋及び防潮堤乗り越え道路は，津波防護施設としないことから，これらの損傷を考慮し，津波評価に対する影響を確認した。
- 敷地北側防潮堤の損傷による影響確認として，「敷地北側防潮堤：健全」と「敷地北側防潮堤の損傷状態①～③」における最大水位変動量，最大水位分布，水位時刻歴波形の比較を行うことで，有意な影響がないことを確認した。



- 以上から，敷地北側防潮堤の損傷による波源選定への影響はないと考えられる。
- また，日本海東縁部に想定される地震に伴う津波の最大ケースの選定に当たっては，以下は検討対象としないこととした。
 - 敷地北側防潮堤の損傷状態
 - 影響確認地点（敷地北側A，敷地北側B）の水位変動量最大ケース

余白

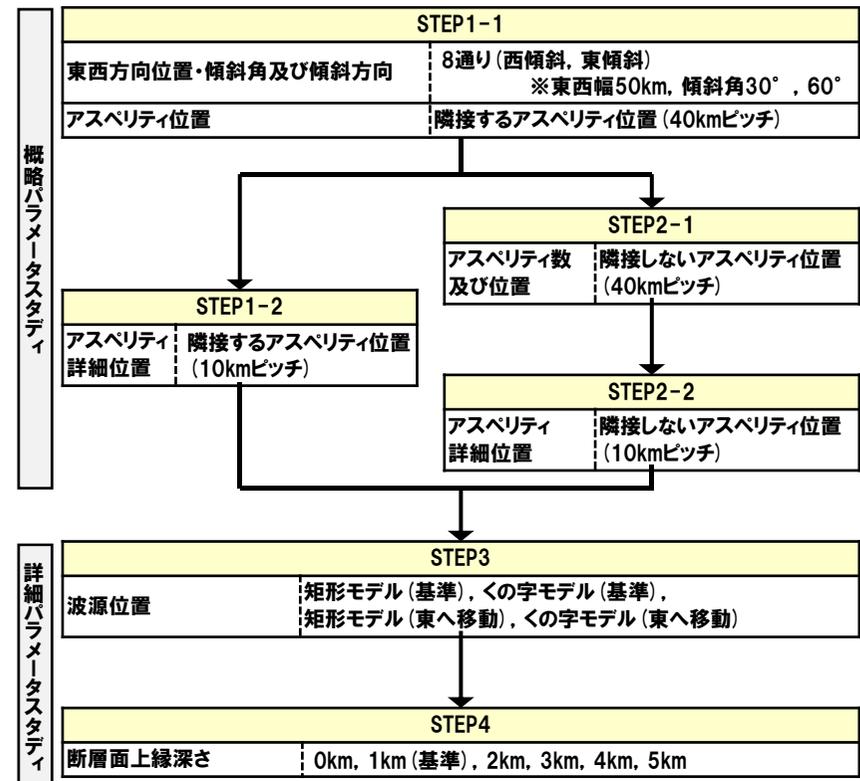
敷地北側防潮堤の損傷による波源選定の確認(1/6) 検討方針

- 最大水位変動量, 最大水位分布, 水位時刻歴波形の比較から敷地北側防潮堤の損傷による波源選定に影響はないと考えている(P266参照)。
- 更なる検討として, 損傷の組合せ地形①~⑫についてパラメータスタディを実施し, 波源選定への影響を確認する。
- なお, パラメータスタディは, 敷地北側防潮堤の損傷状態が健全の場合の検討と同様な手順で実施する。

地形モデル一覧

防波堤の損傷状態	敷地北側防潮堤の損傷状態	地形モデル名称
北防波堤あり-南防波堤あり	健全(北部あり-南部あり)	健全地形モデル
	敷地北側防潮堤の損傷状態① (北部なし-南部なし)	損傷の組合せ地形①
	敷地北側防潮堤の損傷状態② (北部なし-南部あり)	損傷の組合せ地形②
	敷地北側防潮堤の損傷状態③ (北部あり-南部なし)	損傷の組合せ地形③
北防波堤なし-南防波堤なし	健全(北部あり-南部あり)	防波堤の損傷を考慮した地形モデル①
	敷地北側防潮堤の損傷状態① (北部なし-南部なし)	損傷の組合せ地形④
	敷地北側防潮堤の損傷状態② (北部なし-南部あり)	損傷の組合せ地形⑤
	敷地北側防潮堤の損傷状態③ (北部あり-南部なし)	損傷の組合せ地形⑥
北防波堤あり-南防波堤なし	健全(北部あり-南部あり)	防波堤の損傷を考慮した地形モデル②
	敷地北側防潮堤の損傷状態① (北部なし-南部なし)	損傷の組合せ地形⑦
	敷地北側防潮堤の損傷状態② (北部なし-南部あり)	損傷の組合せ地形⑧
	敷地北側防潮堤の損傷状態③ (北部あり-南部なし)	損傷の組合せ地形⑨
北防波堤なし-南防波堤あり	健全(北部あり-南部あり)	防波堤の損傷を考慮した地形モデル②
	敷地北側防潮堤の損傷状態① (北部なし-南部なし)	損傷の組合せ地形⑩
	敷地北側防潮堤の損傷状態② (北部なし-南部あり)	損傷の組合せ地形⑪
	敷地北側防潮堤の損傷状態③ (北部あり-南部なし)	損傷の組合せ地形⑫

地形モデル: 損傷の組合せ地形①~⑫



敷地北側防潮堤の損傷による波源選定の確認(2/6) 検討結果

○健全地形モデル※における最大ケースと損傷の組合せ地形①～③※における最大ケースは同一となった。
 ※防波堤の損傷状態は(北防波堤あり-南防波堤あり)で共通である。

※各STEPの解析結果は、補足説明資料「1. 1 健全地形モデルの解析結果」、「2. 2. 1 損傷の組合せ地形①の解析結果」、「2. 2. 2 損傷の組合せ地形②の解析結果」、「2. 2. 3 損傷の組合せ地形③の解析結果」参照。

【STEP4における最大ケース一覧】

区分	健全地形モデル 【敷地北側防潮堤:健全】	損傷の組合せ地形① 【敷地北側防潮堤の損傷状態①(北部なし-南部なし)】	損傷の組合せ地形② 【敷地北側防潮堤の損傷状態②(北部なし-南部あり)】	損傷の組合せ地形③ 【敷地北側防潮堤の損傷状態③(北部なし-南部あり)】
防潮堤前面 (上昇側)	・アスペリティ位置:de南へ20km ・断層パターン:6 ・波源位置:くの字モデル(東へ移動) ・断層面上縁深さ:5km	・アスペリティ位置:de南へ20km ・断層パターン:6 ・波源位置:くの字モデル(東へ移動) ・断層面上縁深さ:5km	・アスペリティ位置:de南へ20km ・断層パターン:6 ・波源位置:くの字モデル(東へ移動) ・断層面上縁深さ:5km	・アスペリティ位置:de南へ20km ・断層パターン:6 ・波源位置:くの字モデル(東へ移動) ・断層面上縁深さ:5km
敷地北側A (上昇側)	・アスペリティ位置:de南へ20km ・断層パターン:6 ・波源位置:くの字モデル(東へ移動) ・断層面上縁深さ:4km	・アスペリティ位置:de南へ20km ・断層パターン:6 ・波源位置:くの字モデル(東へ移動) ・断層面上縁深さ:4km	・アスペリティ位置:de南へ20km ・断層パターン:6 ・波源位置:くの字モデル(東へ移動) ・断層面上縁深さ:4km	・アスペリティ位置:de南へ20km ・断層パターン:6 ・波源位置:くの字モデル(東へ移動) ・断層面上縁深さ:4km
敷地北側B (上昇側)	・アスペリティ位置:de南へ20km ・断層パターン:6 ・波源位置:くの字モデル(東へ移動) ・断層面上縁深さ:4km	・アスペリティ位置:de南へ20km ・断層パターン:6 ・波源位置:くの字モデル(東へ移動) ・断層面上縁深さ:4km	・アスペリティ位置:de南へ20km ・断層パターン:6 ・波源位置:くの字モデル(東へ移動) ・断層面上縁深さ:4km	・アスペリティ位置:de南へ20km ・断層パターン:6 ・波源位置:くの字モデル(東へ移動) ・断層面上縁深さ:4km
3号炉取水口 (上昇側)	・アスペリティ位置:de南へ20km ・断層パターン:6 ・波源位置:くの字モデル(東へ移動) ・断層面上縁深さ:5km	・アスペリティ位置:de南へ20km ・断層パターン:6 ・波源位置:くの字モデル(東へ移動) ・断層面上縁深さ:5km	・アスペリティ位置:de南へ20km ・断層パターン:6 ・波源位置:くの字モデル(東へ移動) ・断層面上縁深さ:5km	・アスペリティ位置:de南へ20km ・断層パターン:6 ・波源位置:くの字モデル(東へ移動) ・断層面上縁深さ:5km
1, 2号炉取水口 (上昇側)	・アスペリティ位置:de南へ20km ・断層パターン:6 ・波源位置:くの字モデル(東へ移動) ・断層面上縁深さ:5km	・アスペリティ位置:de南へ20km ・断層パターン:6 ・波源位置:くの字モデル(東へ移動) ・断層面上縁深さ:5km	・アスペリティ位置:de南へ20km ・断層パターン:6 ・波源位置:くの字モデル(東へ移動) ・断層面上縁深さ:5km	・アスペリティ位置:de南へ20km ・断層パターン:6 ・波源位置:くの字モデル(東へ移動) ・断層面上縁深さ:5km
放水口 (上昇側)	・アスペリティ位置:de北へ10km ・断層パターン:6 ・波源位置:くの字モデル(東へ移動) ・断層面上縁深さ:0km	・アスペリティ位置:de北へ10km ・断層パターン:6 ・波源位置:くの字モデル(東へ移動) ・断層面上縁深さ:0km	・アスペリティ位置:de北へ10km ・断層パターン:6 ・波源位置:くの字モデル(東へ移動) ・断層面上縁深さ:0km	・アスペリティ位置:de北へ10km ・断層パターン:6 ・波源位置:くの字モデル(東へ移動) ・断層面上縁深さ:0km
3号炉取水口 (下降側)	・アスペリティ位置:de ・断層パターン:7 ・波源位置:矩形モデル(東へ移動) ・断層面上縁深さ:5km	・アスペリティ位置:de ・断層パターン:7 ・波源位置:矩形モデル(東へ移動) ・断層面上縁深さ:5km	・アスペリティ位置:de ・断層パターン:7 ・波源位置:矩形モデル(東へ移動) ・断層面上縁深さ:5km	・アスペリティ位置:de ・断層パターン:7 ・波源位置:矩形モデル(東へ移動) ・断層面上縁深さ:5km
1, 2号炉取水口 (下降側)	・アスペリティ位置:de ・断層パターン:7 ・波源位置:矩形モデル(東へ移動) ・断層面上縁深さ:5km	・アスペリティ位置:de ・断層パターン:7 ・波源位置:矩形モデル(東へ移動) ・断層面上縁深さ:5km	・アスペリティ位置:de ・断層パターン:7 ・波源位置:矩形モデル(東へ移動) ・断層面上縁深さ:5km	・アスペリティ位置:de ・断層パターン:7 ・波源位置:矩形モデル(東へ移動) ・断層面上縁深さ:5km

※赤ハッチングは断層パターン6、青ハッチングは断層パターン7の波源モデルである。

敷地北側防潮堤の損傷による波源選定の確認(3/6) 検討結果

○防波堤の損傷を考慮した地形モデル①^{*}における最大ケースと損傷の組合せ地形④～⑥^{*}における最大ケースは同一となった。
^{*}防波堤の損傷状態は(北防波堤なし-南防波堤なし)で共通である。

※各STEPの解析結果は、補足説明資料「1. 2 防波堤の損傷を考慮した地形モデル①」、「2. 2. 4 損傷の組合せ地形④の解析結果」、「2. 2. 5 損傷の組合せ地形⑤の解析結果」、「2. 2. 6 損傷の組合せ地形⑥の解析結果」参照。

【STEP4における最大ケース一覧】

区分	防波堤の損傷を考慮した地形モデル① 【敷地北側防潮堤:健全】	損傷の組合せ地形④ 【敷地北側防潮堤の損傷状態①(北部なし-南部なし)】	損傷の組合せ地形⑤ 【敷地北側防潮堤の損傷状態②(北部なし-南部あり)】	損傷の組合せ地形⑥ 【敷地北側防潮堤の損傷状態③(北部なし-南部あり)】
防潮堤前面 (上昇側)	・アスペリティ位置:de南へ20km ・断層パターン:6 ・波源位置:くの字モデル(東へ移動) ・断層面上縁深さ:5km	・アスペリティ位置:de南へ20km ・断層パターン:6 ・波源位置:くの字モデル(東へ移動) ・断層面上縁深さ:5km	・アスペリティ位置:de南へ20km ・断層パターン:6 ・波源位置:くの字モデル(東へ移動) ・断層面上縁深さ:5km	・アスペリティ位置:de南へ20km ・断層パターン:6 ・波源位置:くの字モデル(東へ移動) ・断層面上縁深さ:5km
敷地北側A (上昇側)	・アスペリティ位置:de南へ20km ・断層パターン:6 ・波源位置:くの字モデル(東へ移動) ・断層面上縁深さ:5km	・アスペリティ位置:de南へ20km ・断層パターン:6 ・波源位置:くの字モデル(東へ移動) ・断層面上縁深さ:5km	・アスペリティ位置:de南へ20km ・断層パターン:6 ・波源位置:くの字モデル(東へ移動) ・断層面上縁深さ:5km	・アスペリティ位置:de南へ20km ・断層パターン:6 ・波源位置:くの字モデル(東へ移動) ・断層面上縁深さ:5km
敷地北側B (上昇側)	・アスペリティ位置:de南へ20km ・断層パターン:6 ・波源位置:くの字モデル(東へ移動) ・断層面上縁深さ:3km	・アスペリティ位置:de南へ20km ・断層パターン:6 ・波源位置:くの字モデル(東へ移動) ・断層面上縁深さ:3km	・アスペリティ位置:de南へ20km ・断層パターン:6 ・波源位置:くの字モデル(東へ移動) ・断層面上縁深さ:3km	・アスペリティ位置:de南へ20km ・断層パターン:6 ・波源位置:くの字モデル(東へ移動) ・断層面上縁深さ:3km
3号炉取水口 (上昇側)	・アスペリティ位置:de南へ20km ・断層パターン:6 ・波源位置:くの字モデル(東へ移動) ・断層面上縁深さ:4km	・アスペリティ位置:de南へ20km ・断層パターン:6 ・波源位置:くの字モデル(東へ移動) ・断層面上縁深さ:4km	・アスペリティ位置:de南へ20km ・断層パターン:6 ・波源位置:くの字モデル(東へ移動) ・断層面上縁深さ:4km	・アスペリティ位置:de南へ20km ・断層パターン:6 ・波源位置:くの字モデル(東へ移動) ・断層面上縁深さ:4km
1, 2号炉取水口 (上昇側)	・アスペリティ位置:de南へ20km ・断層パターン:6 ・波源位置:くの字モデル(東へ移動) ・断層面上縁深さ:5km	・アスペリティ位置:de南へ20km ・断層パターン:6 ・波源位置:くの字モデル(東へ移動) ・断層面上縁深さ:5km	・アスペリティ位置:de南へ20km ・断層パターン:6 ・波源位置:くの字モデル(東へ移動) ・断層面上縁深さ:5km	・アスペリティ位置:de南へ20km ・断層パターン:6 ・波源位置:くの字モデル(東へ移動) ・断層面上縁深さ:5km
放水口 (上昇側)	・アスペリティ位置:de北へ10km ・断層パターン:6 ・波源位置:くの字モデル(東へ移動) ・断層面上縁深さ:0km	・アスペリティ位置:de北へ10km ・断層パターン:6 ・波源位置:くの字モデル(東へ移動) ・断層面上縁深さ:0km	・アスペリティ位置:de北へ10km ・断層パターン:6 ・波源位置:くの字モデル(東へ移動) ・断層面上縁深さ:0km	・アスペリティ位置:de北へ10km ・断層パターン:6 ・波源位置:くの字モデル(東へ移動) ・断層面上縁深さ:0km
3号炉取水口 (下降側)	・アスペリティ位置:de ・断層パターン:7 ・波源位置:矩形モデル(東へ移動) ・断層面上縁深さ:5km	・アスペリティ位置:de ・断層パターン:7 ・波源位置:矩形モデル(東へ移動) ・断層面上縁深さ:5km	・アスペリティ位置:de ・断層パターン:7 ・波源位置:矩形モデル(東へ移動) ・断層面上縁深さ:5km	・アスペリティ位置:de ・断層パターン:7 ・波源位置:矩形モデル(東へ移動) ・断層面上縁深さ:5km
1, 2号炉取水口 (下降側)	・アスペリティ位置:de ・断層パターン:7 ・波源位置:矩形モデル(東へ移動) ・断層面上縁深さ:5km	・アスペリティ位置:de ・断層パターン:7 ・波源位置:矩形モデル(東へ移動) ・断層面上縁深さ:5km	・アスペリティ位置:de ・断層パターン:7 ・波源位置:矩形モデル(東へ移動) ・断層面上縁深さ:5km	・アスペリティ位置:de ・断層パターン:7 ・波源位置:矩形モデル(東へ移動) ・断層面上縁深さ:5km

※赤ハッチングは断層パターン6、青ハッチングは断層パターン7の波源モデルである。

敷地北側防潮堤の損傷による波源選定の確認(4/6) 検討結果

○防波堤の損傷を考慮した地形モデル②※における最大ケースと損傷の組合せ地形⑦～⑨※における最大ケースは同一となった。
 ※防波堤の損傷状態は(北防波堤あり-南防波堤なし)で共通である。

※各STEPの解析結果は、補足説明資料「1. 3 防波堤の損傷を考慮した地形モデル②」、「2. 2. 7 損傷の組合せ地形⑦の解析結果」、「2. 2. 8 損傷の組合せ地形⑧の解析結果」、「2. 2. 9 損傷の組合せ地形⑨の解析結果」参照。

【STEP4における最大ケース一覧】

区分	防波堤の損傷を考慮した地形モデル② 【敷地北側防潮堤:健全】	損傷の組合せ地形⑦ 【敷地北側防潮堤の損傷状態①(北部なし-南部なし)】	損傷の組合せ地形⑧ 【敷地北側防潮堤の損傷状態②(北部なし-南部あり)】	損傷の組合せ地形⑨ 【敷地北側防潮堤の損傷状態③(北部なし-南部あり)】
防潮堤前面 (上昇側)	・アスペリティ位置:de南へ20km ・断層パターン:6 ・波源位置:くの字モデル(東へ移動) ・断層面上縁深さ:5km	・アスペリティ位置:de南へ20km ・断層パターン:6 ・波源位置:くの字モデル(東へ移動) ・断層面上縁深さ:5km	・アスペリティ位置:de南へ20km ・断層パターン:6 ・波源位置:くの字モデル(東へ移動) ・断層面上縁深さ:5km	・アスペリティ位置:de南へ20km ・断層パターン:6 ・波源位置:くの字モデル(東へ移動) ・断層面上縁深さ:5km
敷地北側A (上昇側)	・アスペリティ位置:de南へ20km ・断層パターン:6 ・波源位置:くの字モデル(東へ移動) ・断層面上縁深さ:5km	・アスペリティ位置:de南へ20km ・断層パターン:6 ・波源位置:くの字モデル(東へ移動) ・断層面上縁深さ:5km	・アスペリティ位置:de南へ20km ・断層パターン:6 ・波源位置:くの字モデル(東へ移動) ・断層面上縁深さ:5km	・アスペリティ位置:de南へ20km ・断層パターン:6 ・波源位置:くの字モデル(東へ移動) ・断層面上縁深さ:5km
敷地北側B (上昇側)	・アスペリティ位置:de南へ20km ・断層パターン:6 ・波源位置:くの字モデル(東へ移動) ・断層面上縁深さ:4km	・アスペリティ位置:de南へ20km ・断層パターン:6 ・波源位置:くの字モデル(東へ移動) ・断層面上縁深さ:4km	・アスペリティ位置:de南へ20km ・断層パターン:6 ・波源位置:くの字モデル(東へ移動) ・断層面上縁深さ:4km	・アスペリティ位置:de南へ20km ・断層パターン:6 ・波源位置:くの字モデル(東へ移動) ・断層面上縁深さ:4km
3号炉取水口 (上昇側)	・アスペリティ位置:de南へ20km ・断層パターン:6 ・波源位置:くの字モデル(東へ移動) ・断層面上縁深さ:5km	・アスペリティ位置:de南へ20km ・断層パターン:6 ・波源位置:くの字モデル(東へ移動) ・断層面上縁深さ:5km	・アスペリティ位置:de南へ20km ・断層パターン:6 ・波源位置:くの字モデル(東へ移動) ・断層面上縁深さ:5km	・アスペリティ位置:de南へ20km ・断層パターン:6 ・波源位置:くの字モデル(東へ移動) ・断層面上縁深さ:5km
1, 2号炉取水口 (上昇側)	・アスペリティ位置:de南へ20km ・断層パターン:6 ・波源位置:くの字モデル(東へ移動) ・断層面上縁深さ:5km	・アスペリティ位置:de南へ20km ・断層パターン:6 ・波源位置:くの字モデル(東へ移動) ・断層面上縁深さ:5km	・アスペリティ位置:de南へ20km ・断層パターン:6 ・波源位置:くの字モデル(東へ移動) ・断層面上縁深さ:5km	・アスペリティ位置:de南へ20km ・断層パターン:6 ・波源位置:くの字モデル(東へ移動) ・断層面上縁深さ:5km
放水口 (上昇側)	・アスペリティ位置:de北へ10km ・断層パターン:6 ・波源位置:くの字モデル(東へ移動) ・断層面上縁深さ:0km	・アスペリティ位置:de北へ10km ・断層パターン:6 ・波源位置:くの字モデル(東へ移動) ・断層面上縁深さ:0km	・アスペリティ位置:de北へ10km ・断層パターン:6 ・波源位置:くの字モデル(東へ移動) ・断層面上縁深さ:0km	・アスペリティ位置:de北へ10km ・断層パターン:6 ・波源位置:くの字モデル(東へ移動) ・断層面上縁深さ:0km
3号炉取水口 (下降側)	・アスペリティ位置:de ・断層パターン:7 ・波源位置:矩形モデル(東へ移動) ・断層面上縁深さ:5km	・アスペリティ位置:de ・断層パターン:7 ・波源位置:矩形モデル(東へ移動) ・断層面上縁深さ:5km	・アスペリティ位置:de ・断層パターン:7 ・波源位置:矩形モデル(東へ移動) ・断層面上縁深さ:5km	・アスペリティ位置:de ・断層パターン:7 ・波源位置:矩形モデル(東へ移動) ・断層面上縁深さ:5km
1, 2号炉取水口 (下降側)	・アスペリティ位置:de ・断層パターン:7 ・波源位置:矩形モデル(東へ移動) ・断層面上縁深さ:5km	・アスペリティ位置:de ・断層パターン:7 ・波源位置:矩形モデル(東へ移動) ・断層面上縁深さ:5km	・アスペリティ位置:de ・断層パターン:7 ・波源位置:矩形モデル(東へ移動) ・断層面上縁深さ:5km	・アスペリティ位置:de ・断層パターン:7 ・波源位置:矩形モデル(東へ移動) ・断層面上縁深さ:5km

※赤ハッチングは断層パターン6、青ハッチングは断層パターン7の波源モデルである。

敷地北側防潮堤の損傷による波源選定の確認(5/6) 検討結果

○防波堤の損傷を考慮した地形モデル③※における最大ケースと損傷の組合せ地形⑩～⑫※における最大ケースは同一となった。
 ※防波堤の損傷状態は(北防波堤なし-南防波堤あり)で共通である。

※各STEPの解析結果は、補足説明資料「1. 4 防波堤の損傷を考慮した地形モデル③」、「2. 2. 10 損傷の組合せ地形⑩の解析結果」、「2. 2. 11 損傷の組合せ地形⑪の解析結果」、「2. 2. 12 損傷の組合せ地形⑫の解析結果」参照。

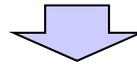
【STEP4における最大ケース一覧】

区分	防波堤の損傷を考慮した地形モデル③ 【敷地北側防潮堤:健全】	損傷の組合せ地形⑦ 【敷地北側防潮堤の損傷状態①(北部なし-南部なし)】	損傷の組合せ地形⑧ 【敷地北側防潮堤の損傷状態②(北部なし-南部あり)】	損傷の組合せ地形⑨ 【敷地北側防潮堤の損傷状態③(北部なし-南部あり)】
防潮堤前面 (上昇側)	・アスペリティ位置: de南へ20km ・断層パターン: 6 ・波源位置: 矩形モデル(東へ移動) ・断層面上縁深さ: 1km			
敷地北側A (上昇側)	・アスペリティ位置: de南へ20km ・断層パターン: 6 ・波源位置: 矩形モデル(東へ移動) ・断層面上縁深さ: 0km			
敷地北側B (上昇側)	・アスペリティ位置: de南へ20km ・断層パターン: 6 ・波源位置: くの字モデル(東へ移動) ・断層面上縁深さ: 3km			
3号炉取水口 (上昇側)	・アスペリティ位置: de南へ20km ・断層パターン: 6 ・波源位置: くの字モデル(東へ移動) ・断層面上縁深さ: 4km			
1, 2号炉取水口 (上昇側)	・アスペリティ位置: de南へ20km ・断層パターン: 6 ・波源位置: くの字モデル(東へ移動) ・断層面上縁深さ: 0km			
放水口 (上昇側)	・アスペリティ位置: de北へ10km ・断層パターン: 6 ・波源位置: くの字モデル(東へ移動) ・断層面上縁深さ: 0km			
3号炉取水口 (下降側)	・アスペリティ位置: de ・断層パターン: 7 ・波源位置: 矩形モデル(東へ移動) ・断層面上縁深さ: 3km			
1, 2号炉取水口 (下降側)	・アスペリティ位置: de ・断層パターン: 7 ・波源位置: 矩形モデル(東へ移動) ・断層面上縁深さ: 4km			

※赤ハッチングは断層パターン6、青ハッチングは断層パターン7の波源モデルである。

敷地北側防潮堤の損傷による波源選定の確認(6/6) まとめ

- 最大水位変動量, 最大水位分布, 水位時刻歴波形の比較から敷地北側防潮堤の損傷による波源選定に影響はないと考えている(P266参照)。
- 更なる検討として, 損傷の組合せ地形①～⑫についてパラメータスタディを実施し, 波源選定への影響を確認した。
- なお, パラメータスタディは, 敷地北側防潮堤の損傷状態が健全の場合の検討と同様な手順で実施した。

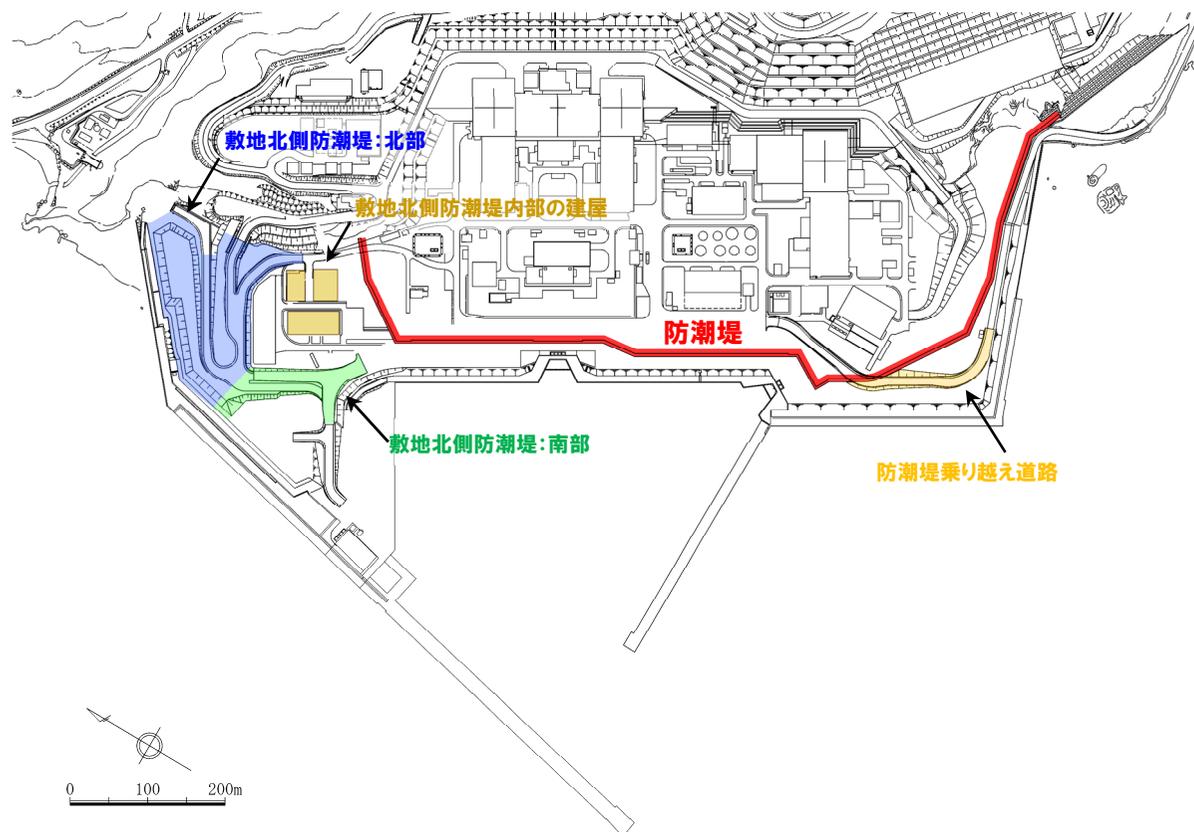


- 検討結果から, 「敷地北側防潮堤:健全」における最大ケースと, 「敷地北側防潮堤の損傷状態①～③」における最大ケースが同一となることを確認した。
- 以上から, 敷地北側防潮堤の損傷による波源選定への影響はない。

余白

敷地北側防潮堤内部の建屋、防潮堤乗り越え道路の損傷状態の妥当性確認(1/6) 検討方針

- 地形モデルの設定において、敷地北側防潮堤の損傷状態①～③では、敷地北側防潮堤内部の建屋、防潮堤乗り越え道路の条件を「なし」に設定していることから、条件設定の妥当性を確認する。
- 妥当性確認では、STEP4における防潮堤前面(上昇側)最大ケースを対象として、以下の損傷状態を考慮した地形モデルにおける最大水位変動量、最大水位上昇量分布を比較する。
 - 敷地北側防潮堤内部の建屋・防潮堤乗り越え道路:あり
 - 敷地北側防潮堤内部の建屋・防潮堤乗り越え道路:なし



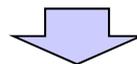
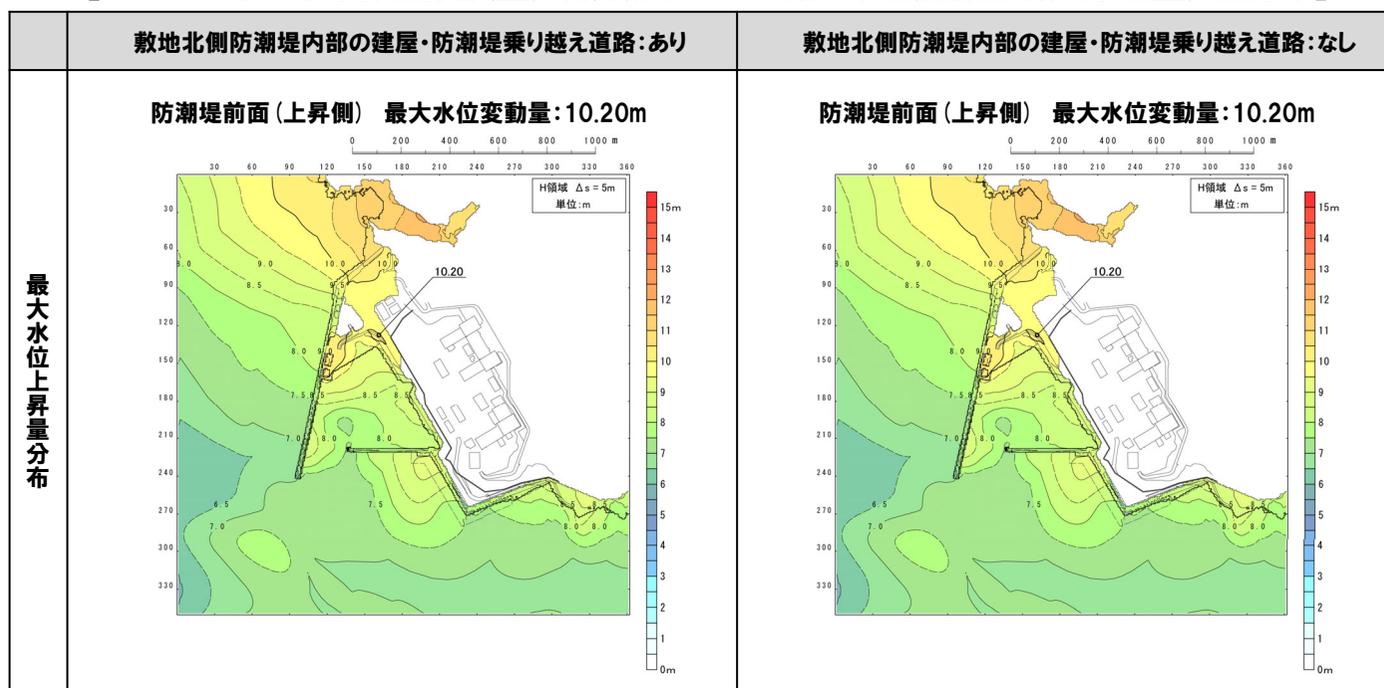
敷地北側防潮堤内部の建屋、防潮堤乗り越え道路の損傷状態の妥当性確認(2/6) 検討結果

○以下の損傷状態を考慮した地形モデルにおける最大水位変動量、最大水位上昇量分布を比較した。

- 敷地北側防潮堤内部の建屋・防潮堤乗り越え道路:あり
- 敷地北側防潮堤内部の建屋・防潮堤乗り越え道路:なし

※防波堤の損傷状態:(北防波堤あり-南防波堤あり), 敷地北側防潮堤の損傷状態:(北部なし-南部なし)で共通である。

【STEP4における防潮堤前面(上昇側)最大ケースの最大水位変動量・最大水位上昇量分布】



- 敷地北側防潮堤内部の建屋・防潮堤乗り越え道路「あり」・「なし」の違いによる最大水位変動量及び最大水位上昇量分布に差はない。
- 以上から、地形モデルの設定において、敷地北側防潮堤内部の建屋・防潮堤乗り越え道路は規模が小さいため、津波評価に影響しないことが確認できた。

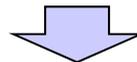
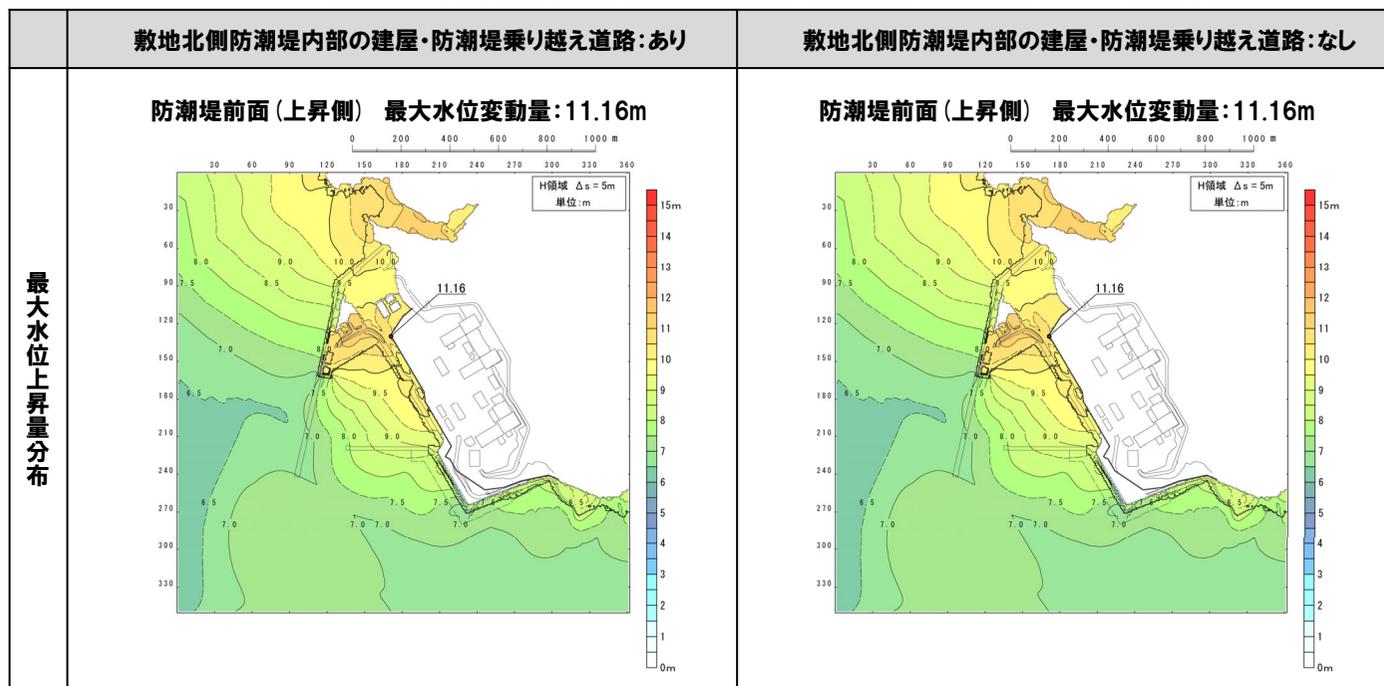
敷地北側防潮堤内部の建屋、防潮堤乗り越え道路の損傷状態の妥当性確認(3/6) 検討結果

○以下の損傷状態を考慮した地形モデルにおける最大水位変動量、最大水位上昇量分布を比較した。

- 敷地北側防潮堤内部の建屋・防潮堤乗り越え道路：あり
- 敷地北側防潮堤内部の建屋・防潮堤乗り越え道路：なし

※防波堤の損傷状態：(北防波堤なし-南防波堤なし)，敷地北側防潮堤の損傷状態：(北部なし-南部なし)で共通である。

【STEP4における防潮堤前面(上昇側)最大ケースの最大水位変動量・最大水位上昇量分布】



- 敷地北側防潮堤内部の建屋・防潮堤乗り越え道路「あり」・「なし」の違いによる最大水位変動量及び最大水位上昇量分布に差はない。
- 以上から、地形モデルの設定において、敷地北側防潮堤内部の建屋・防潮堤乗り越え道路は規模が小さいため、津波評価に影響しないことが確認できた。

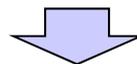
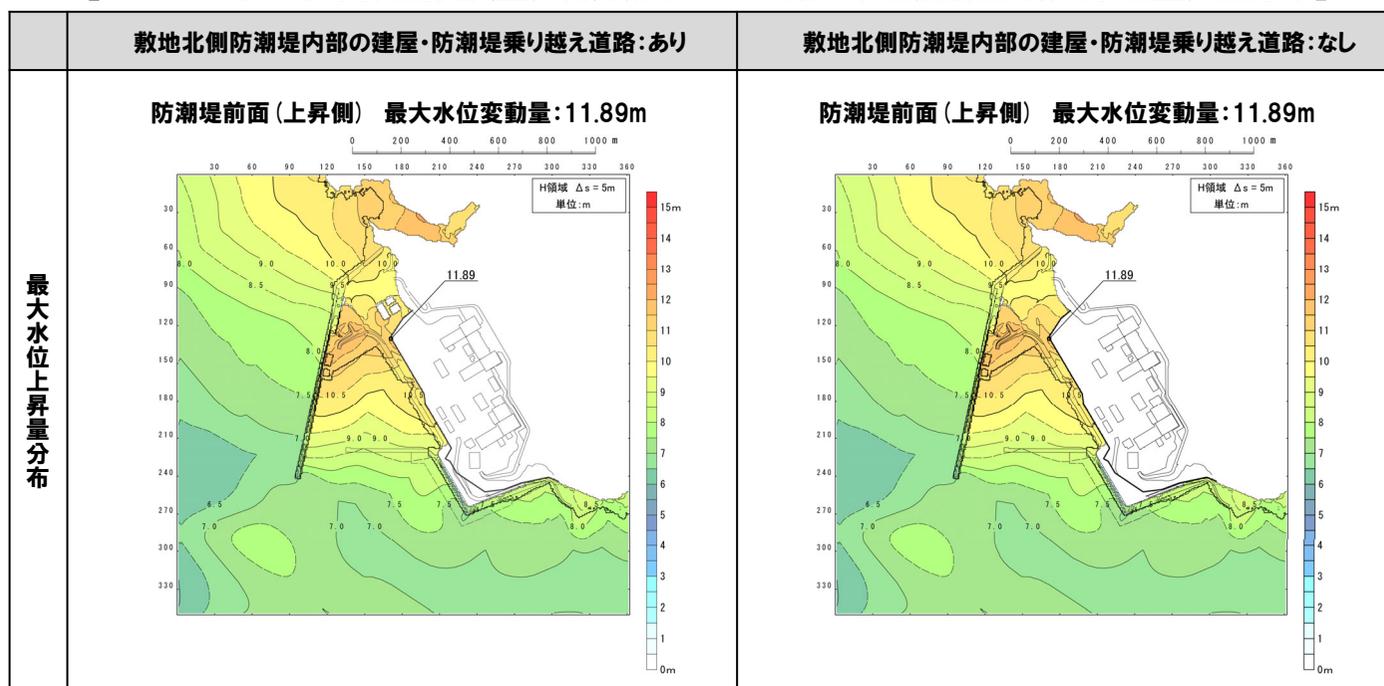
敷地北側防潮堤内部の建屋、防潮堤乗り越え道路の損傷状態の妥当性確認(4/6) 検討結果

○以下の損傷状態を考慮した地形モデルにおける最大水位変動量、最大水位上昇量分布を比較した。

- 敷地北側防潮堤内部の建屋・防潮堤乗り越え道路:あり
- 敷地北側防潮堤内部の建屋・防潮堤乗り越え道路:なし

※防波堤の損傷状態:(北防波堤あり-南防波堤なし), 敷地北側防潮堤の損傷状態:(北部なし-南部なし)で共通である。

【STEP4における防潮堤前面(上昇側)最大ケースの最大水位変動量・最大水位上昇量分布】



- 敷地北側防潮堤内部の建屋・防潮堤乗り越え道路「あり」・「なし」の違いによる最大水位変動量及び最大水位上昇量分布に差はない。
- 以上から、地形モデルの設定において、敷地北側防潮堤内部の建屋・防潮堤乗り越え道路は規模が小さいため、津波評価に影響しないことが確認できた。

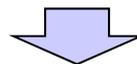
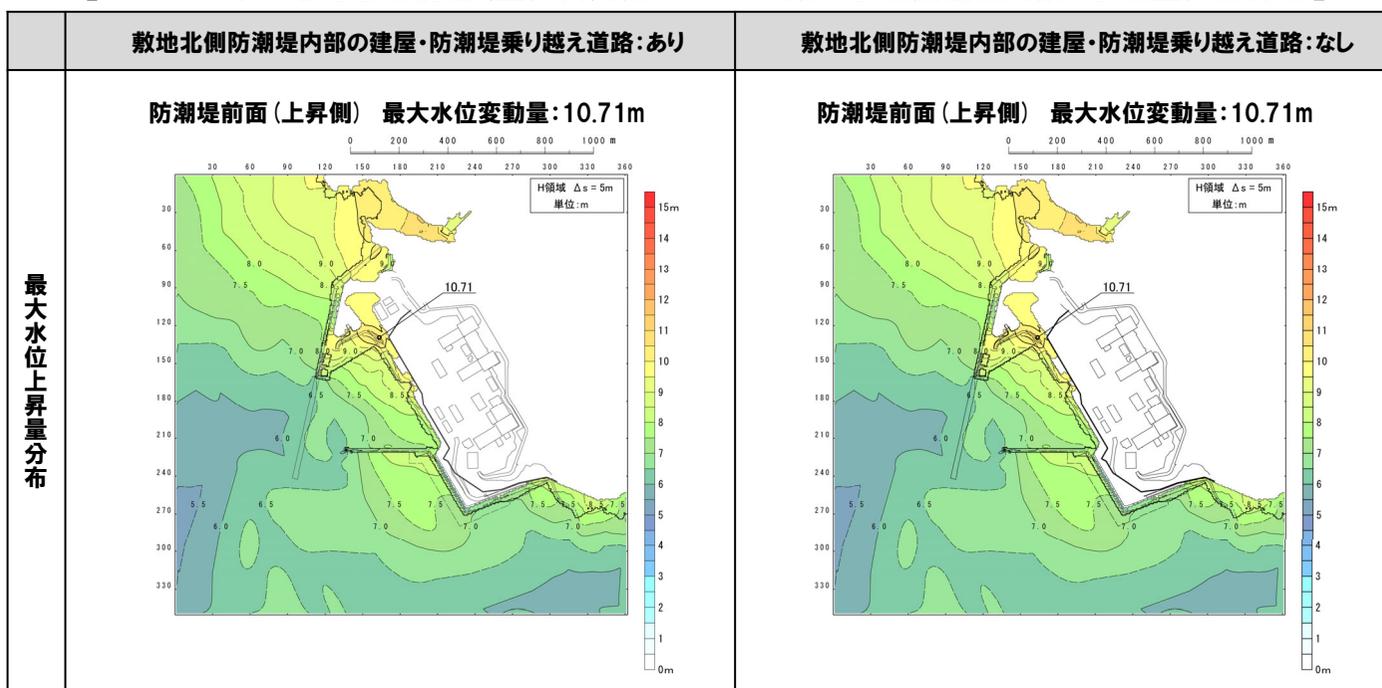
敷地北側防潮堤内部の建屋、防潮堤乗り越え道路の損傷状態の妥当性確認(5/6) 検討結果

○以下の損傷状態を考慮した地形モデルにおける最大水位変動量、最大水位上昇量分布を比較した。

- 敷地北側防潮堤内部の建屋・防潮堤乗り越え道路:あり
- 敷地北側防潮堤内部の建屋・防潮堤乗り越え道路:なし

※防波堤の損傷状態:(北防波堤なし-南防波堤あり)、敷地北側防潮堤の損傷状態:(北部なし-南部なし)で共通である。

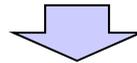
【STEP4における防潮堤前面(上昇側)最大ケースの最大水位変動量・最大水位上昇量分布】



- 敷地北側防潮堤内部の建屋・防潮堤乗り越え道路「あり」・「なし」の違いによる最大水位変動量及び最大水位上昇量分布に差はない。
- 以上から、地形モデルの設定において、敷地北側防潮堤内部の建屋・防潮堤乗り越え道路は規模が小さいため、津波評価に影響しないことが確認できた。

敷地北側防潮堤内部の建屋，防潮堤乗り越え道路の損傷状態の妥当性確認(6/6) まとめ

- 地形モデルの設定において，敷地北側防潮堤の損傷状態①～③では，敷地北側防潮堤内部の建屋，防潮堤乗り越え道路の条件を「なし」に設定していることから，条件設定の妥当性を確認した。
- 妥当性確認では，STEP4における防潮堤前面（上昇側）最大ケースを対象として，以下の損傷状態を考慮した地形モデルにおける最大水位変動量，最大水位上昇量分布を比較した。
 - 敷地北側防潮堤内部の建屋・防潮堤乗り越え道路：あり
 - 敷地北側防潮堤内部の建屋・防潮堤乗り越え道路：なし



- 敷地北側防潮堤内部の建屋・防潮堤乗り越え道路「あり」・「なし」の違いによる最大水位変動量及び最大水位上昇量分布に差はない。
- 以上から，地形モデルの設定において，敷地北側防潮堤内部の建屋・防潮堤乗り越え道路は規模が小さいため，津波評価に影響しないことを確認した。

1. コメント回答方針	5
1.1 指摘事項	6
1.2 指摘事項に関する回答方針	9
2. 日本海東縁部に想定される地震に伴う津波	15
2.1 日本海東縁部の特性整理	20
2.1.1 文献レビュー(既往の知見の整理)	22
2.1.2 当社の調査結果	31
2.1.3 想定される日本海東縁部の範囲	35
2.2 想定波源域の設定	36
2.2.1 想定波源域(南北・東西方向)の設定	38
2.2.2 想定波源域(深度方向)の設定	58
2.2.3 想定波源域の設定 まとめ	64
2.3 基準波源モデルの設定	65
2.4 パラメータスタディ	91
2.4.1 パラメータスタディの検討方針	92
2.4.2 計算条件	120
2.4.3 パラメータスタディの結果	154
2.4.4 敷地北側防潮堤の損傷による影響確認	162
2.5 日本海東縁部に想定される地震に伴う津波の最大ケース	281
2.6 補足説明	304
2.6.1 パラメータスタディ評価因子影響分析	305
2.6.2 貯留堰を下回る時間の確認	369
2.6.3 アスペリティモデルの保守性確認	418
2.6.4 F_B -2断層の位置付けと深度方向に係るモデル設定	437
参考文献	448

健全地形モデルにおける日本海東縁部に想定される地震に伴う津波の最大ケース(1/3)

一部加筆(R3/9/3審査会合)

○健全地形モデルにおける日本海東縁部に想定される地震に伴う津波の最大ケースは以下のとおりである。

数値シミュレーション結果一覧

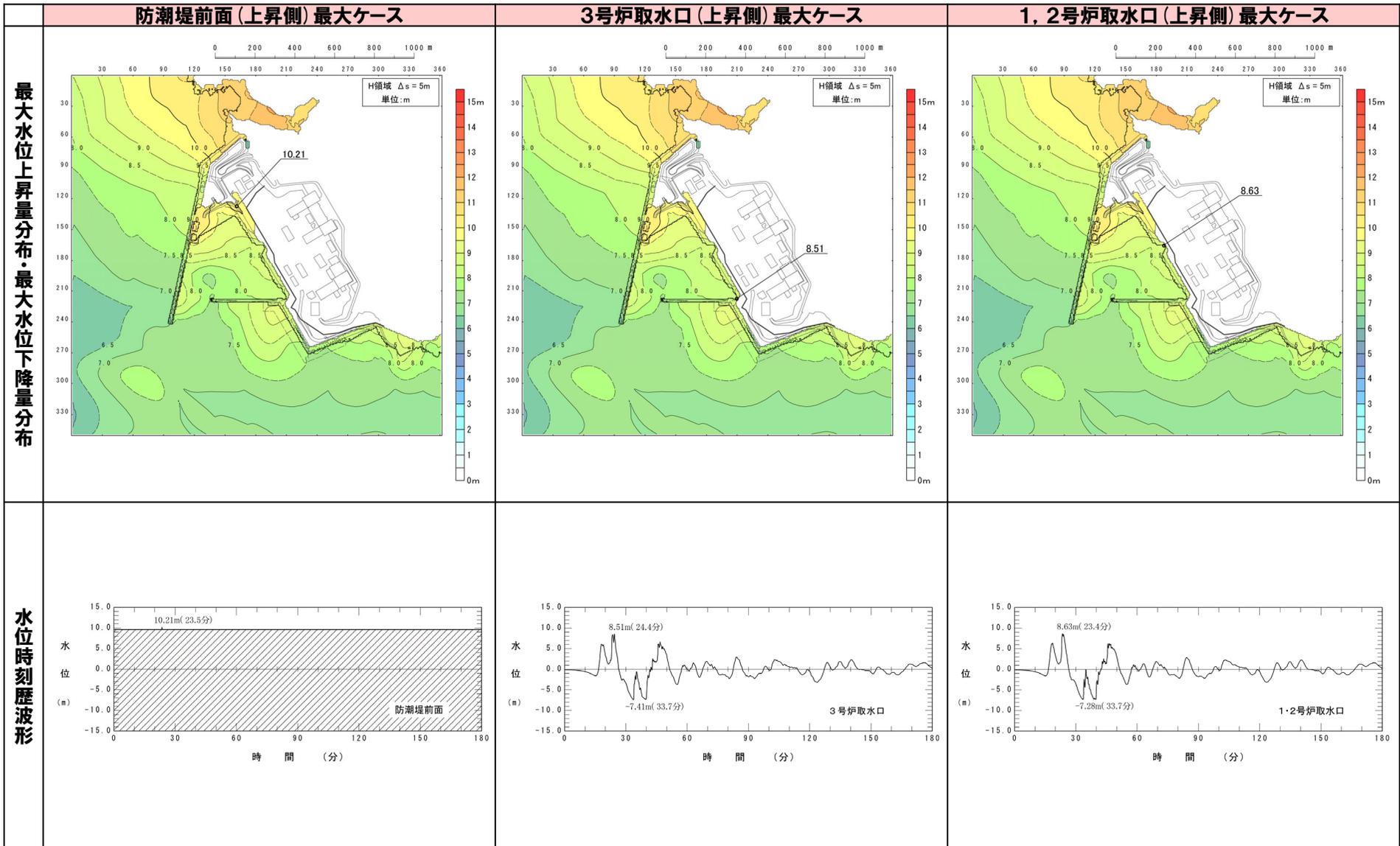
区分	水位変動量	地形モデル	断層パラメータの概要
防潮堤前面 (上昇側)	10.21m	健全地形モデル	<ul style="list-style-type: none"> ・アスベリティ位置: de南へ20km ・断層パターン: 6 ・波源位置: くの字モデル(東へ移動) ・断層面上縁深さ: 5km
3号炉取水口 (上昇側)	8.51m	健全地形モデル	<ul style="list-style-type: none"> ・アスベリティ位置: de南へ20km ・断層パターン: 6 ・波源位置: くの字モデル(東へ移動) ・断層面上縁深さ: 5km
1, 2号炉取水口 (上昇側)	8.63m	健全地形モデル	<ul style="list-style-type: none"> ・アスベリティ位置: de南へ20km ・断層パターン: 6 ・波源位置: くの字モデル(東へ移動) ・断層面上縁深さ: 5km
放水口 (上昇側)	9.20m	健全地形モデル	<ul style="list-style-type: none"> ・アスベリティ位置: de北へ10km ・断層パターン: 6 ・波源位置: くの字モデル(東へ移動) ・断層面上縁深さ: 0km
3号炉取水口 (下降側)	9.11m	健全地形モデル	<ul style="list-style-type: none"> ・アスベリティ位置: de ・断層パターン: 7 ・波源位置: 矩形モデル(東へ移動) ・断層面上縁深さ: 5km

※健全地形モデルにおける最大ケースと異なる断層パラメータを**朱書き**で示している。
 ※赤ハッチングは断層パターン6、青ハッチングは断層パターン7の波源モデルである。

2.5 日本海東縁部に想定される地震に伴う津波の最大ケース

健全地形モデルにおける日本海東縁部に想定される地震に伴う津波の最大ケース (2/3)

一部加筆 (R3/9/3審査会合)

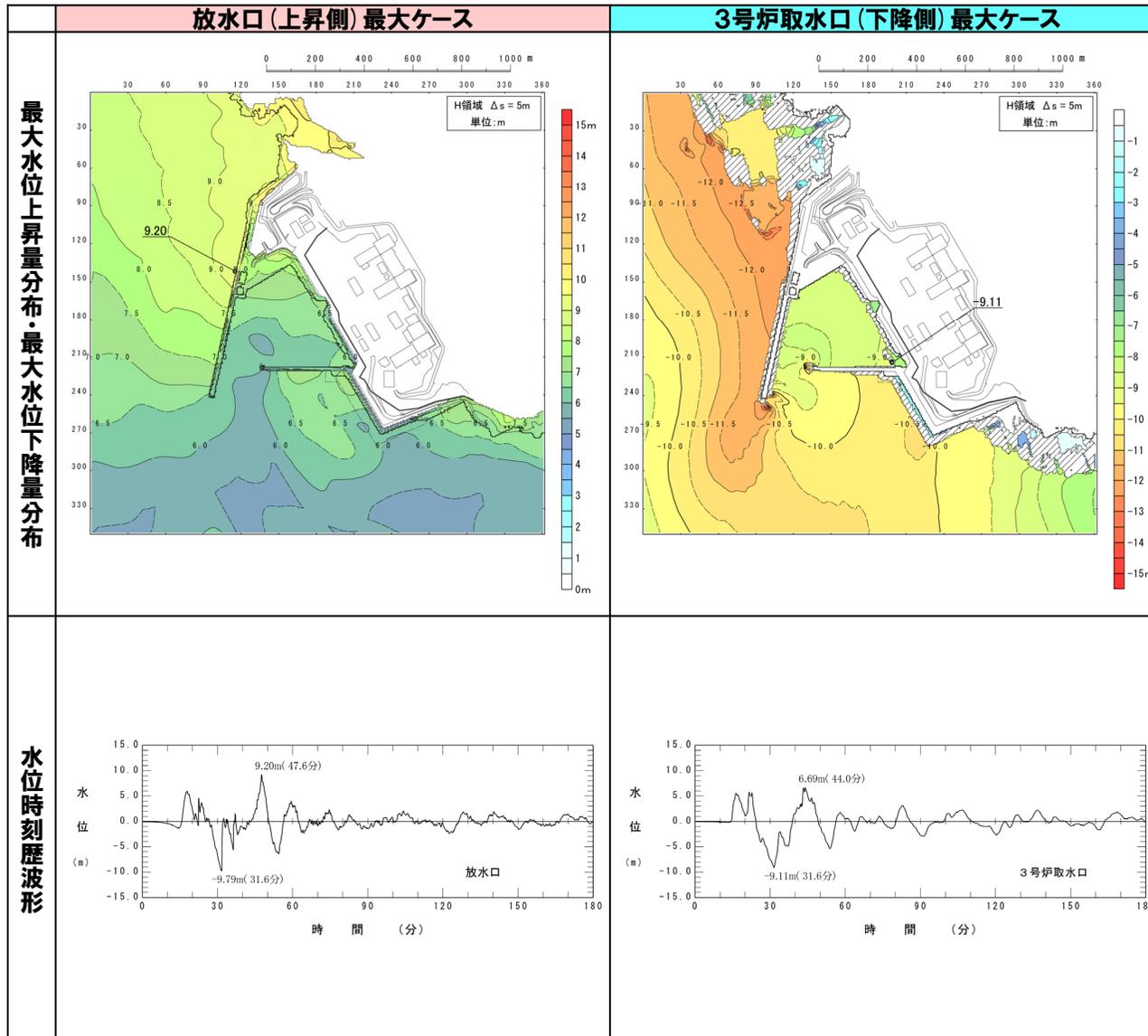


※水位時刻履歴波形は水位変動量が最大となる地点から抽出している。
 ※赤ハッチングは断層パターン6、青ハッチングは断層パターン7の波源モデルである。

2.5 日本海東縁部に想定される地震に伴う津波の最大ケース

健全地形モデルにおける日本海東縁部に想定される地震に伴う津波の最大ケース (3/3)

一部加筆 (R3/9/3審査会合)



※水位時刻履歴波形は水位変動量が最大となる地点から抽出している。
 ※赤ハッチングは断層パターン6, 青ハッチングは断層パターン7の波源モデルである。

余白

防波堤の損傷を考慮した地形モデル①における日本海東縁部に想定される地震に伴う津波の最大ケース (1/3)

一部加筆 (R3/9/3審査会合)

○防波堤の損傷を考慮した地形モデル①における日本海東縁部に想定される地震に伴う津波の最大ケースは以下のとおりである。

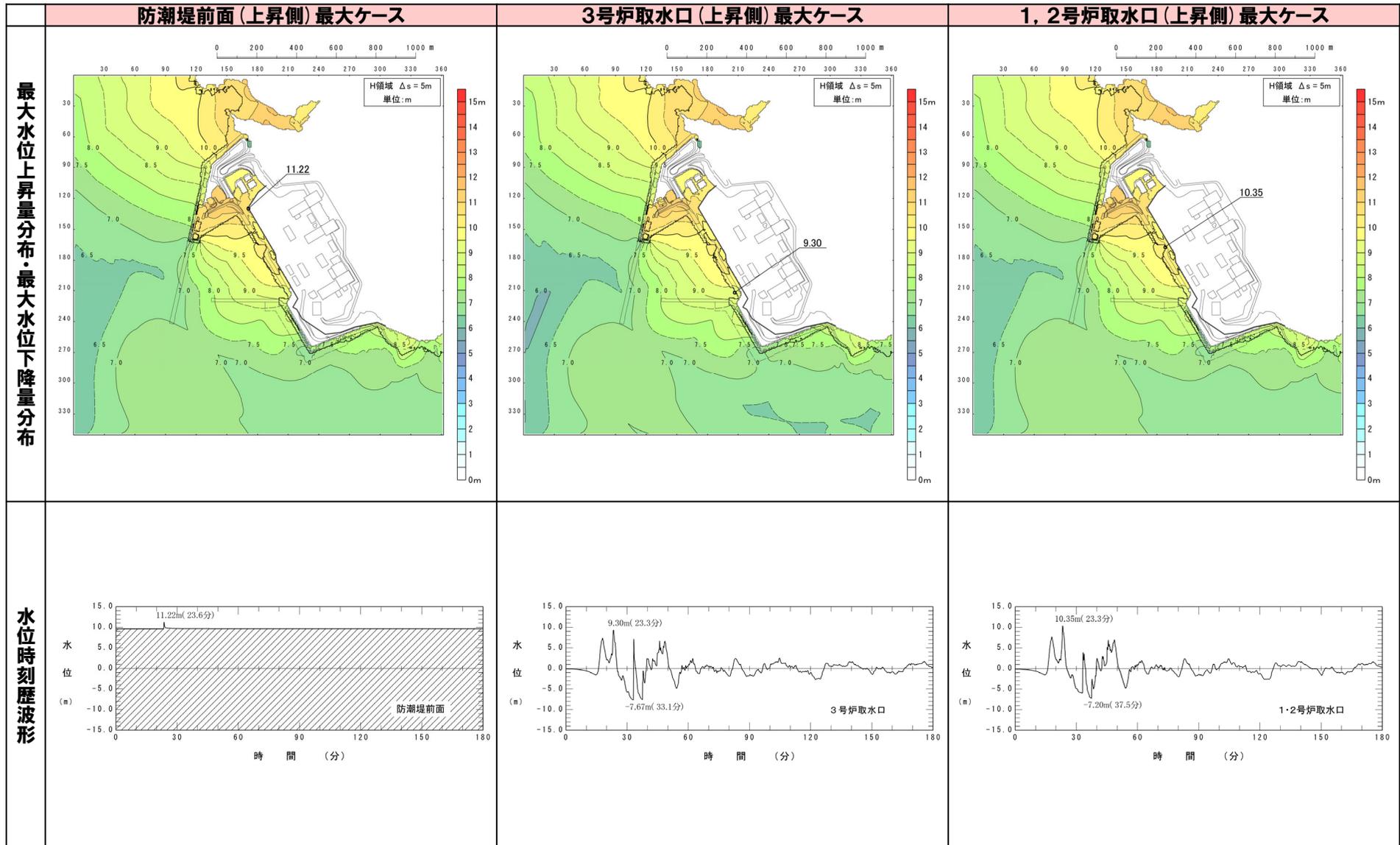
数値シミュレーション結果一覧

区分	水位変動量	地形モデル	断層パラメータの概要
防潮堤前面 (上昇側)	11.22m	防波堤の損傷を考慮した地形モデル① (北防波堤なし-南防波堤なし)	・アスベリティ位置: de南へ20km ・断層パターン: 6 ・波源位置: くの字モデル (東へ移動) ・断層面上縁深さ: 5km
3号炉取水口 (上昇側)	9.30m	防波堤の損傷を考慮した地形モデル① (北防波堤なし-南防波堤なし)	・アスベリティ位置: de南へ20km ・断層パターン: 6 ・波源位置: くの字モデル (東へ移動) ・断層面上縁深さ: 4km
1, 2号炉取水口 (上昇側)	10.35m	防波堤の損傷を考慮した地形モデル① (北防波堤なし-南防波堤なし)	・アスベリティ位置: de南へ20km ・断層パターン: 6 ・波源位置: くの字モデル (東へ移動) ・断層面上縁深さ: 5km
放水口 (上昇側)	8.72m	防波堤の損傷を考慮した地形モデル① (北防波堤なし-南防波堤なし)	・アスベリティ位置: de北へ10km ・断層パターン: 6 ・波源位置: くの字モデル (東へ移動) ・断層面上縁深さ: 0km
3号炉取水口 (下降側)	11.25m	防波堤の損傷を考慮した地形モデル① (北防波堤なし-南防波堤なし)	・アスベリティ位置: de ・断層パターン: 7 ・波源位置: 矩形モデル (東へ移動) ・断層面上縁深さ: 5km

※健全地形モデルにおける最大ケースと異なる断層パラメータを**朱書き**で示している。
 ※赤ハッチングは断層パターン6、**青ハッチング**は断層パターン7の波源モデルである。

防波堤の損傷を考慮した地形モデル①における日本海東縁部に想定される地震に伴う津波の最大ケース (2/3)

一部加筆 (R3/9/3審査会合)

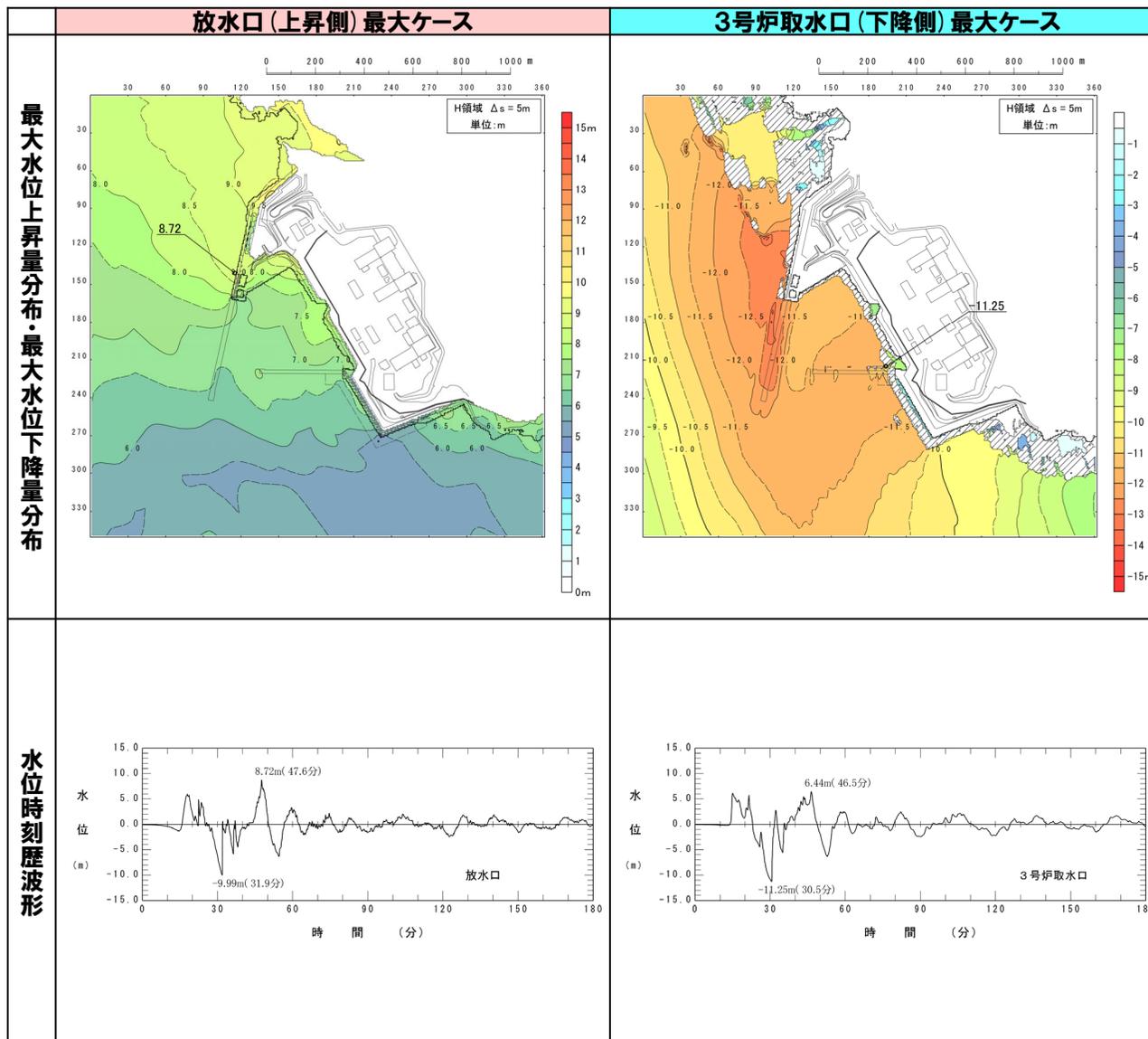


※水位時刻履歴波形は水位変動量が最大となる地点から抽出している。
 ※赤ハッチングは断層パターン6, 青ハッチングは断層パターン7の波源モデルである。

2.5 日本海東縁部に想定される地震に伴う津波の最大ケース

防波堤の損傷を考慮した地形モデル①における日本海東縁部に想定される地震に伴う津波の最大ケース (3/3)

一部加筆 (R3/9/3審査会合)



※水位時刻履歴波形は水位変動量が最大となる地点から抽出している。
 ※赤ハッチングは断層パターン6、青ハッチングは断層パターン7の波源モデルである。

余白

防波堤の損傷を考慮した地形モデル②における日本海東縁部に想定される地震に伴う津波の最大ケース (1/3)

一部加筆 (R3/9/3審査会合)

○防波堤の損傷を考慮した地形モデル②における日本海東縁部に想定される地震に伴う津波の最大ケースは以下のとおりである。

数値シミュレーション結果一覧

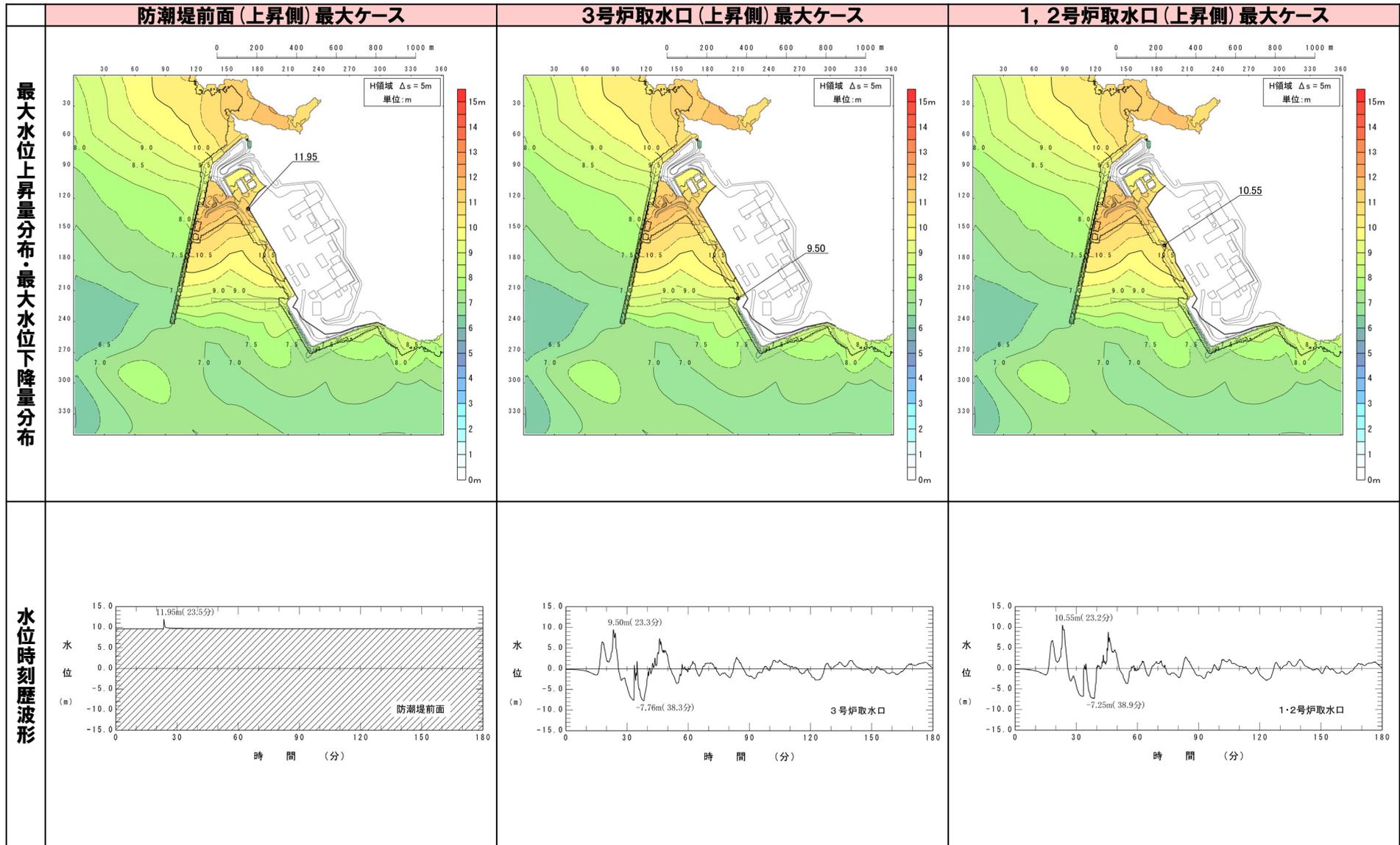
区分	水位変動量	地形モデル	断層パラメータの概要
防潮堤前面 (上昇側)	11.95m	防波堤の損傷を考慮した地形モデル② (北防波堤あり-南防波堤なし)	・アスベリティ位置: de南へ20km ・断層パターン: 6 ・波源位置: くの字モデル (東へ移動) ・断層面上縁深さ: 5km
3号炉取水口 (上昇側)	9.50m	防波堤の損傷を考慮した地形モデル② (北防波堤あり-南防波堤なし)	・アスベリティ位置: de南へ20km ・断層パターン: 6 ・波源位置: くの字モデル (東へ移動) ・断層面上縁深さ: 5km
1, 2号炉取水口 (上昇側)	10.55m	防波堤の損傷を考慮した地形モデル② (北防波堤あり-南防波堤なし)	・アスベリティ位置: de南へ20km ・断層パターン: 6 ・波源位置: くの字モデル (東へ移動) ・断層面上縁深さ: 5km
放水口 (上昇側)	9.17m	防波堤の損傷を考慮した地形モデル② (北防波堤あり-南防波堤なし)	・アスベリティ位置: de北へ10km ・断層パターン: 6 ・波源位置: くの字モデル (東へ移動) ・断層面上縁深さ: 0km
3号炉取水口 (下降側)	10.61m	防波堤の損傷を考慮した地形モデル② (北防波堤あり-南防波堤なし)	・アスベリティ位置: de ・断層パターン: 7 ・波源位置: 矩形モデル (東へ移動) ・断層面上縁深さ: 5km

※健全地形モデルにおける最大ケースと異なる断層パラメータを**朱書き**で示している。
※赤ハッチングは断層パターン6、青ハッチングは断層パターン7の波源モデルである。

2.5 日本海東縁部に想定される地震に伴う津波の最大ケース

防波堤の損傷を考慮した地形モデル②における日本海東縁部に想定される地震に伴う津波の最大ケース (2/3)

一部加筆 (R3/9/3審査会合)

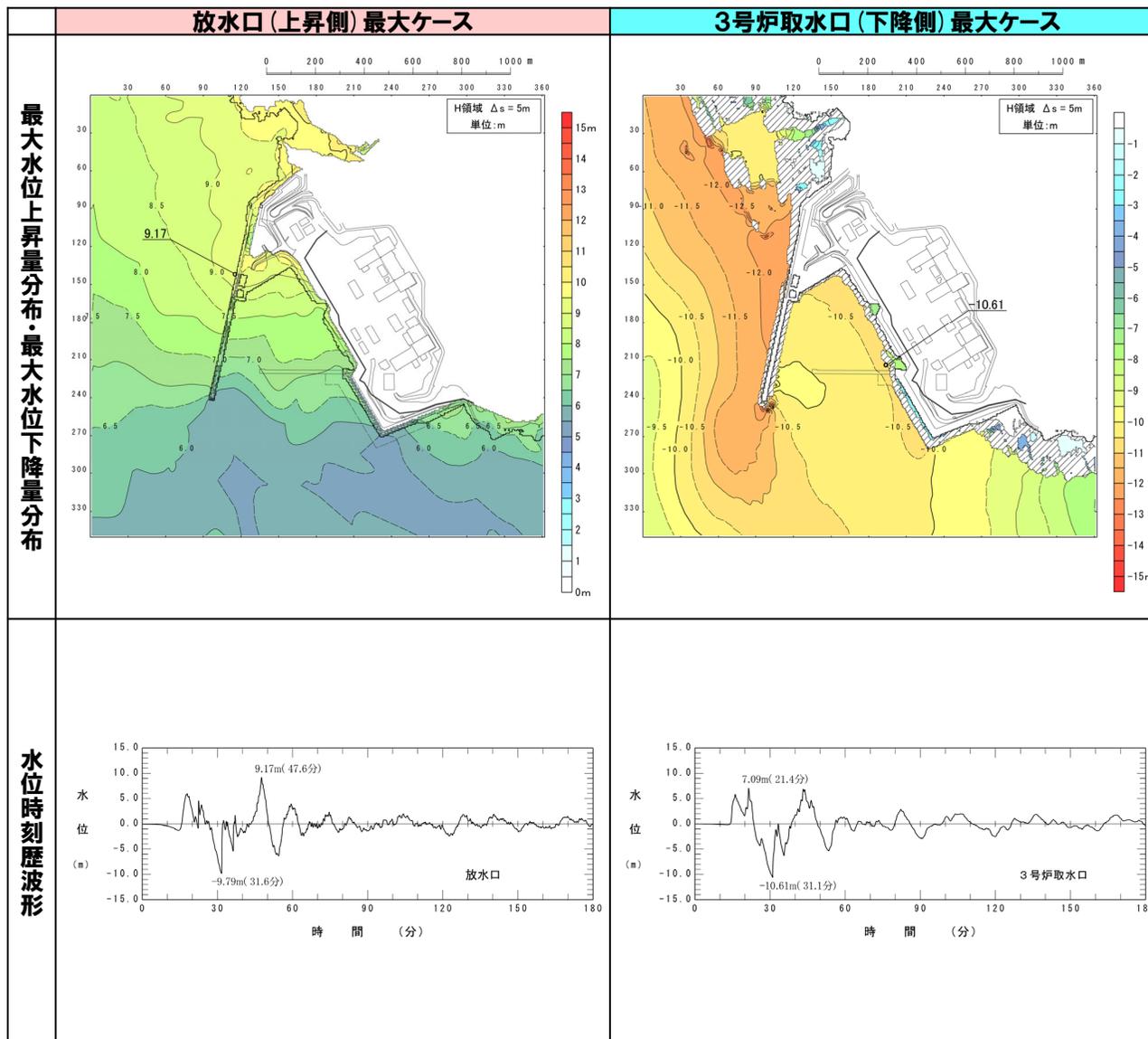


※水位時刻履歴波形は水位変動量が最大となる地点から抽出している。
 ※赤ハッチングは断層パターン6、青ハッチングは断層パターン7の波源モデルである。

2.5 日本海東縁部に想定される地震に伴う津波の最大ケース

防波堤の損傷を考慮した地形モデル②における日本海東縁部に想定される地震に伴う津波の最大ケース (3/3)

一部加筆 (R3/9/3審査会合)



※水位時刻歴波形は水位変動量が最大となる地点から抽出している。
 ※赤ハッチングは断層パターン6、青ハッチングは断層パターン7の波源モデルである。

余白

防波堤の損傷を考慮した地形モデル③における日本海東縁部に想定される地震に伴う津波の最大ケース (1/3)

一部加筆 (R3/9/3審査会合)

○防波堤の損傷を考慮した地形モデル③における日本海東縁部に想定される地震に伴う津波の最大ケースは以下のとおりである。

数値シミュレーション結果一覧

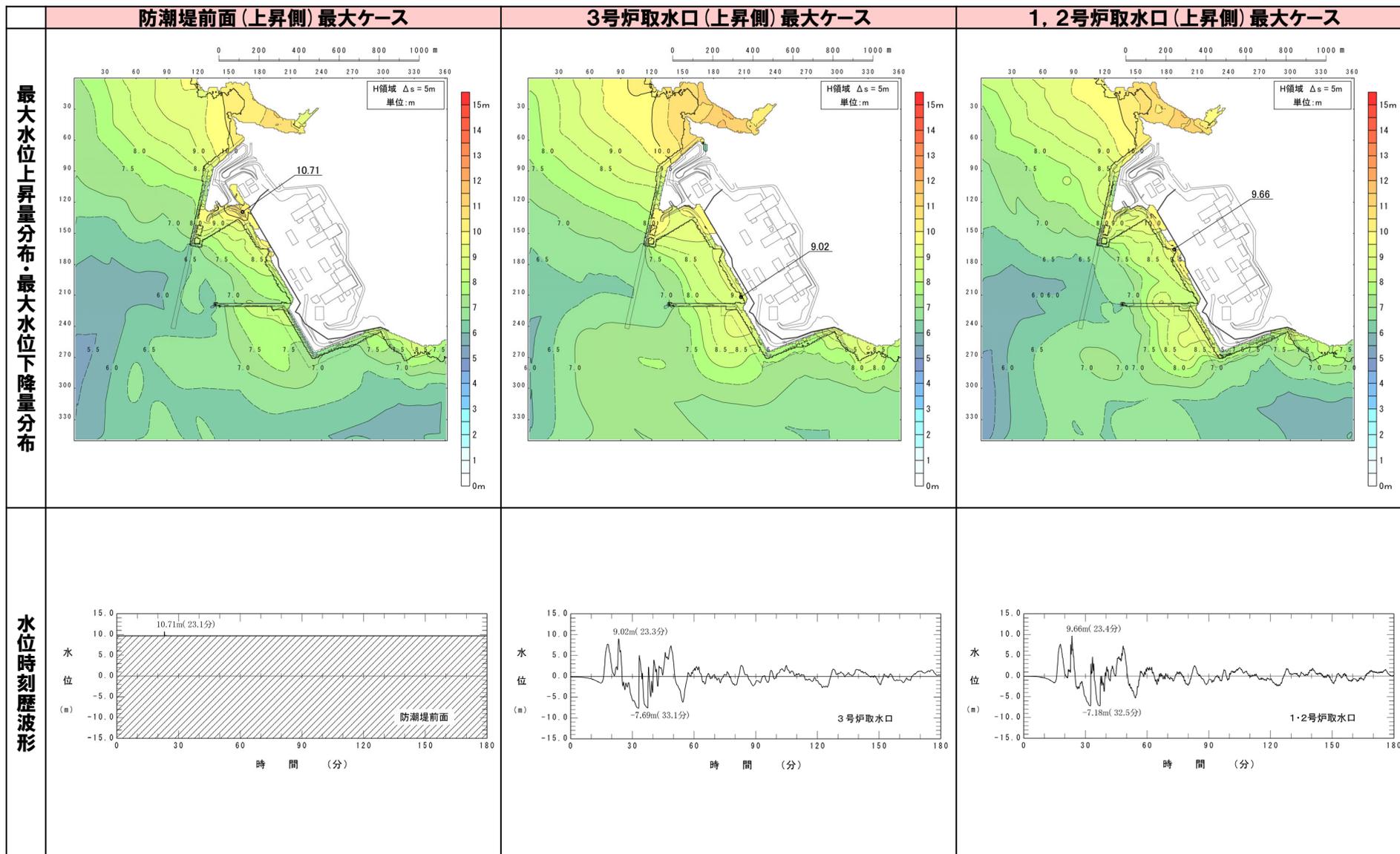
区分	水位変動量	地形モデル	断層パラメータの概要
防潮堤前面 (上昇側)	10.71m	防波堤の損傷を考慮した地形モデル③ (北防波堤なし-南防波堤あり)	・アスベリティ位置: de南へ20km ・断層パターン: 6 ・波源位置: 矩形モデル (東へ移動) ・断層面上縁深さ: 1km
3号炉取水口 (上昇側)	9.02m	防波堤の損傷を考慮した地形モデル③ (北防波堤なし-南防波堤あり)	・アスベリティ位置: de南へ20km ・断層パターン: 6 ・波源位置: くの字モデル (東へ移動) ・断層面上縁深さ: 4km
1, 2号炉取水口 (上昇側)	9.66m	防波堤の損傷を考慮した地形モデル③ (北防波堤なし-南防波堤あり)	・アスベリティ位置: de南へ20km ・断層パターン: 6 ・波源位置: くの字モデル (東へ移動) ・断層面上縁深さ: 0km
放水口 (上昇側)	8.92m	防波堤の損傷を考慮した地形モデル③ (北防波堤なし-南防波堤あり)	・アスベリティ位置: de北へ10km ・断層パターン: 6 ・波源位置: くの字モデル (東へ移動) ・断層面上縁深さ: 0km
3号炉取水口 (下降側)	11.22m	防波堤の損傷を考慮した地形モデル③ (北防波堤なし-南防波堤あり)	・アスベリティ位置: de ・断層パターン: 7 ・波源位置: 矩形モデル (東へ移動) ・断層面上縁深さ: 3km

※健全地形モデルにおける最大ケースと異なる断層パラメータを**朱書き**で示している。
※赤ハッチングは断層パターン6、**青ハッチング**は断層パターン7の波源モデルである。

2.5 日本海東縁部に想定される地震に伴う津波の最大ケース

防波堤の損傷を考慮した地形モデル③における日本海東縁部に想定される地震に伴う津波の最大ケース (2/3)

一部加筆 (R3/9/3審査会合)

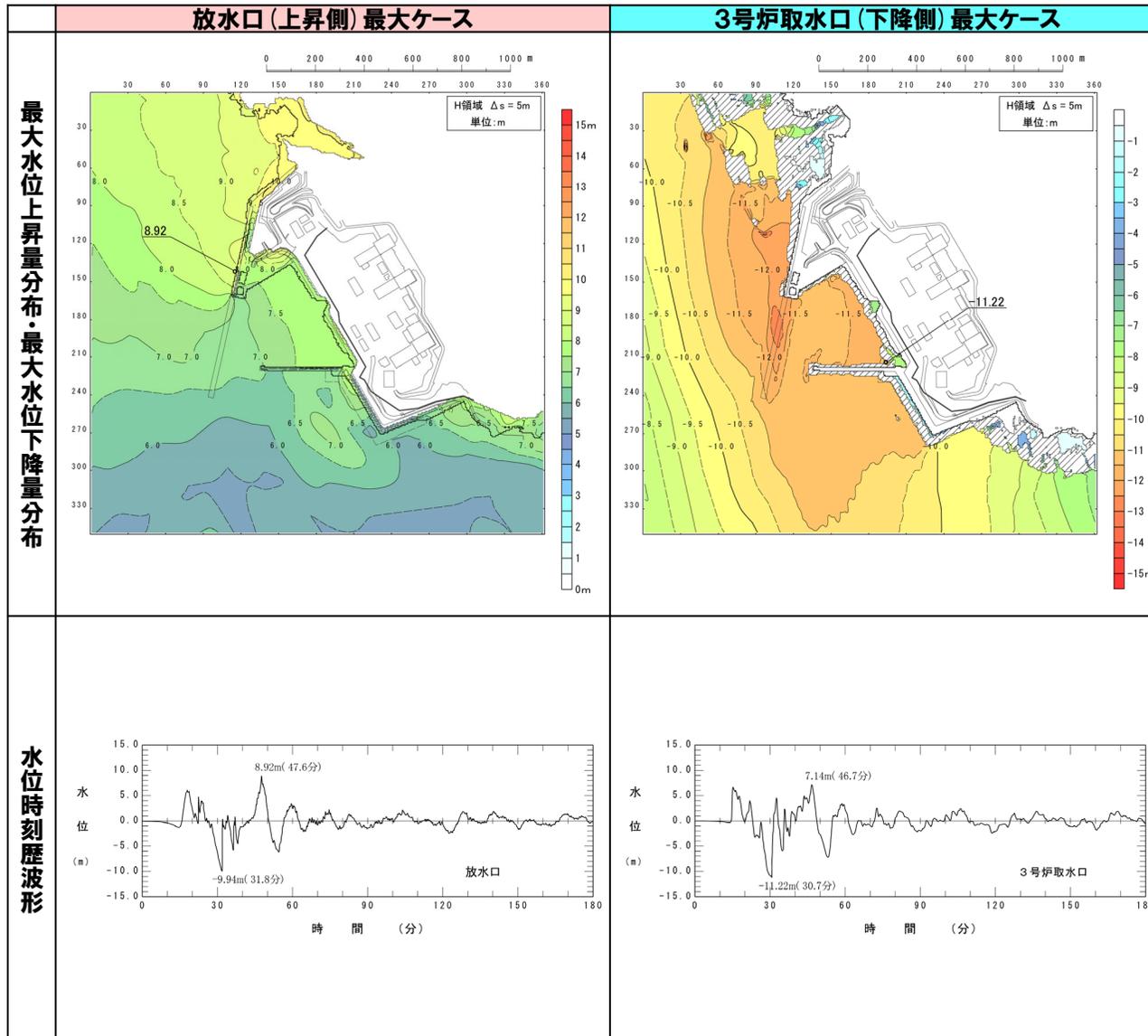


※水位時刻履歴波形は水位変動量が最大となる地点から抽出している。
 ※赤ハッチングは断層パターン6、青ハッチングは断層パターン7の波源モデルである。

2.5 日本海東縁部に想定される地震に伴う津波の最大ケース

防波堤の損傷を考慮した地形モデル③における日本海東縁部に想定される地震に伴う津波の最大ケース (3/3)

一部加筆 (R3/9/3審査会合)



※水位時刻履歴波形は水位変動量が最大となる地点から抽出している。
 ※赤ハッチングは断層パターン6, 青ハッチングは断層パターン7の波源モデルである。

まとめ

一部加筆 (R3/9/3審査会合)

○各地形モデルにおける日本海東縁部に想定される地震に伴う津波の最大ケースは以下のとおりである。

【日本海東縁部に想定される地震に伴う津波の最大ケース一覧】

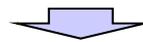
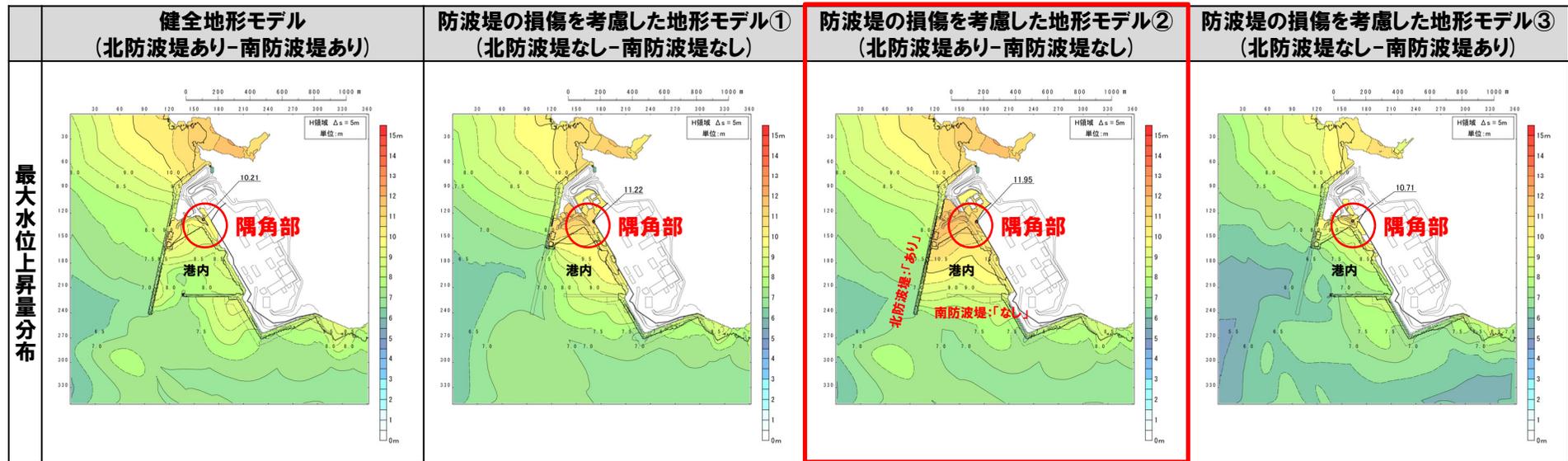
区分	健全地形モデル (北防波堤あり-南防波堤あり)		防波堤の損傷を考慮した地形モデル① (北防波堤なし-南防波堤なし)		防波堤の損傷を考慮した地形モデル② (北防波堤あり-南防波堤なし)		防波堤の損傷を考慮した地形モデル③ (北防波堤なし-南防波堤あり)	
	水位 変動量	断層パラメータの概要	水位 変動量	断層パラメータの概要	水位 変動量	断層パラメータの概要	水位 変動量	断層パラメータの概要
防潮堤前面 (上昇側)	10.21m	・アスペリティ位置: de南へ20km ・断層パターン: 6 ・波源位置: <の字モデル (東へ移動) ・断層面上縁深さ: 5km	11.22m	・アスペリティ位置: de南へ20km ・断層パターン: 6 ・波源位置: <の字モデル (東へ移動) ・断層面上縁深さ: 5km	11.95m	・アスペリティ位置: de南へ20km ・断層パターン: 6 ・波源位置: <の字モデル (東へ移動) ・断層面上縁深さ: 5km	10.71m	・アスペリティ位置: de南へ20km ・断層パターン: 6 ・波源位置: 矩形モデル (東へ移動) ・断層面上縁深さ: 1km
3号炉取水口 (上昇側)	8.51m	・アスペリティ位置: de南へ20km ・断層パターン: 6 ・波源位置: <の字モデル (東へ移動) ・断層面上縁深さ: 5km	9.30m	・アスペリティ位置: de南へ20km ・断層パターン: 6 ・波源位置: <の字モデル (東へ移動) ・断層面上縁深さ: 4km	9.50m	・アスペリティ位置: de南へ20km ・断層パターン: 6 ・波源位置: <の字モデル (東へ移動) ・断層面上縁深さ: 5km	9.02m	・アスペリティ位置: de南へ20km ・断層パターン: 6 ・波源位置: <の字モデル (東へ移動) ・断層面上縁深さ: 4km
1, 2号炉取水口 (上昇側)	8.63m	・アスペリティ位置: de南へ20km ・断層パターン: 6 ・波源位置: <の字モデル (東へ移動) ・断層面上縁深さ: 5km	10.35m	・アスペリティ位置: de南へ20km ・断層パターン: 6 ・波源位置: <の字モデル (東へ移動) ・断層面上縁深さ: 5km	10.55m	・アスペリティ位置: de南へ20km ・断層パターン: 6 ・波源位置: <の字モデル (東へ移動) ・断層面上縁深さ: 5km	9.66m	・アスペリティ位置: de南へ20km ・断層パターン: 6 ・波源位置: <の字モデル (東へ移動) ・断層面上縁深さ: 0km
放水口 (上昇側)	9.20m	・アスペリティ位置: de北へ10km ・断層パターン: 6 ・波源位置: <の字モデル (東へ移動) ・断層面上縁深さ: 0km	8.72m	・アスペリティ位置: de北へ10km ・断層パターン: 6 ・波源位置: <の字モデル (東へ移動) ・断層面上縁深さ: 0km	9.17m	・アスペリティ位置: de北へ10km ・断層パターン: 6 ・波源位置: <の字モデル (東へ移動) ・断層面上縁深さ: 0km	8.92m	・アスペリティ位置: de北へ10km ・断層パターン: 6 ・波源位置: <の字モデル (東へ移動) ・断層面上縁深さ: 0km
3号炉取水口 (下降側)	9.11m	・アスペリティ位置: de ・断層パターン: 7 ・波源位置: 矩形モデル (東へ移動) ・断層面上縁深さ: 5km	11.25m	・アスペリティ位置: de ・断層パターン: 7 ・波源位置: 矩形モデル (東へ移動) ・断層面上縁深さ: 5km	10.61m	・アスペリティ位置: de ・断層パターン: 7 ・波源位置: 矩形モデル (東へ移動) ・断層面上縁深さ: 5km	11.22m	・アスペリティ位置: de ・断層パターン: 7 ・波源位置: 矩形モデル (東へ移動) ・断層面上縁深さ: 3km

※健全地形モデルにおける最大ケースと異なる断層パラメータを**朱書き**で示している。
※赤ハッチングは断層パターン6、**青ハッチング**は断層パターン7の波源モデルである。

防波堤の損傷状態の妥当性確認 (1/3) 防潮堤前面 (上昇側)

- 地形モデルの設定において、北防波堤 (若しくは南防波堤) の条件を、津波の遡上への影響が大きいと考えられる「あり」「なし」に設定していることから、条件設定 (中間的な損傷状態を設定しない) の妥当性を確認する。
- 妥当性確認では、日本海東縁部に想定される地震に伴う津波の最大ケースのうち防潮堤前面 (上昇側) 最大ケースについて、各地形モデルにおける最大水位上昇量分布を比較した。

【日本海東縁部に想定される地震に伴う津波の最大ケースのうち防潮堤前面 (上昇側) 最大ケースの最大水位上昇量分布】

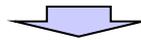
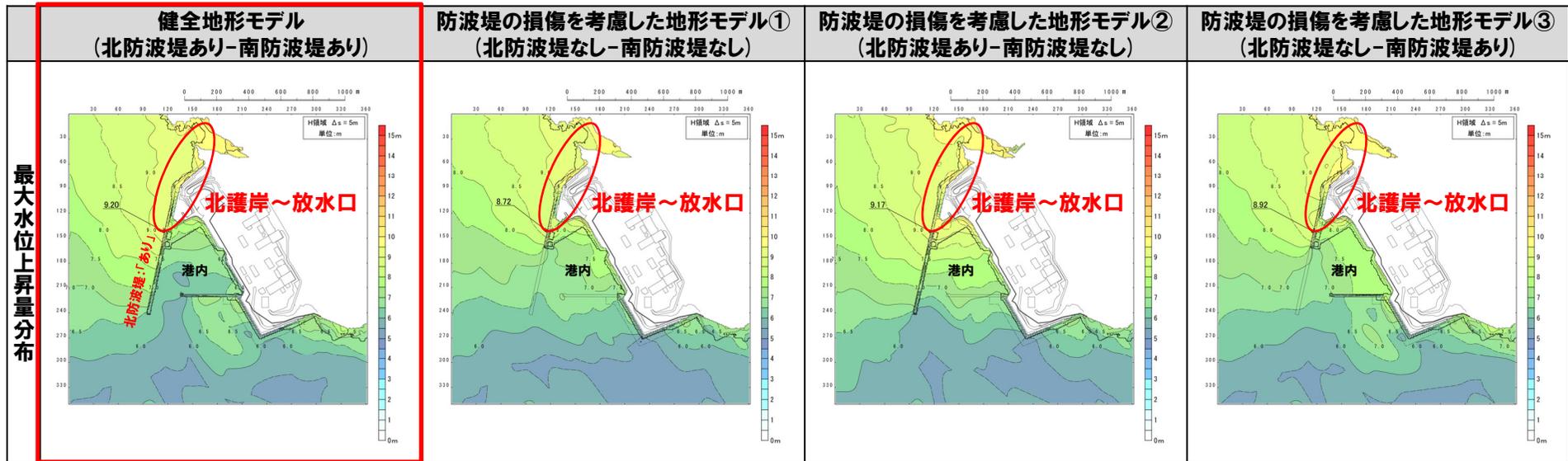


- いずれの地形モデルにおいても、敷地南方向から伝播する津波によって、図中に示す隅角部において局所的に水位上昇量が大きくなり、防潮堤前面 (上昇側) の最大地点となる。
- 防潮堤前面の水位上昇量が最も大きい地形モデルは、防波堤の損傷を考慮した地形モデル② (北防波堤あり-南防波堤なし) であり、以下の理由から、保守的な地形モデルの設定になっていると考えられる。
 - 南防波堤を「なし」条件とすることで、敷地南方向から伝播する津波が港内に流入しやすくなる。
 - さらに、北防波堤を「あり」条件とすることで、南から港内に流入した津波が敷地北方向に流出しづらくなり、隅角部付近の水位上昇量が大きくなる。
 - 防波堤の中間的な損傷状態を考慮すると、敷地南方向からの流入 (あるいは敷地北方向への流出) の影響が軽減されることが考えられる。
- 以上から、北防波堤 (若しくは南防波堤) の条件を、「あり」「なし」と設定する (中間的な損傷状態を設定しない) 妥当性を確認した*。
- ※3号炉取水口 (上昇側), 1, 2号炉取水口 (上昇側) についても、同様の遡上メカニズムであることを確認し、妥当性を確認している。

防波堤の損傷状態の妥当性確認 (2/3) 放水口 (上昇側)

- 地形モデルの設定において、北防波堤 (若しくは南防波堤) の条件を、津波の遡上への影響が大きいと考えられる「あり」「なし」に設定していることから、条件設定 (中間的な損傷状態を設定しない) の妥当性を確認する。
- 妥当性確認では、日本海東縁部に想定される地震に伴う津波の最大ケースのうち放水口 (上昇側) 最大ケースについて、各地形モデルにおける最大水位上昇量分布を比較した。

【日本海東縁部に想定される地震に伴う津波の最大ケースのうち放水口 (上昇側) 最大ケースの最大水位上昇量分布】

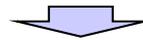
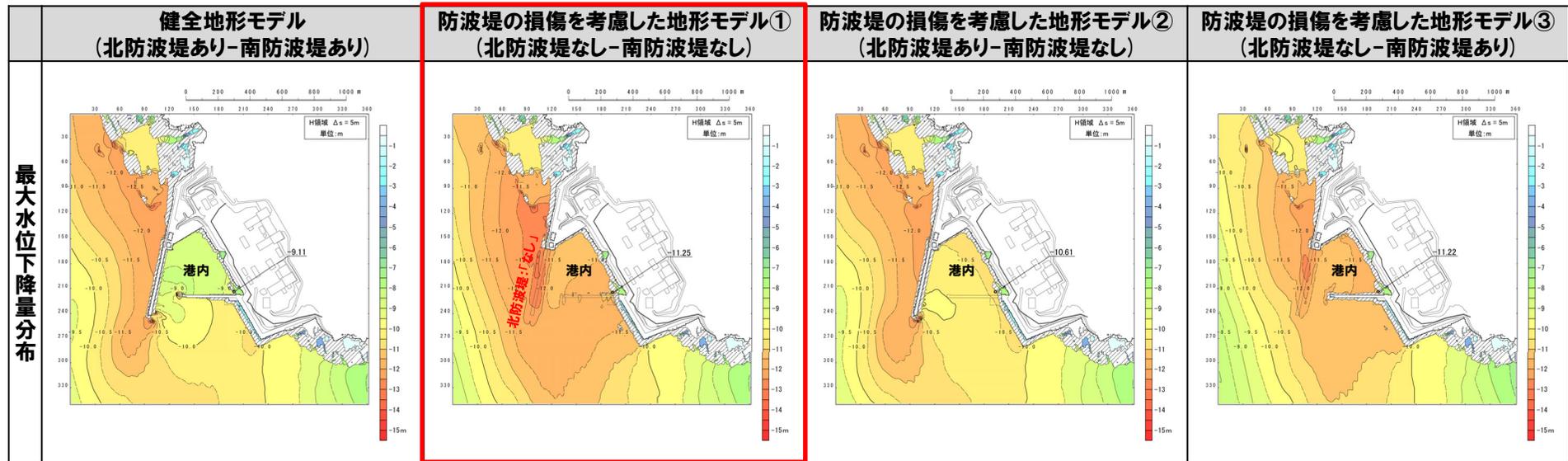


- いずれの地形モデルにおいても、図中の北護岸～放水口付近の水位上昇量が大きくなる。
- 放水口の水位上昇量大きい地形モデルは、健全地形モデル (北防波堤あり-南防波堤あり) 及び地形モデル② (北防波堤あり-南防波堤なし) であり、以下の理由から、保守的な地形モデルの設定になっていると考えている。
 - 北防波堤を「あり」条件とすることで、津波が放水口付近から港内に流入しづらくなり、放水口における水位上昇量が大きくなる。
 - 防波堤の中間的な損傷状態を考慮すると、放水口付近から港内への流入障害の影響が軽減されることが考えられる。
- 以上から、北防波堤の条件を、「あり」「なし」と設定する (中間的な損傷状態を設定しない) 妥当性を確認した*。
- *放水口 (上昇側) の評価としては、南防波堤の損傷状態を「あり」とした場合に、最大水位変動量が大きくなる。

防波堤の損傷状態の妥当性確認 (3/3) 3号炉取水口 (下降側)

- 地形モデルの設定において、北防波堤 (若しくは南防波堤) の条件を、津波の遡上への影響が大きいと考えられる「あり」「なし」に設定していることから、条件設定 (中間的な損傷状態を設定しない) の妥当性を確認する。
- 妥当性確認では、日本海東縁部に想定される地震に伴う津波の最大ケースのうち3号炉取水口 (下降側) 最大ケースについて、各地形モデルにおける最大水位下降量分布を比較した。

【日本海東縁部に想定される地震に伴う津波の最大ケースのうち3号炉取水口 (下降側) 最大ケースの最大水位下降量分布】



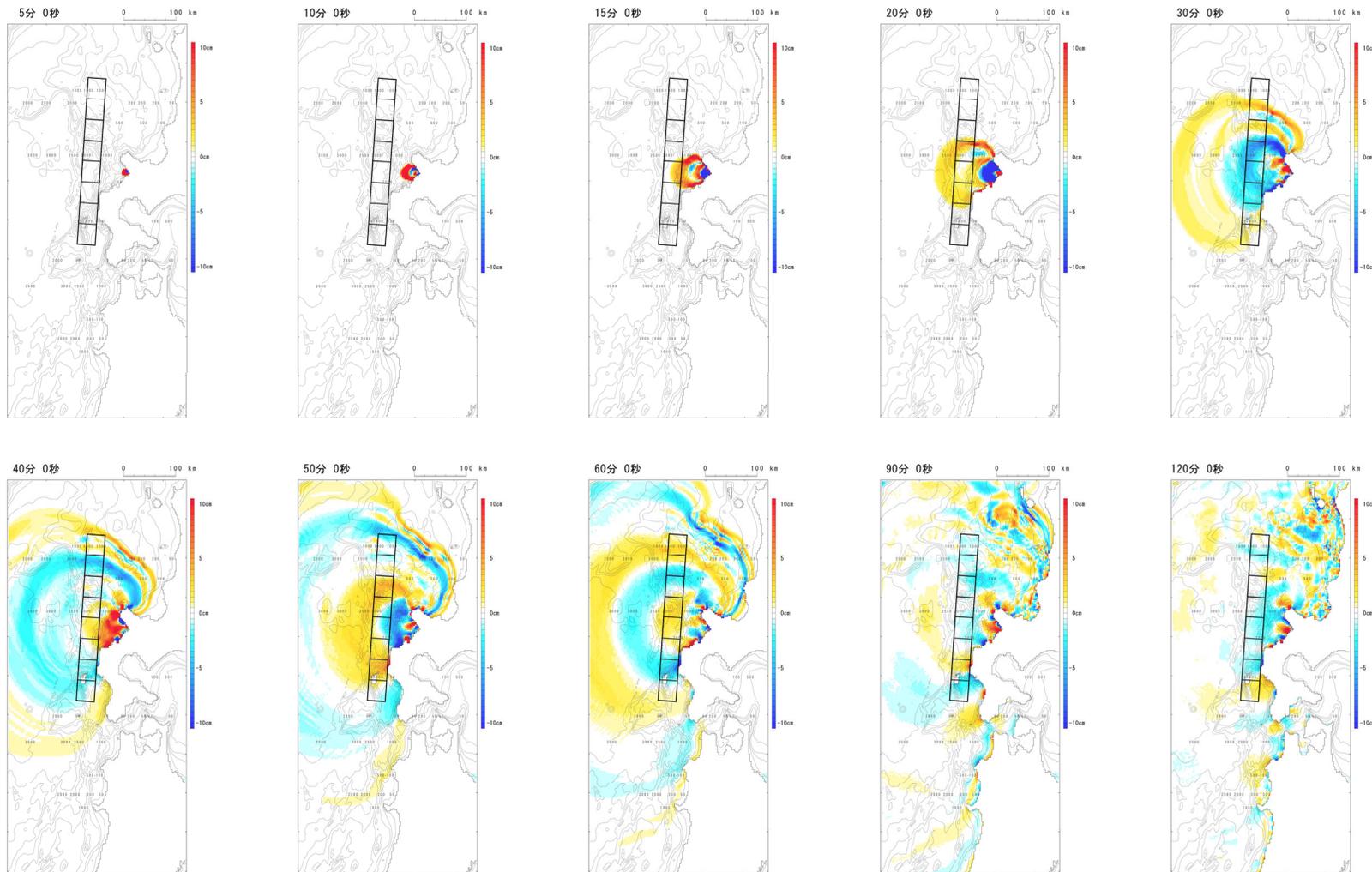
- いずれの地形モデルにおいても、湾内の水位下降量が大きくなることに起因して、3号炉取水口における水位下降量が大きくなる。
- 3号炉取水口の水位下降量が最も大きい地形モデルは、防波堤の損傷を考慮した地形モデル① (北防波堤なし-南防波堤なし) であり、以下の理由から、保守的な地形モデルの設定になっていると考えている。
 - 北防波堤を「なし」条件とすることで、港内から西方向へ津波が伝播し、3号炉取水口における水位下降量が大きくなる。
 - 防波堤の中間的な損傷状態を考慮すると、港内から西方向への流出の影響が軽減されることが考えられる。
- 以上から、北防波堤の条件を、「あり」「なし」と設定する (中間的な損傷状態を設定しない) 妥当性を確認した*。
- *3号炉取水口 (下降側) の評価としては、南防波堤の損傷状態を「なし」とした場合に、最大水位変動量が大きくなる。

逆伝播解析結果と日本海東縁部に想定される地震に伴う津波の最大ケースとの位置関係 (1/3)

再掲 (R3/9/3審査会合)

○津波の伝播経路上に波源モデル*が配置されていることが確認された。

※日本海東縁部に想定される地震に伴う津波の最大ケース (P297参照) のうち、断層パターン6の矩形モデル (東へ移動) を用いている。

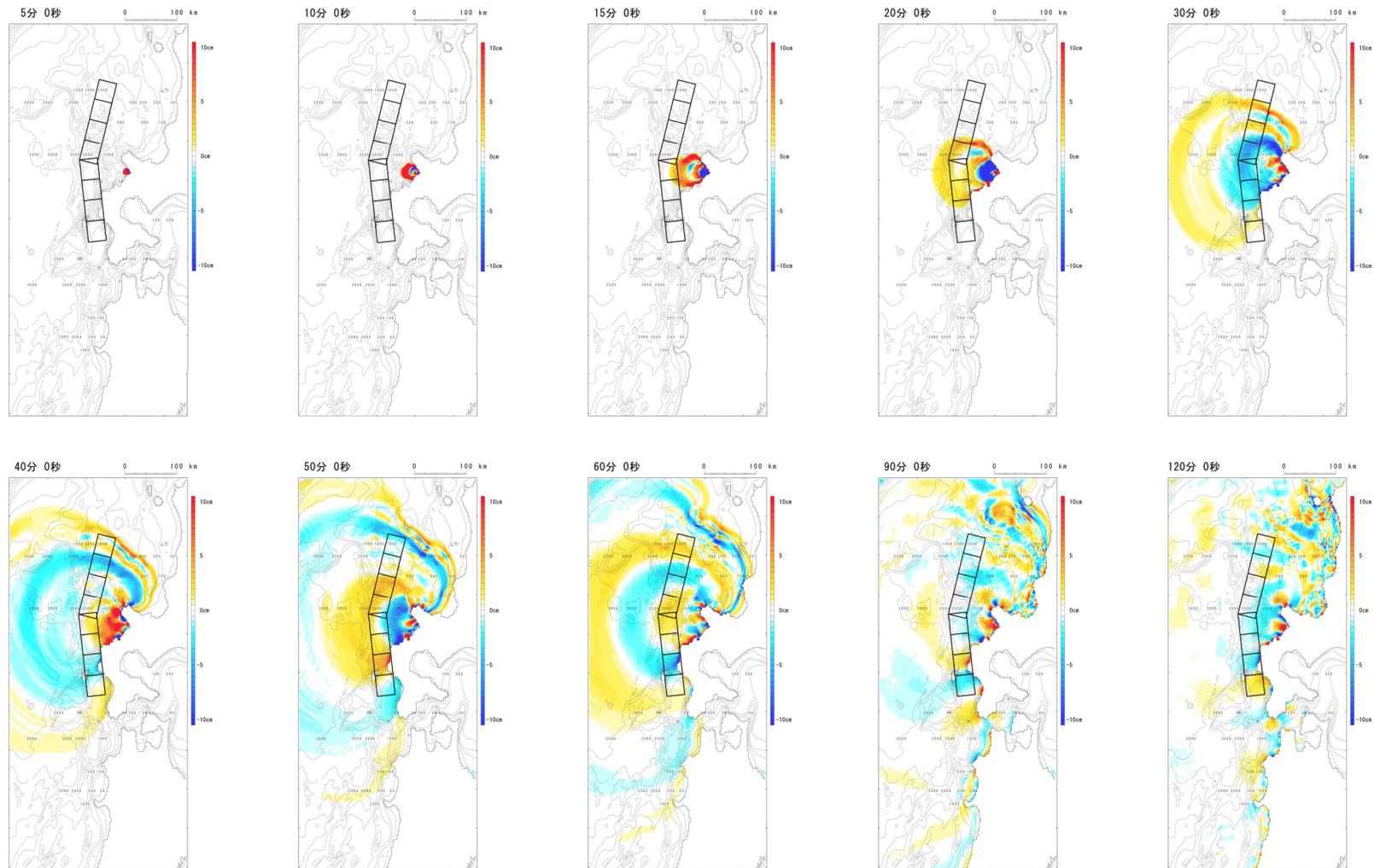


逆伝播解析結果と日本海東縁部に想定される地震に伴う津波の最大ケースとの位置関係 (2/3)

再掲 (R3/9/3審査会合)

○津波の伝播経路上に波源モデル※が配置されていることが確認された。

※日本海東縁部に想定される地震に伴う津波の最大ケース (P297参照) のうち、断層パターン6のくの字モデル (東へ移動) を用いている。



逆伝播解析結果と日本海東縁部に想定される地震に伴う津波の最大ケースとの位置関係 (3/3)

再掲 (R3/9/3審査会合)

○津波の伝播経路上に波源モデル*が配置されていることが確認された。

※日本海東縁部に想定される地震に伴う津波の最大ケース (P297参照) のうち、断層パターン7の矩形モデル (東へ移動) を用いている。

